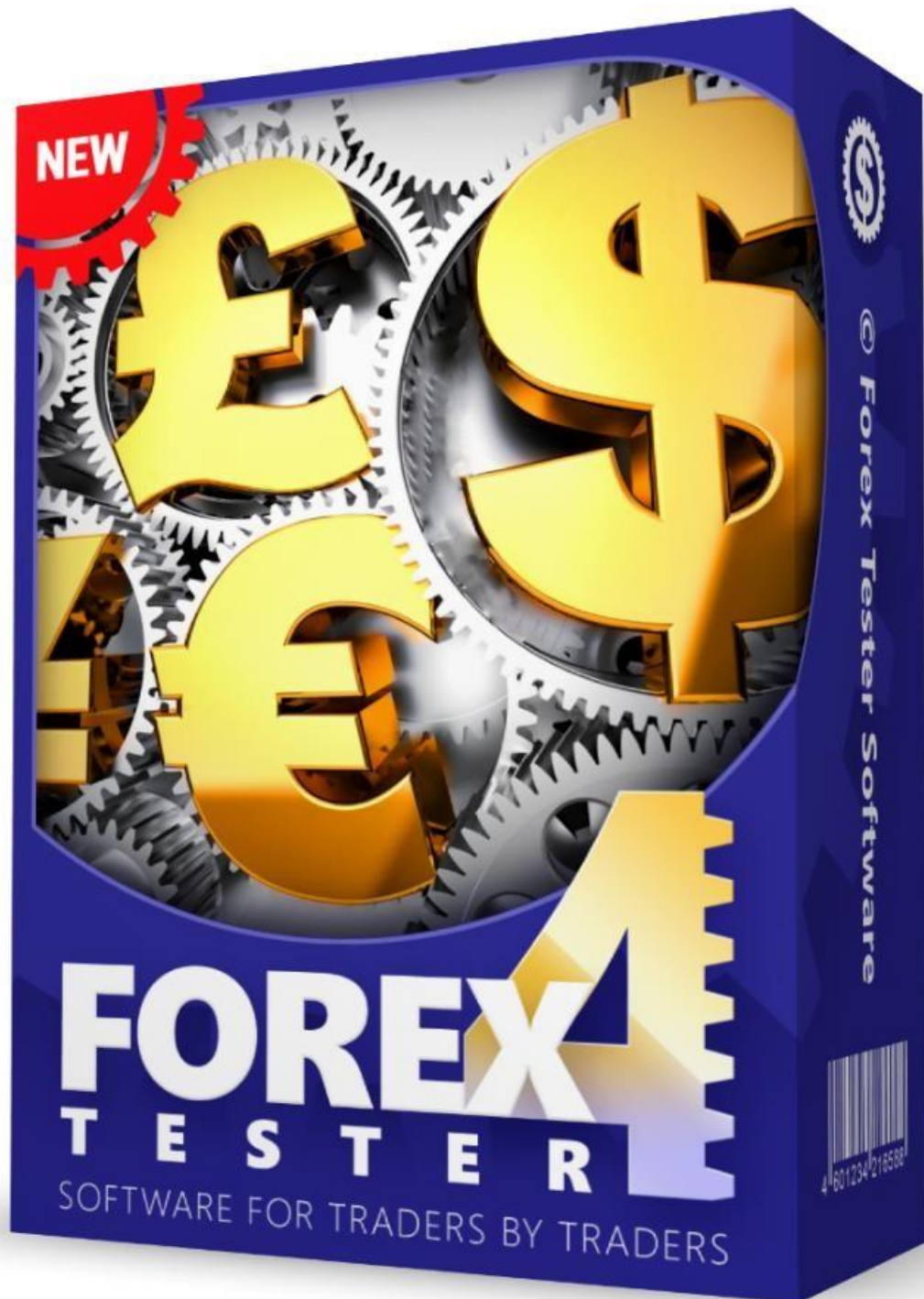


FOREX TESTER 4 ユーザーガイド

※文字が小さい場合は、拡大してご覧ください。

FOREX TESTER3 のユーザーマニュアルは、[こちらをクリックしてください。](#)

https://forextester.jp/templates/doc/Quick_Start_JP_FT3.pdf



■クイックスタート	3
■テストの始め方	4
■データのダウンロード	7
■プロジェクトを作成する	8
■成行き注文を入れる	10
■指値/逆指値注文を入れる	11
■成行き注文の決済または修正	14
■指値/逆指値注文の決済、	15
■インジケータの追加	16
■テスト結果（統計情報）	17
■ロウソク足の情報をみる	18
■チャートモードの変更	19
■チャートの配色設定と表示設定ロ	25
■オプション設定	34
■データセンター	41
■ダウンロードしたデータの情報	47
■データのダウンロード/インポート	54
■新規プロジェクトの作成	65
■テストの開始方法過去	74
■注文の入れ方	76
■注文の変更	82
■表示中のテクニカル指標	84
■罫線描画ツールの使用方法	91
■テンプレートとデスクトップの使用	97
■プロジェクト	106
■エキスパートアドバイザー	109
■統計と口座履歴ス	114

■クイックスタート

Forex Tester をすぐに始める方法を解説します。

ダウンロードページからプログラムをダウンロードする

<http://www.forextester.jp/download>

プログラムの紹介 | 機能 | ご使用方法 | 過去データ | フォーラム | アフィリエイト | お問い合わせ | **ダウンロード** | 購入する

日本語

FOREX TESTER 3

トレーダーによる、トレーダーのためのソフトウェア

No1のFXバックテストソリューション

Forex TesterはFXマーケットの通貨ペアの動きをシミュレートするソフトウェアです。

- ① 利益の出るトレードを学べる
- ② 裁量トレードの戦略やトレードプランの開発、テスト、改善
- ③ 自動売買システムの開発

フリートライアルを開始

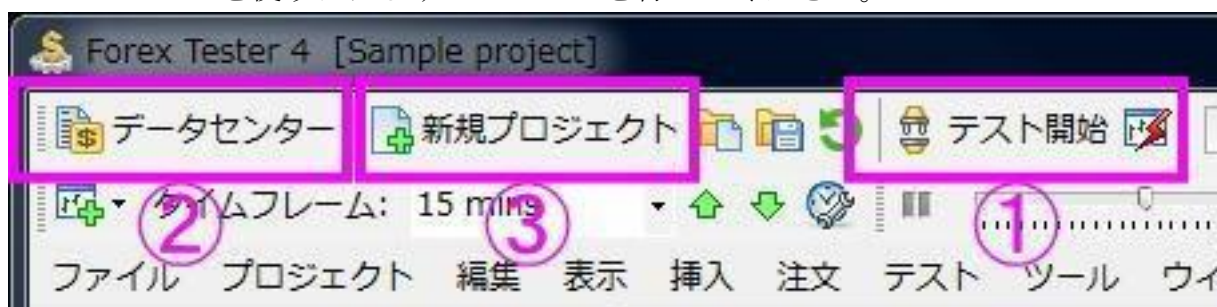
クレジットカード不要

機能	デモバージョン	フルバージョン
データ期間	より少ない 1 month of historical data	無制限 (15年の無料データ + すべてのカスタムデータ)
テスト期間	より少ない 1 hour of interrupted testing	テスト時間は無制限
プロジェクトの保存	利用不可	プロジェクトの複数保存と使用
テンプレートの保存	利用不可	テンプレートの複数保存と使用
他の機能	利用可	利用可

ダウンロードバージョンは金と銀を含む 16 通貨のペアのヒストリカルデータの 1 か月分が含まれます



Forex Tester4 を使うにはまず3つのことを行ってください。



「テスト開始」ボタンをクリックすると、チャートが動き、バックテストを開始できます。「データセンター」では、通貨ペア等のデータをダウンロードします。FT4 をインストールした段階では、1 か月分のデータしか入っていないので、「データセンター」から通貨ペアのデータをダウンロードしてください。

「新規プロジェクト」をクリックし、バックテストを行うファイル（プロジェクト）を作ります。プロジェクトを作った後、「テスト開始」ボタンをクリックし、テストを行います。

■テストの始め方

1. ”テスト開始” ボタンをクリックしテストを開始



2. テストの一時停止は”中止” ボタンをクリック。テストを再開するには、再度”中止” ボタンをクリック



3. チャートが動くスピードは、スライダーを移動することで調整が可能です。スライダーを左に動かせば、チャートの進みは遅くなり、右に動かせば、早くなります。



スライダーを右に動かせば、チャートの動きは早くなります。



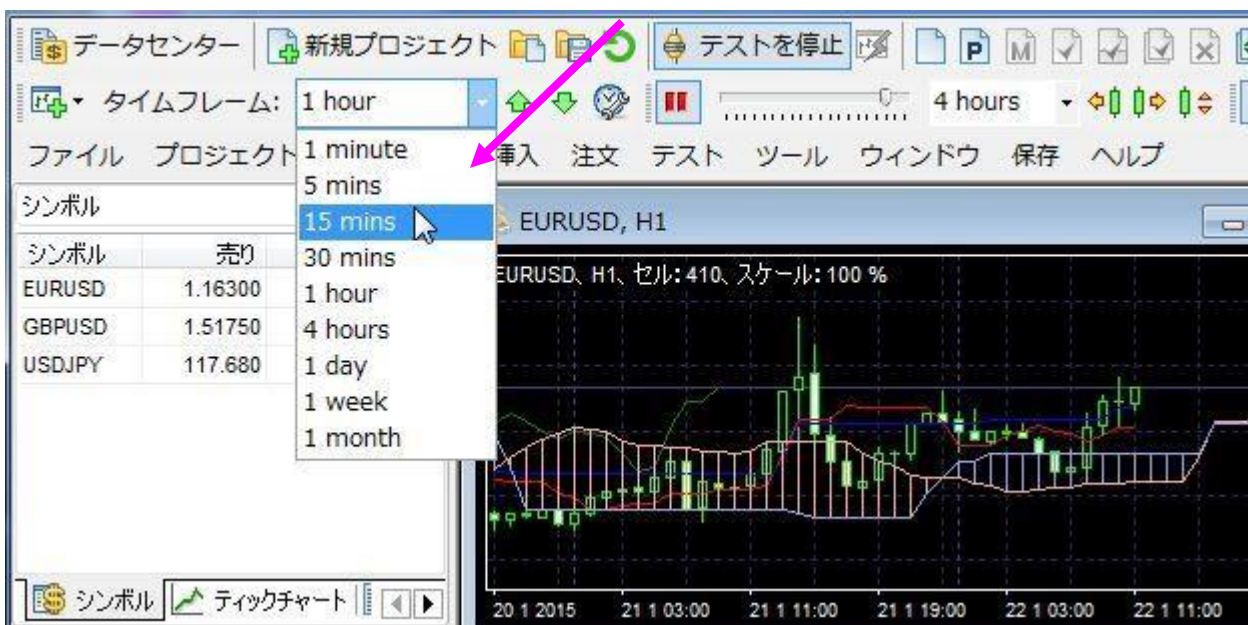
4. ロウソク足を1つ進めたい場合は、キーボードの”スペース”キーを押すか、前矢印がついているアイコンをクリックします。



ロウソク足を1つ戻したい場合は、キーボードの”バックスペース”キーを押すか、後矢印がついているアイコンをクリックします。



5. チャートのタイムフレームを変える場合、変えたいチャートをクリックしてから、タイムフレームのプルダウンで時間軸を指定します。

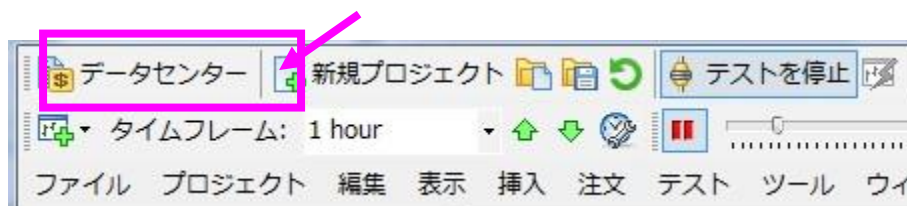


6. ティックパッケージのサイズで、テスト開始したときのチャートが動く単位を指定できます。15min にすると、15 分ごとにチャートが動きます。
そのため、1 時間足チャートなら、ロウソク足が 4 回変動してから、次のロウソク足に変わります。5min チャートなら、ロウソク足は 3 本ごとに動きます。



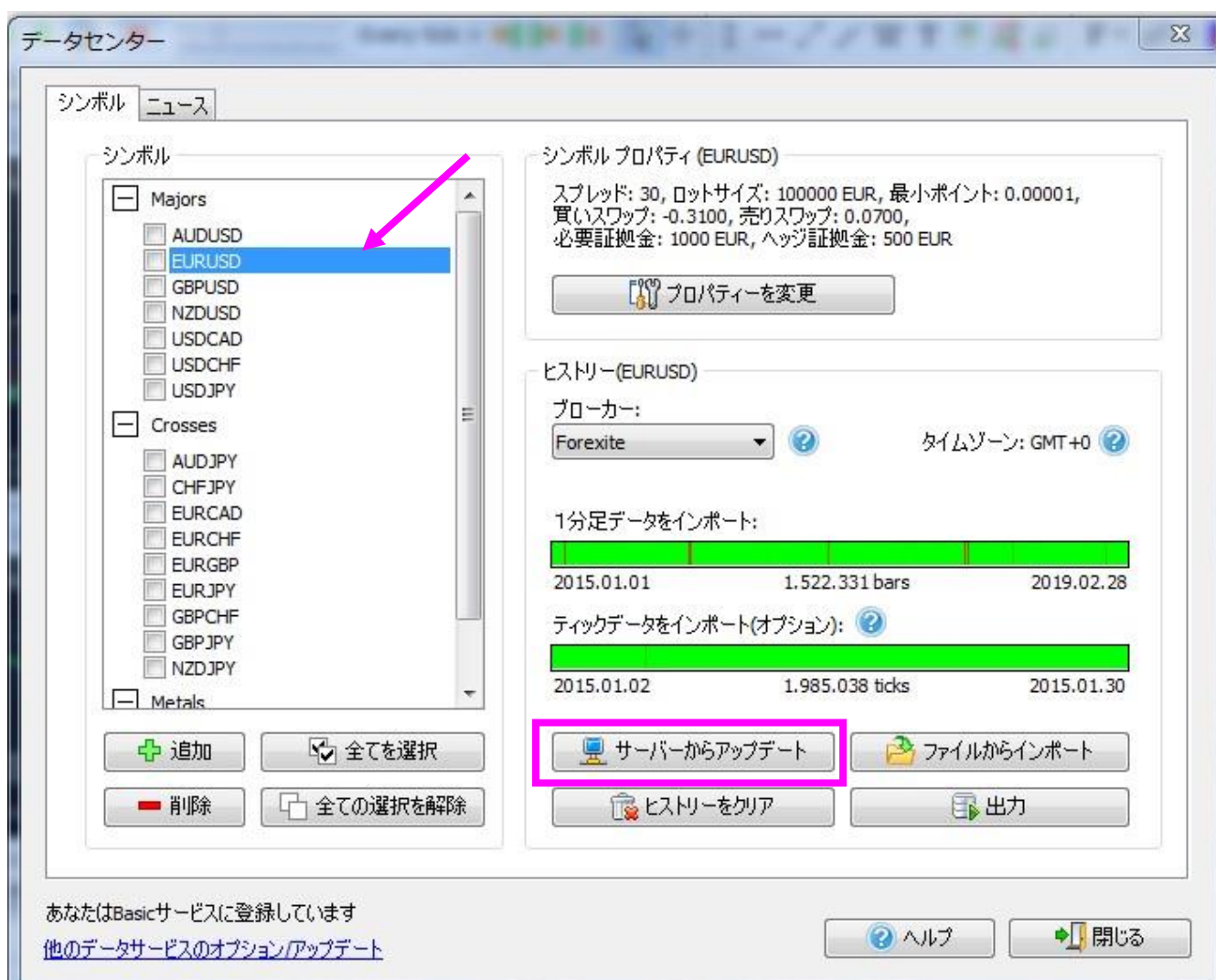
■データのダウンロード

ツールバーにある”データセンター” ボタンをクリック



データをダウンロードしたい通貨ペアを選択し、”サーバーからアップデート” ボタンをクリック

※複数通貨ペアにチェックを入れて、まとめてダウンロードすることもできますが、時間が掛かります。



過去データをすべてダウンロードするか、ある一部の期間のみダウンロードするか、選択し、“アップデート” ボタンをクリック。

■プロジェクトを作成する

1. “新規プロジェクト” ボタンをクリック



2. プロジェクト名を入力し、“次” をクリックする

※自由に入力してください。通貨ペア名、日付、戦略名などをいれると、管理しやすいでしょう。

新規プロジェクトを作成

プロジェクト名の定義

プロジェクト名:

プロジェクトは '<FT3>\Projects\<Project name>' フォルダへ保存されます

初期証拠金

入金(USD):

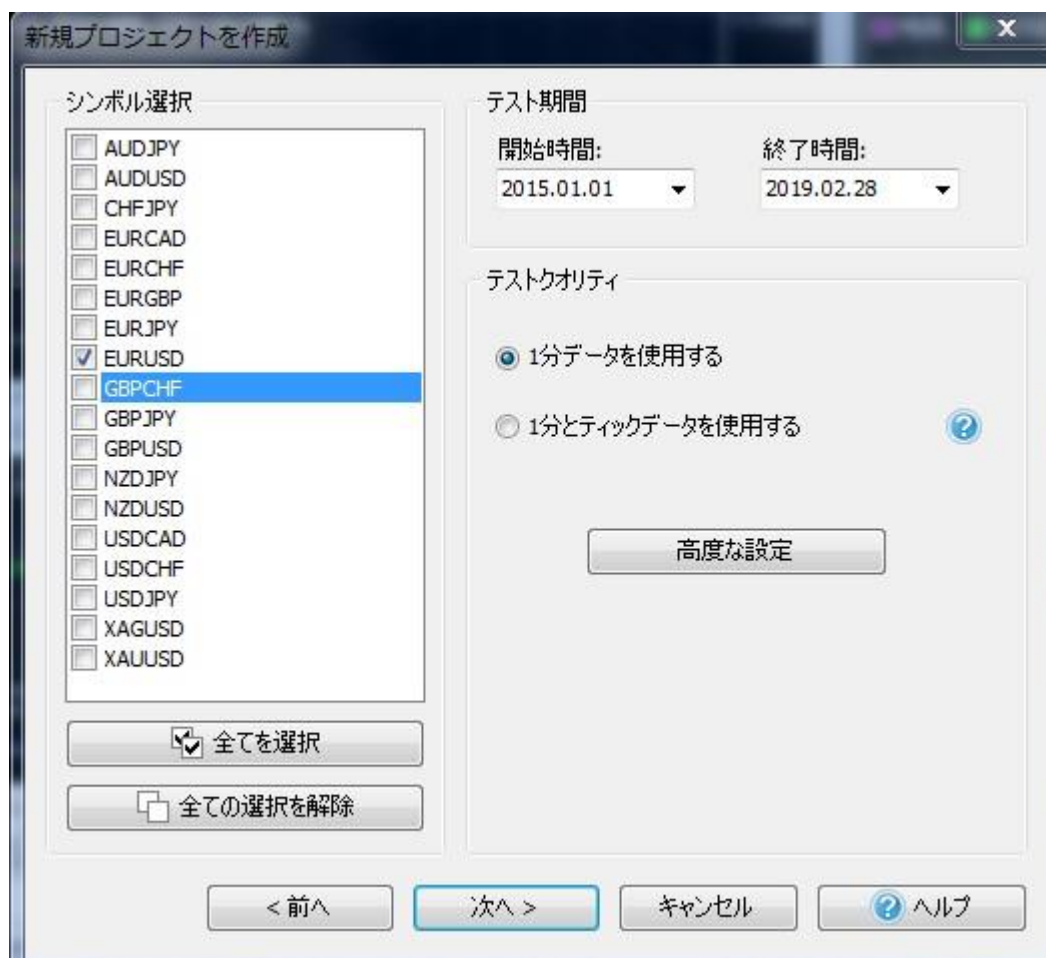
次へ >

キャンセル

 ヘルプ

3. テストで使いたい通貨ペアを選択する。

※複数の通貨ペアを選択可能です。しかし、多くの通貨ペアを同時に動かすと、FT4 の動作が遅くなるので、1 から 2 の通貨ペアを選択することをおすすめします。



4. 「次へ」をクリック

5. 「作成」をクリック

新規プロジェクトを作成

タイムゾーン

タイムゾーン: GMT+0

-12 0 +12

セッション・クローズタイム
カスタム

デライトセービングタイム(DST)
DSTなし

テスト開始時間

☒ データの最初からテストを開始

☐ スタート開始日を決定(事前にヒストリーをロードしてください)

開始日時: 2015.01.01

その他

☒ 作成後、テスト開始

☐ 前進限定モード

< 前へ 作成 キャンセル ? ヘルプ

5. 「テスト開始」 ボタンをクリックし、バックテストを行う



■成行き注文を入れる

成行き注文ボタンをクリック。もしくは、キーボードの F2 キーを押す。



必要であれば、損切、利確に数値を入れ、「Sell」「Buy」をクリック

成行き注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

ロット: 0.1 ☐ リスク計算 %: 0.01

行う予定です ☒ 売り ☐ 買い

損切: 0.00000 1.16055 15

利確: 0.00000 1.16020 20

コメント:

売り / 買い
1.16040 / 1.16070

SELL **BUY** ヘルプ

■指値/逆指値注文を入れる

指値/逆指値注文ボタンをクリック。もしくは、キーボードの F3 キーを押す。



ドロップダウンメニューをクリックし、注文のタイプを選択する

指値/逆指値注文

一般 トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.2

プライス: 0.00000

損切: 0.00000

利確: 0.00000

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

プライスがある程度まで達してから跳ね返りを狙うならリミットオーダー、ブレイクスルー戦略をとるならストップオーダーを入れます。

各表記の日本語訳は下記になります。

Buy Limit	-	指値買い
Sell Limit	-	指値売り
Buy Stop	-	逆指値買い
Sell Stop	-	逆指値売り



ロットサイズなどを入力する

指値/逆指値注文

一般 トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.2

プライス: 0.00000

損切: 0.00000

利確: 0.00000

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

「注文を執行」 ボタンをクリック

各オーダーのタイプに対して、プライス、損切、利確の数値が間違っていると注文が入りません。

注文が入らない場合は、注文タイプを変更、またはエントリープライスだけを入れて注文が通るかどうか、試してみましょう。

■成行き注文の決済または修正

注文確定後、損切、利確に達するまでチャートを進める。もしくは、手動で注文を決済する。

(一時停止キーを再度クリックしてチャートを動かすか、キーボードのスペースキーをクリック、もしくは、ツールバー上のチャートを進めるボタンをクリックすると、チャートが動きます。)



注文の修正、または、手動決済をする場合は、画面下にある「オープンポジション」タブにある、注文の行をダブルクリック

オープンポジション [1]						
チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープンプラ...	損切り
2	eurusd	sell	0.10	2015.01.22 19:00	1.13750	0.00000
残高: 10000.00 有効証拠金: 9997.00 Margin: 113.75 余剰証拠金: 9883.25 証拠金レベル: 8788.57%						
オープンポジション [1] 指値注文[0] 口座履歴 ジャーナル						

ウィンドウが出たら、修正の場合は損切、離確へ数値を入れ「注文を修正」、ポジションを決済する場合は「ポジションを決済」ボタンをクリック

注文を修正 #2

一般

トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: sell

ロット: 0.10

プライス: 1.13750

損切: 0.00000

1.13770 20

利確: 0.00000

1.13730 20

コメント:

注文を修正

ポジションを決済

キャンセル

ヘルプ

■指値/逆指値注文の決済、
修正および削除

注文確定後、チャートを動かして、注文をエントリーさせる。

(一時停止キーを再度クリックしてチャートを動かすか、キーボードのスペースキーをクリック、もしくは、ツールバー上のチャートを進めるボタンをクリックする)



損切、利確に達するまでチャートを進める。もしくは、手動で注文を決済する。

注文を決済、修正、または削除（エントリー前）をする場合は、画面下にある「指値注文」タブをクリックし、変更を加えたい注文の行をダブルクリックする

指値注文[1]						
チケット	シンボル	タイプ	ロット	エントリー時間	エントリープライス	
1	eurusd	buy stop	0.20	2015.01.22 18:59	1.15039	

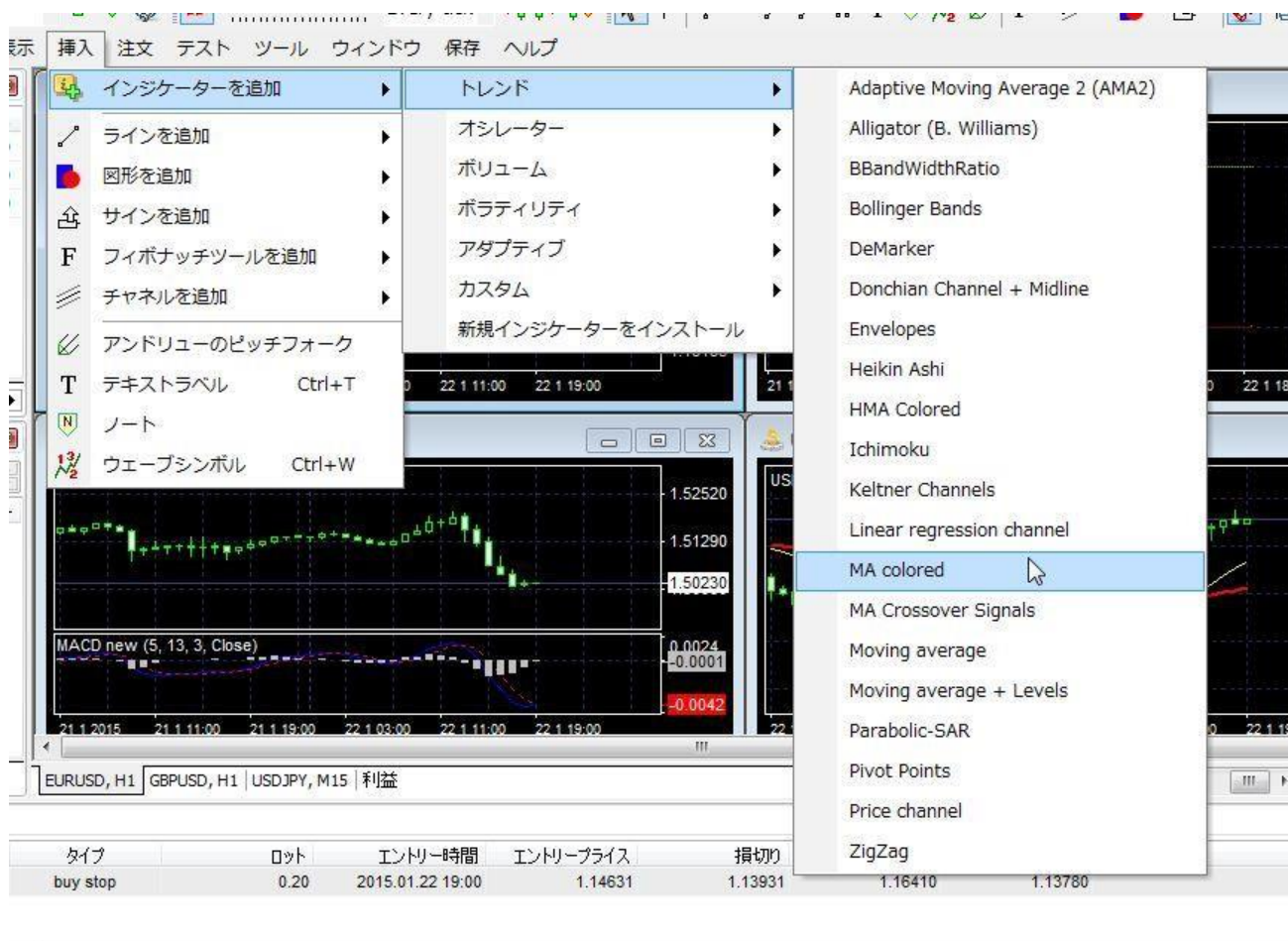
下記のウィンドウがでますので、変更なら数値を変更して「注文を修正」をクリック、注文を削除するなら、「注文を削除」ボタンをクリック

■インジケータの追加

メニューバーの「挿入」をクリックして、インジケータを追加できます。
（ライン等、各描画ツールもここから挿入できます。）

または、チャート上で右クリックをし、「インジケーターを追加」からも追加ができます

。



■テスト結果（統計情報）

の分析テスト結果の統計情報を見るには、画面左にある「マーケット情報」ウィンドウにあるタブを、「通貨」から「統計」へ切り替えます

統計	
パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	17
経過月	0.59
トレード:	
合計トレード:	2
勝ちトレード:	2
負けトレード:	0
連続勝ちトレード:	2
連続負けトレード:	0
トレード/日	0.11
トレード/月	3
勝ちトレード/月	3
負けトレード/月	0
1トレードの最大利益	166.01
1トレードの最大損失	0.00
収益:	
総利益	330.01
利益計	330.01
損失計	0.00
利益/月	561.94
平均利益	165.01
平均損失	0.00
最大ドローダウン	34.00
プロフィットファクター	0.00
利率, %	3.30
その他統計:	
最大ロット	0.10
レステーションファクター	9.71
リライアビリティファクター	16.53
勝率, %	100
負け率, %	0

口座履歴を Excel へ出力したい場合は、画面下部の「口座履歴」タブをクリックし、取引履歴の上で右クリックをし、「履歴をエクセルへ出力」をクリック。

エクセルに出力ができます。

※PC にエクセルがインストールされていないとできません。

■ロウソク足の情報をみる

データウィンドウにロウソク足に関する情報が表示されます。

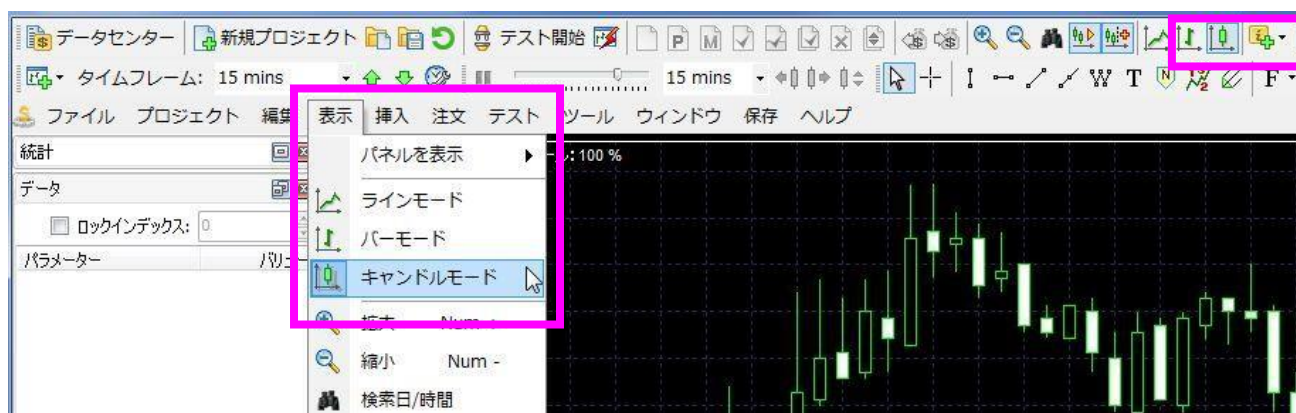
情報をみたいロウソク足の上にカーソルを持っていくと、ロウソク足の日付、時間、始値、終値、高値、安値、ボリューム、バーインデックスが表示されます。

パラメーター	バリュー
EURUSD, H1	
日付	2015.01.22
時間	16:00:00
始値	1.14140
高値	1.14300
底値	1.14020
終値	1.14080
ボリューム	240
バーインデックス	28
Ichimoku (9, 26, 52)	

■チャートモードの変更

Forex Tester のチャートは5つの表示形式に変更できます。

メニューバーにある「表示」または、ツールバーのアイコンをクリックし、ラインモード、バーモード、キャンドルモード（ロウソク足）に変更ができます。



1. Forex Tester の初期設定では、キャンドルモード（ロウソク足）になっています。FX の書物で一番良くみるチャート形式になります。



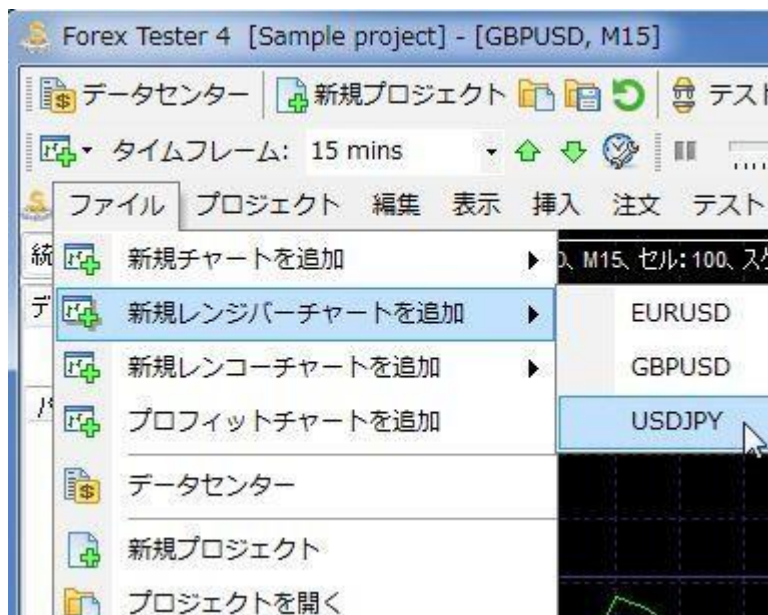
2. バーモードのチャートでは、垂直線に水平の区切りがついたバーで表示されます。垂直線は高値と安値の幅を表し、左の水平線は始値、右の水平線は終値を表しています



3. ラインモードは、高値と安値を結んだ連続の直線となります。



4. レンジバーモードを使うには、メニューバーの「ファイル」から「新規レンジバーチャートを追加」をクリックし、レンジバーチャートを作りたい通貨ペアを選択ください。



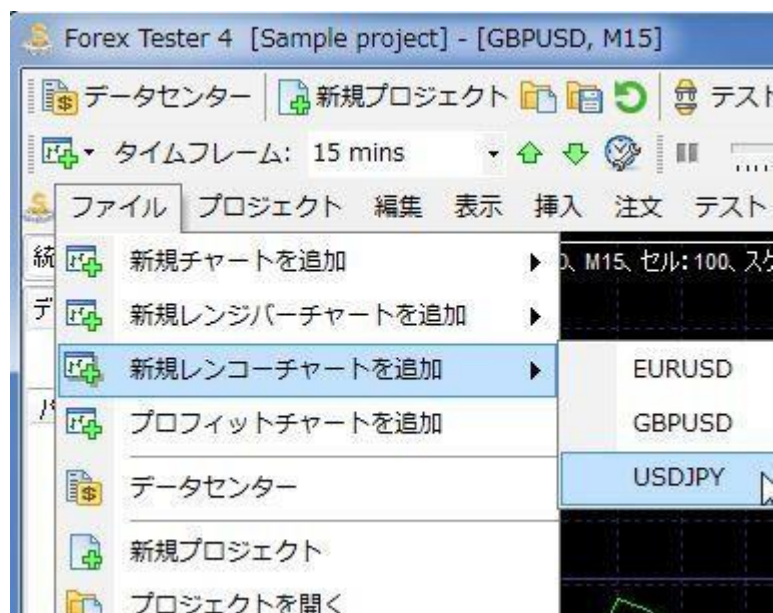
ウィンドウが出ますので、レンジバーサイズを入力し、OK をクリックしてください。



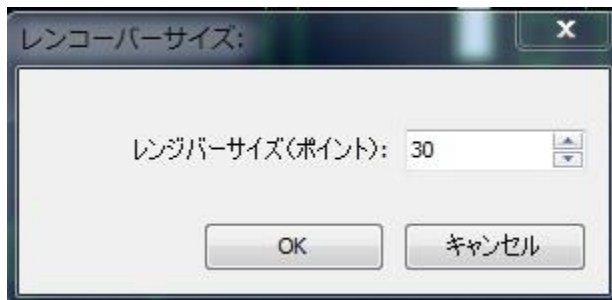
設定した数値でレンジバーチャートが作成されます。



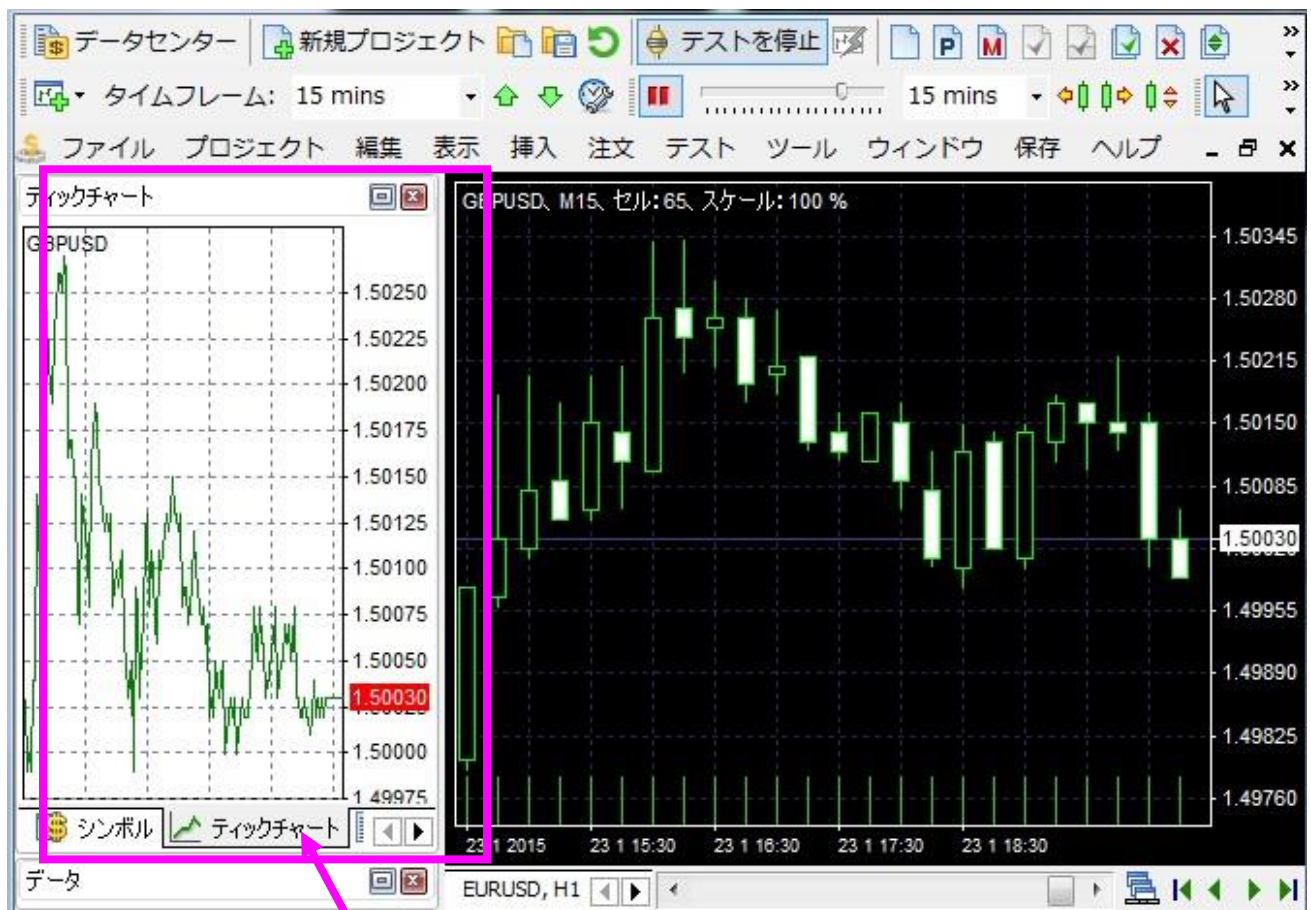
5. 最後はレンコーバーモードです。レンコーバーチャートを作成するには、メニューバーの「ファイル」から「新規レンコーチャートを追加」をクイックし、レンコーバーチャートを作りたい通貨ペアを選択してください。



レンコーバーのサイズを入力し、「OK」をクリックしてください。

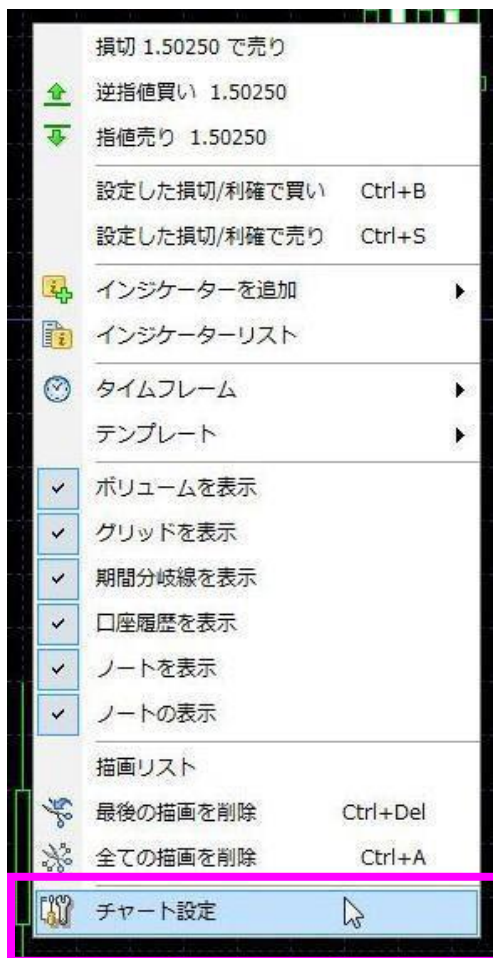


6. チャート本体への表示はできませんが、サブウィンドウでティックチャートを表示できます。



■チャートの配色設定と表示設定ロ

ウソク足の色やチャートの背景色は変更が可能です。チャートの上で右クリックをし、「チャート設定」をクリックしてください。



Forex Tester には 9 つの配色設定が組み込まれています。例えば、配色を”Black on White”に変更するとロウソク足の棒を黒色に変更します。陽線のボディは白色に、陰線のボディは黒色になります。

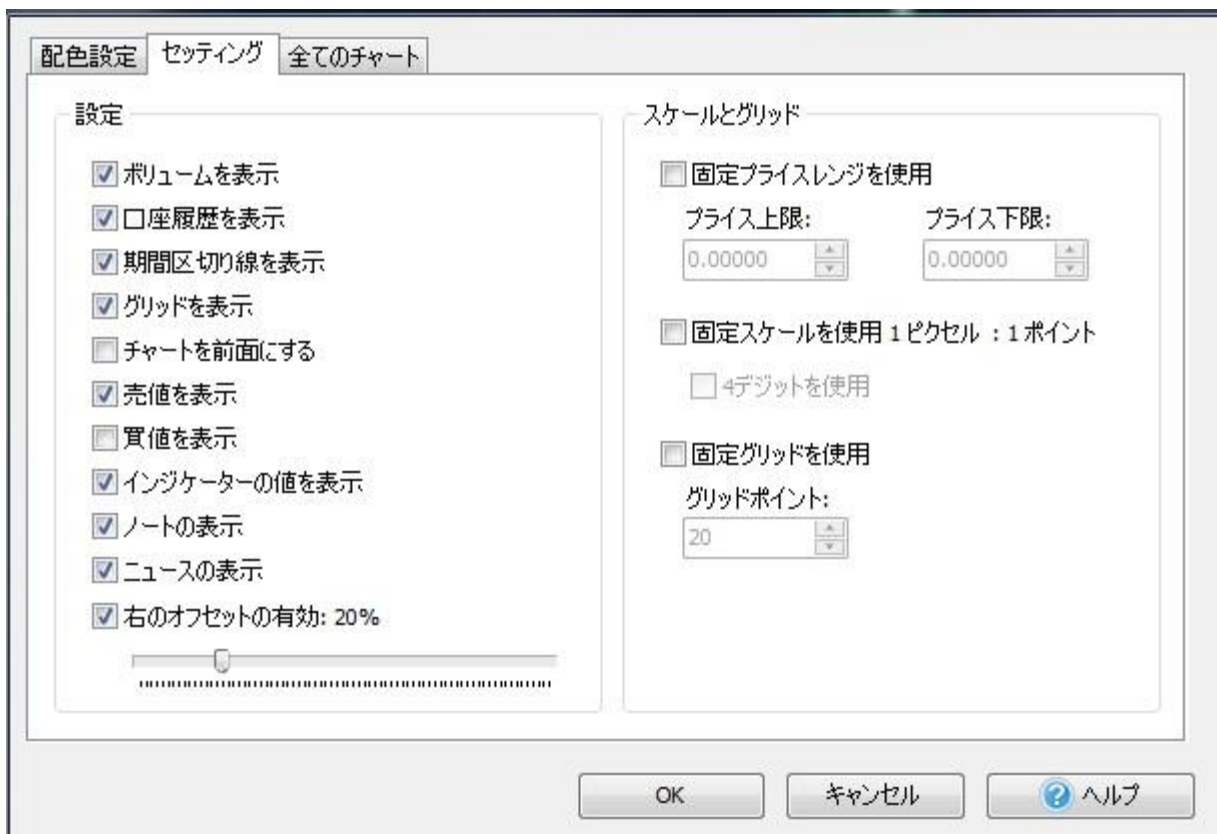


下記の配色が変更できます。
 背景色フレームとテキスト
 グリッドロウソク足の枠線
 ロウソク足のボディの色
 期間区切り線

「その他の色」タブで、チャート上に表示されるその他の重要なラインの色を変更できます。デフォルトでは、損切、利確、負け取引、買いマーカは赤色に設定されています。その他の項目（注文レベル、勝ち取引、売りマーカ、ボリューム）は緑色になっています。これらの色は、右についているドロップダウンメニューから、お好きな色に変更ができます。



また、「セッティング」タブでは、各オプションの表示/非表示を選択できます。



“ボリュームを表示”のチェックをはずすと、チャートからボリュームインジケーターが消えます。

ポジションを入れて決済すると、エントリーと決済ポイントが線でつながります。この線も消すことができます。このラインを消したい場合は、チャート上で右クリックをしてチャート設定をだし、“チャート設定”タブにある“口座履歴を表示”のチェックをはずしてください。

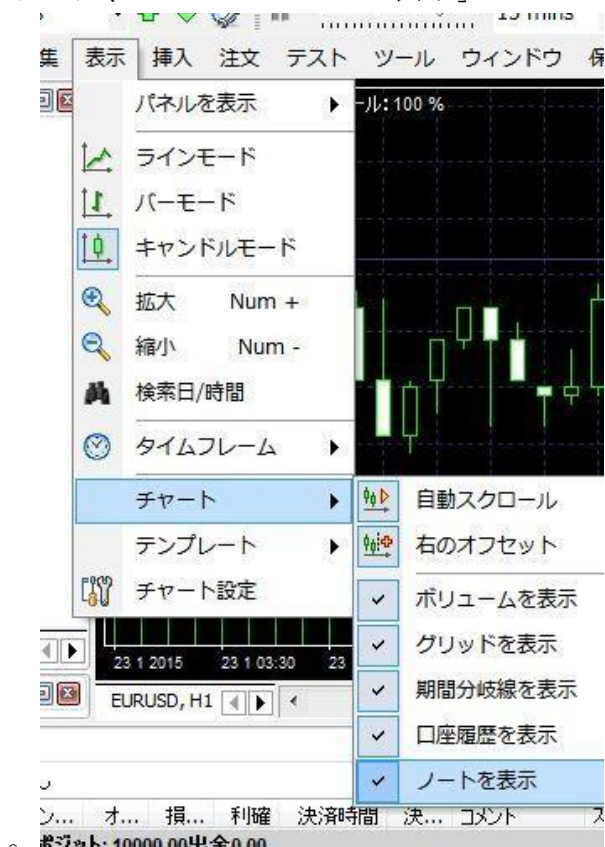
“グリッド”も非表示にできます。グリッドはチャート上に表示される四角のドット線で、ロウソク足のプライスと時間を確認するときに役立ちます。

“期間分岐線”は1日の始まりに表示される垂直なドット線です。

グリッドは四角のドット線で、チャートのある箇所のプライスなどを把握するときに便利です。

また、“ボリューム”、“口座履歴”、“グリッド”、“期間区切り線”は、チャートを右クリックしたウィンドウから、表示/非表示することができます。

または、メニューバーの「表示」→「チャート」メニューから表示/非表示ができます



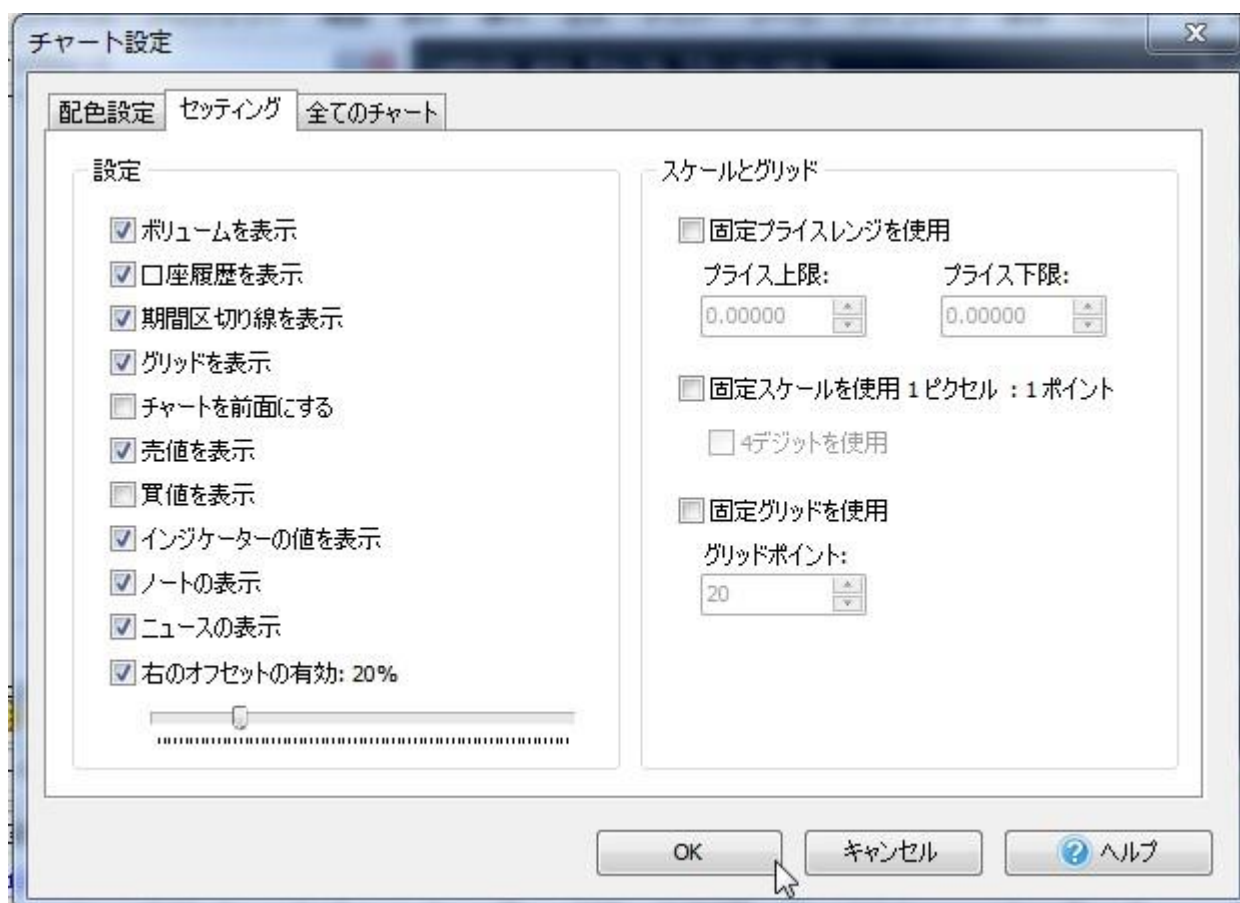
インジケータや口座履歴をロウソク足の後ろに表示したい場合は、“チャートを前面にする”にチェックを入れてください。

売値は売り注文を入れたときに入る売りプライスを表示するラインです。同様に、買値は買い注文を入れたときに入る買いプライスを表示します。

“チャート設定”タブからこのラインの表示/非表示ができます。

インジケータをチャートにいれている場合、現在のプライスがプライス軸に赤く表示されます。「インジケータの値を表示」というこれらのオプションから有効化/無効化を行うことができます。

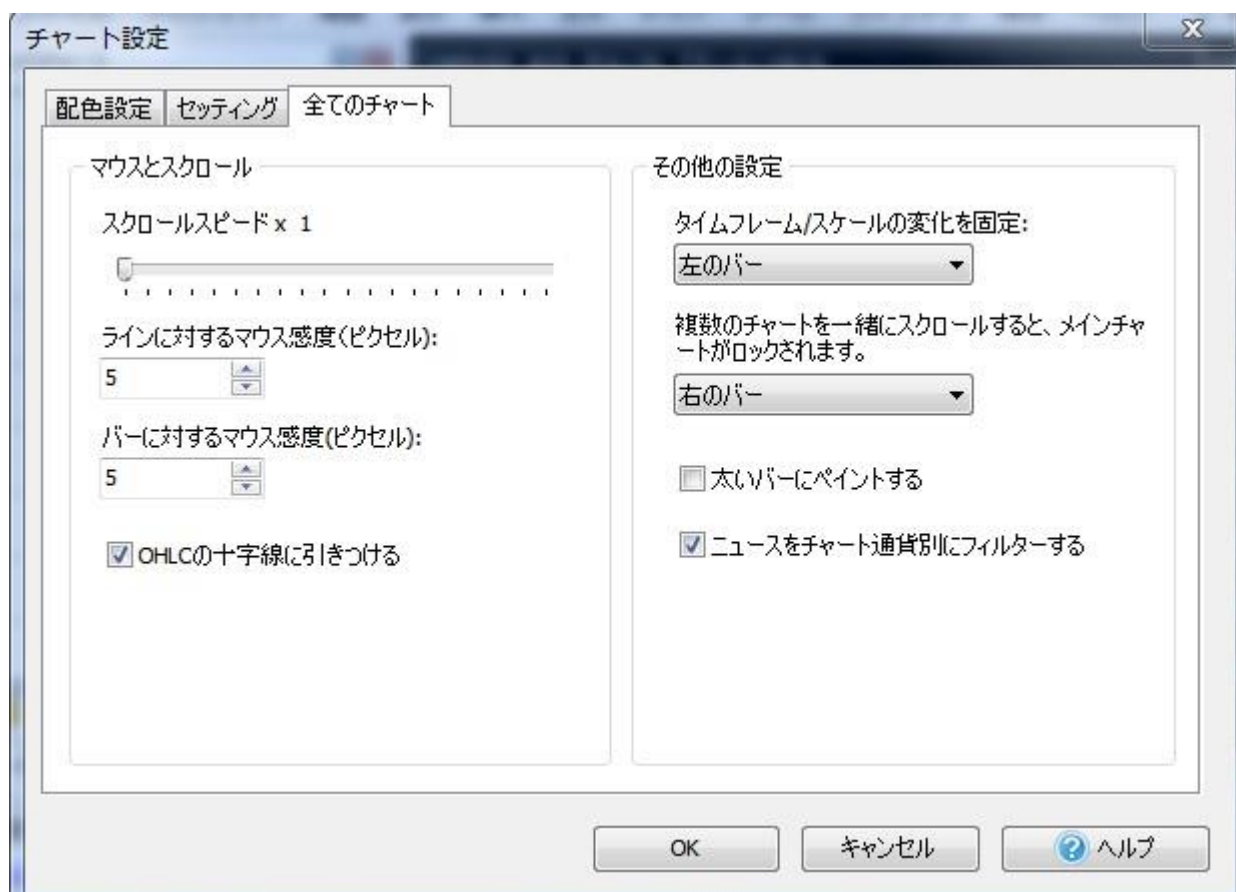
右のオフセットとは、プライス軸と最新のロウソク足のスペースのことです。右のオフセットのチェックをはずすと、ロウソク足とプライス軸の間にスペースはなくなります。スクロールバーを使って、空白の広さを変更できます。



“固定プライスレンジを使用”にチェックを入れ、チャートの上限と下限の数値を設定すれば、チャートはそのプライスレンジに固定されて表示されます。

“固定スケールを使用 1 ピクセル:1 ポイント”のチェックをはずすと、チャートの最高値と最安値が常時表示されるようになります。この機能にチェックを入れると、ロウソク

足の高さが変更されます。この変更はお使いの PC のモニター解像度に依存します。初期値では、水平線のグリッドは 5pips 幅で表示されています。この数値を変更したい場合は、“固定グリッドを使用”にチェックを入れ、好きな数字を入力してください。たとえば、固定グリッドを“30”に設定したとします。すぐにグリッドの間が広がったことに気がつくでしょう。



“全てのチャート”タブでは、チャートがスクロールするスピード、マウスやマグネットの感度を変更できます。もしスクロールスピードを 10 にしたら、初期値の“1”よりも 10 倍早くチャートがスクロールされます。この設定を試したいなら、チャート上で左クリックを押したまま、マウスを左右に動かしてみてください。スクロールスピードが変わったことが分かります。

“ラインに対するマウス感度”をテストしたいなら、まずは、チャートへラインを引いてみてください。ラインをダブルクリックした後、ラインをドラッグして動かしてみてください。“ラインに対するマウス感度”が 3 なら、ラインから 3 ピクセル離れていてもドラッグできるようになります。チャートを縮小して表示させるには、ツールバー「縮小」

ボタンをクリック、メニューバーの「表示」→「縮小」をクリック、またはキーボードのマイナスキーをクリックしてください。

チャートを拡大して表示させるには、ツールバー「拡大」ボタンをクリック、メニューバーの「表示」→「拡大」をクリック、またはキーボードのプラスキーをクリックしてください。

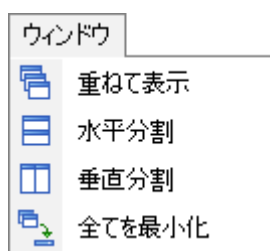


複数表示させたチャートを並べるには、メニューの「ウィンドウ」にあるオプションを使用します。

“重ねて表示”は、チャートを少しずらしながら重ねていきます。

“水平分割”は、左から右にチャートを配置していきます。

“垂直分割”は、上から下へチャートを配置していきます。



Forex Tester に入っている9つのパネルは、いつでも有効/無効に切り替えられます。パネルを表示させたい場合は、“表示 → パネルを表示”から表示させたいパネルを有効にしてください。

“シンボル”パネルは、現在のプロジェクトに入っている通貨ペア名がリストされます。売値、買値、スプレッドも表示されます。

“ティックチャート”は、ロウソク足のプライスの変更を表示します。この参考例では、93.41 でバーが始まっています。その後、93.35 までプライスが上がり、93.42 でプライスがクローズしました。

“統計”ウィンドウでは、ストラテジーのパフォーマンスについて各種情報が表示されます。

“スクリプト”では、使用可能なスクリプトがすべて表示されます。スクリプトはユーザーが設定したアルゴリズムです。“データ”ウィンドウは、現在のロウソク足の情報が表示さ

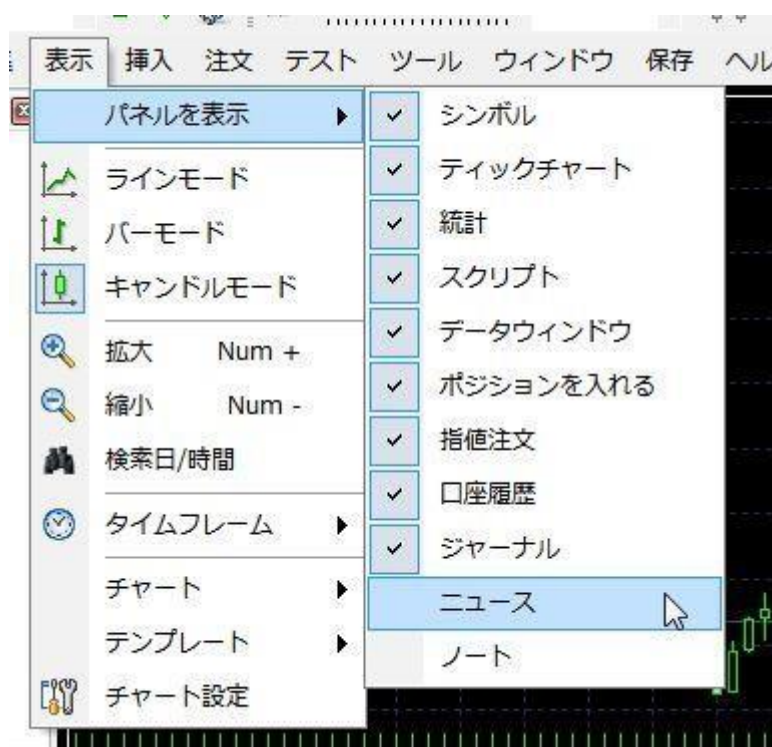
れます。日付、ロウソク足の時間、始値、安値、高値、終値、ボリューム、バーインデックスです。ロウソク足の情報をみるには、カーソルをそのロウソク足まで持って行ってください。常にロウソク足の情報を表示させておく場合は、“ロックインデックス”にチェックを入れ、表示させたいバーの番号を設定してください。ロウソク足は、0 からカウントします。1 ではありません。また、右から左に向かってカウントします。

“オープンポジション”タブは、すべてのオープンポジションを表示します。

“指値/逆指値注文”タブは、すべての指値/逆指値注文を表示します。

“口座履歴”タブは、決済した注文の一覧です。

“ジャーナル”は技術的な情報を表示します。インジケータのロード、注文の執行、変更、決済、テストの開始など。



“ジャーナル”の記載内容を消したい場合は、ツールバーの“ジャーナルを消す”ボタンをクリック

してください。

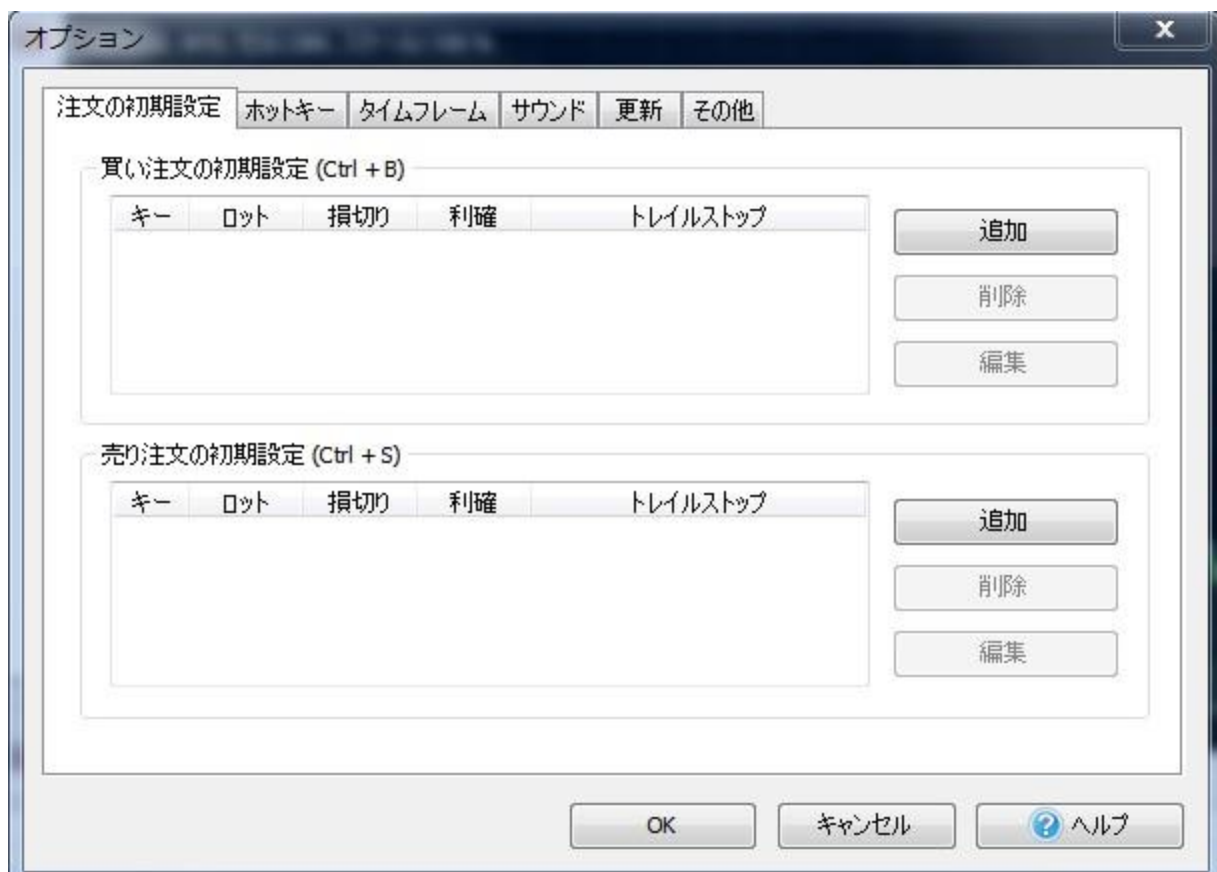


Forex Tester4 は、16 の言語に翻訳されています。表示言語を変更したい場合は、“ツール → 言語”から選択してください。



■オプション設定

”ツール→オプション”をクリックすると、各種オプションを設定できます。



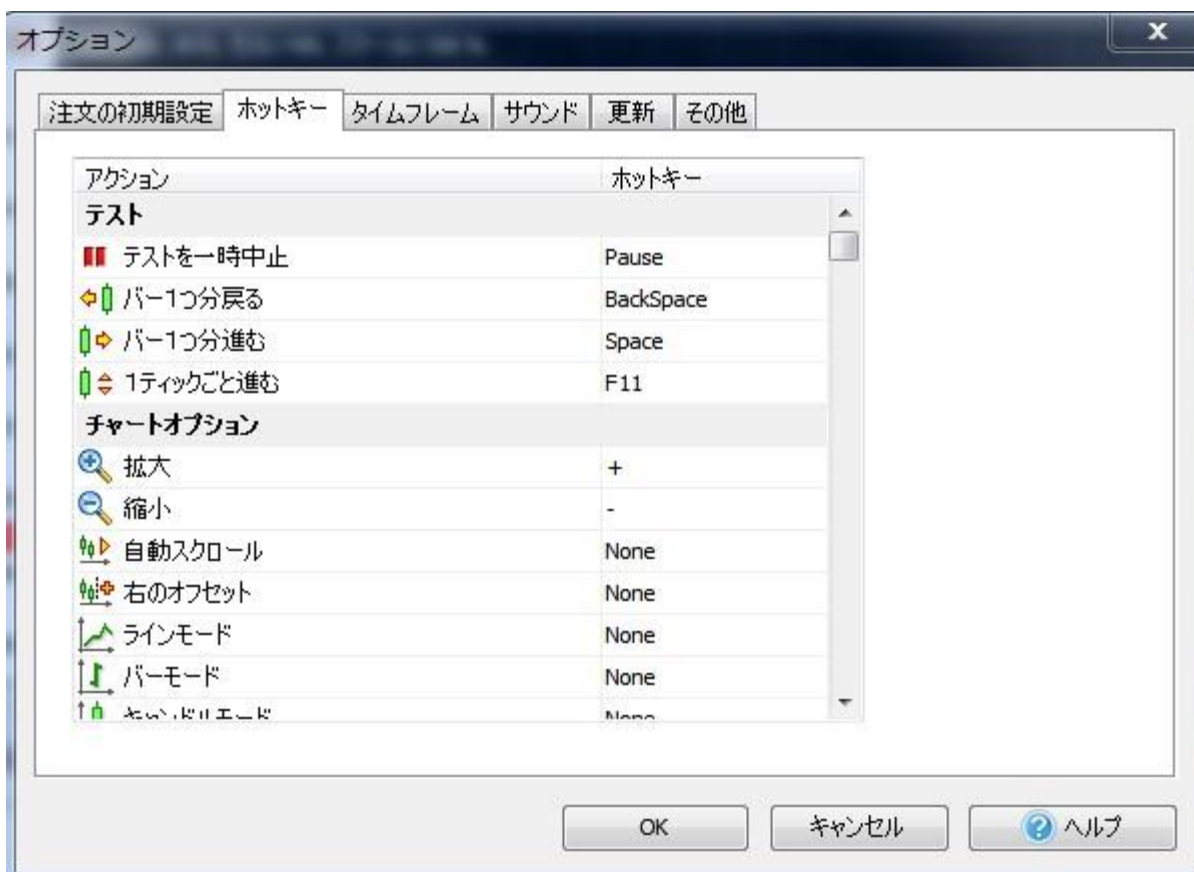
「注文の初期設定」は、同じ注文条件で何度も注文を入れる場合に、特に便利なものです。例えば、損切り 40pips、利確 60pips、ロットサイズ 0.2 ロットという注文内容を設定するなら、追加ボタンをクリックし、次の画面で「ロット」は 0.2、損切は「40」、利確は「60」と設定し、「OK」をクリックしてください。

買い注文の設定の後、「売り注文」の「追加」をクリックし、同じ設定を行います。そうしますと、下記のように設定した注文が表示されます。

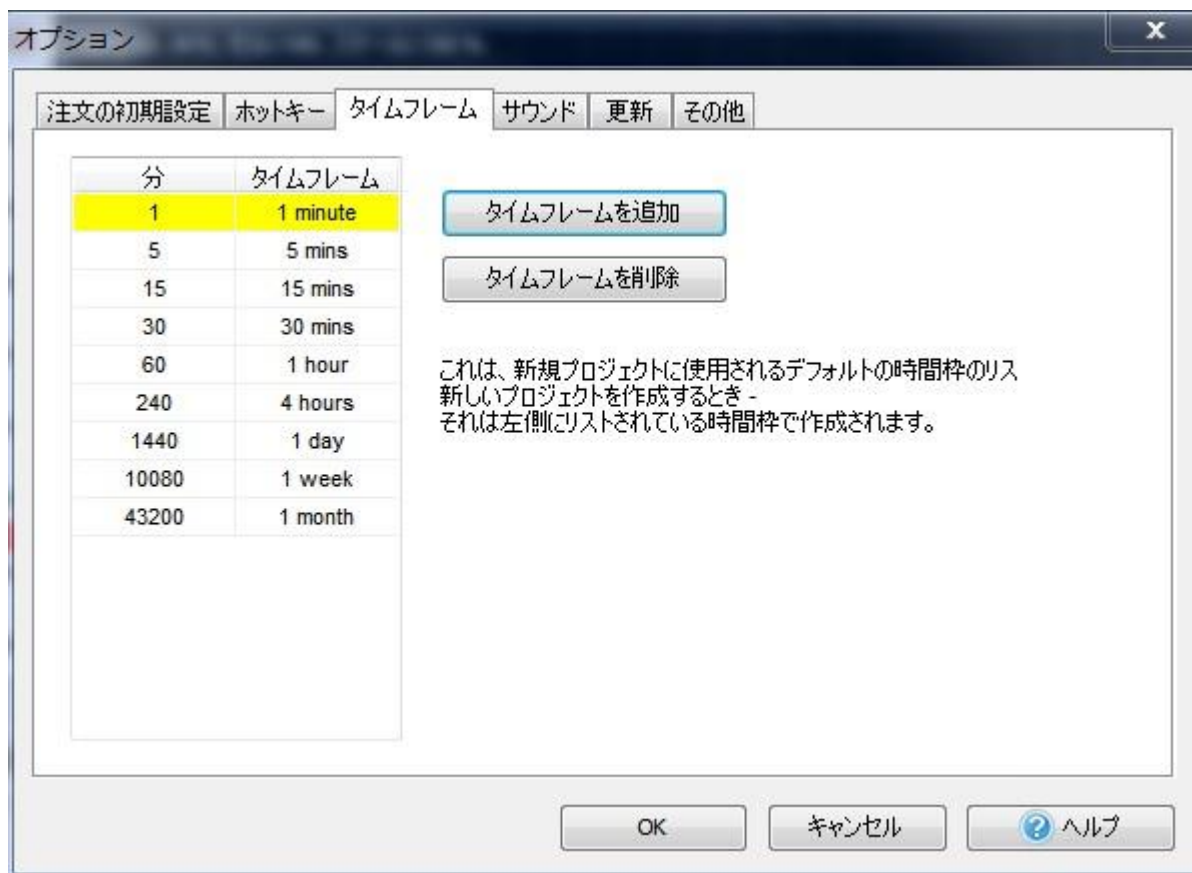


これで注文の条件設定ができました。

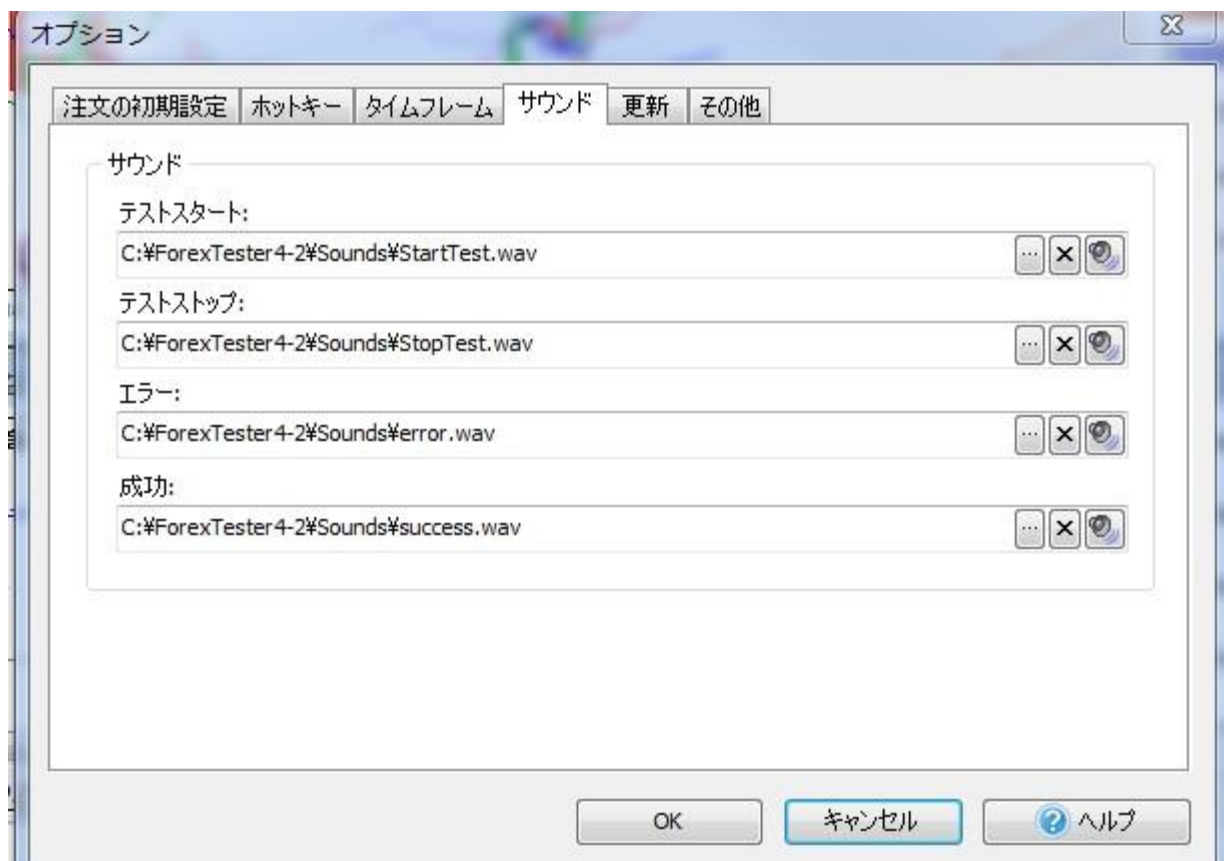
テスト中に、キーボードの CTRL+B で買い注文が設定どおりに、または CTRL + S で売り注文が設定どおりに入ります。「ホットキー」では、キーボードのキーに割り振られているアクションを確認、変更できます。ホットキーを変更するには、ホットキーの列をクリックし、他のキーに割り当ててください。キーの設定を「None」にすれば、キーが使えなくなります。



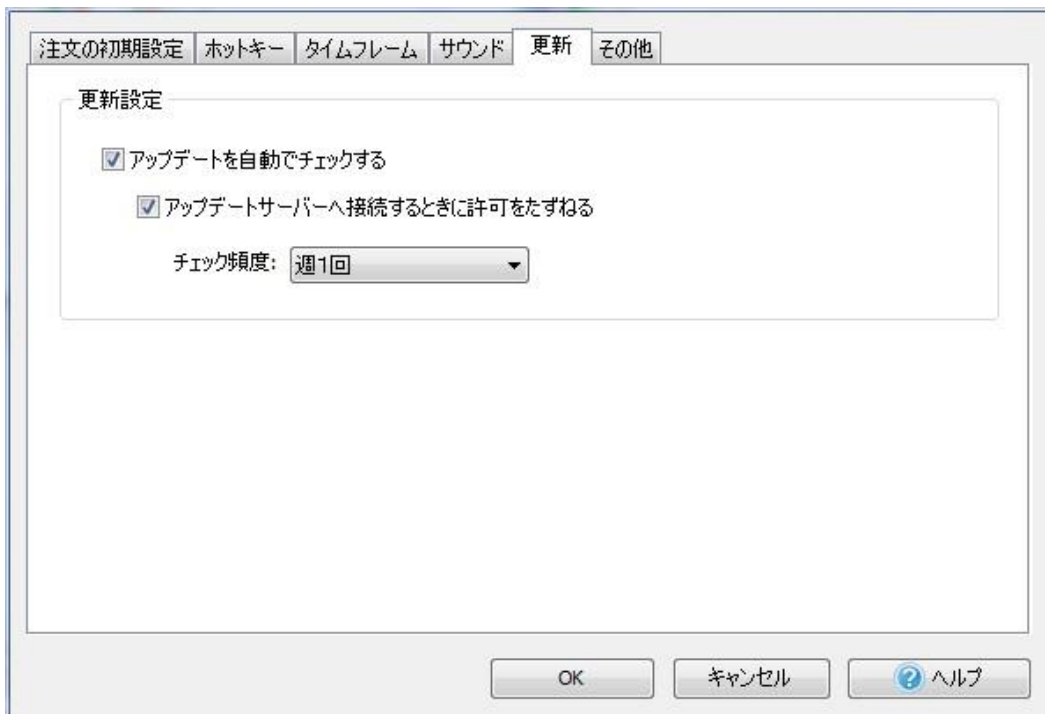
「タイムフレーム」タブでは任意のタイムフレームを作れます。
たとえば「タイムフレームを追加」をクリックし、10 分単位のチャート（10 分足チャート）を作ることができます。



「サウンド」タブでは、ForexTester にある 4 サウンドを聞いたり、消したり、変更することができます。テストスタートやエラーのときに鳴る音を変更するには、.wav ファイルをご用意ください。「…」ボタンをクリックし、ファイルを指定できます。
サウンドを消去する場合、「×」ボタンをクリックしてください。
設定されている音を聞く場合は、「スピーカー」アイコンをクリックしてください。



「更新」タブでは、バージョンアップ情報の確認頻度の設定を行えます。



「その他」タブでは、テスト開始ボタンを押したときに、すぐにチャートを動かすか、それとも、一時停止ボタンをクリックするまで動かなさないか、設定できます。



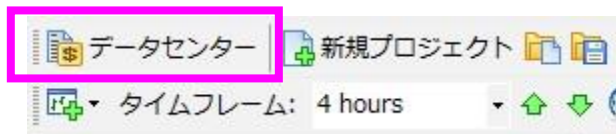
■データセンター

過去データのダウンロードや通貨ペアの設定)

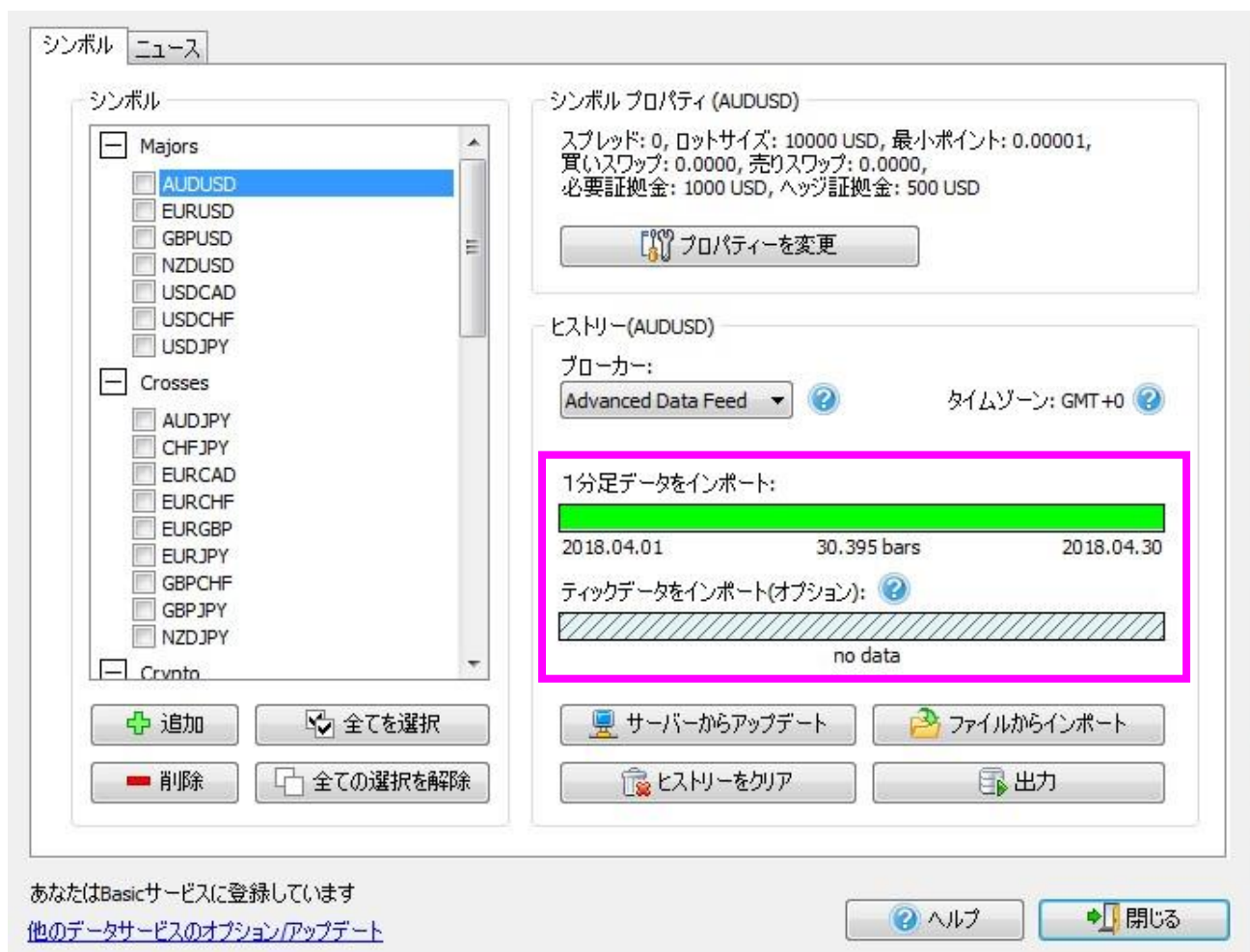
データセンターは、過去データを管理するための機能です。下記のことが行えます。

通貨ペアの追加/削除 通貨ペアの設定の確認、および編集

1分足データをサーバーからダウンロード ファイルから過去データを読み込む ティックデータをサーバーからダウンロード 通貨ペアをグループ化し設定を同時に変更 データを CSV 形式で出力



データセンターへは「データセンター」ボタンをクリックするか、メニューバー「ファイル」から「データセンター」をクリックし、開きます。データセンターウィンドウ



1 分足データの緑のバーは、インポートされた1分データの品質を表しています。無料ミディウム品質データは、Forex Tester のデータセンターもしくはフォーラムページ[より直接ダウンロード](#)できます。

最も正確なデータを手に入れたい場合、お手頃な価格で有料データを購入できます。

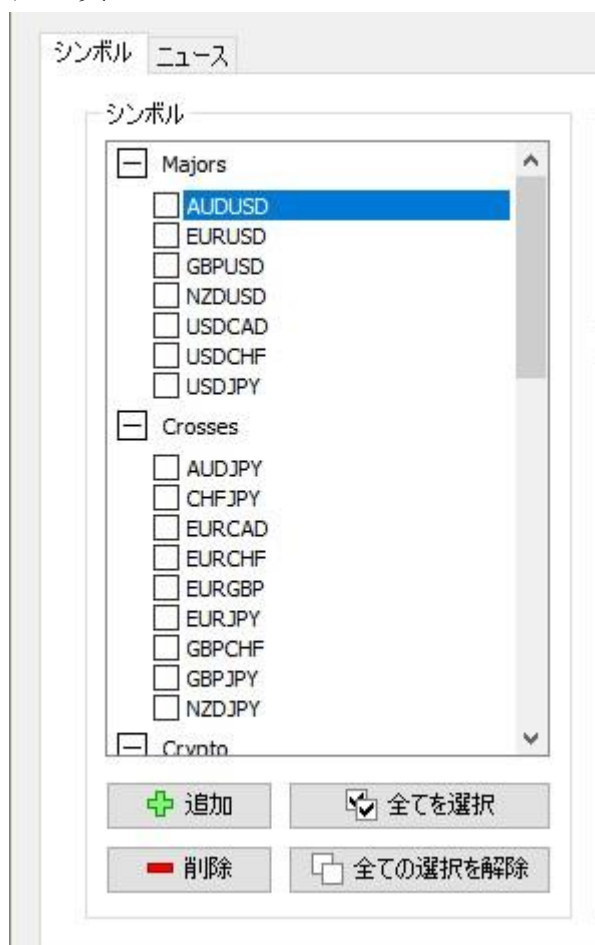
<http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>

低品質のデータは、正確性に欠けるテスト結果へと導く可能性が高いということに注意してください。これは、リアルマーケットで自身のバックテスト済みトレーディングシステムを使う場合、ライブアカウントのトレーディングの結果にも相応の結果が及ぼされる可能性があるかもしれないということです。

ティックデータの斜線のバーは、データが入っていないことを示します。無料のデータサービスでは、ティックデータは提供しておりません。ティックデータは、短期テストやスキャルピング戦略にとってとても重要なものです。M1-M30 タイムフレームでトレーディングをしているならば、有料過去データを定期購入することは、良い投資になるはずです。

メイン機能をご確認してください。

1) 通貨ペアのリスト



このリストで下記のことができます。

バックテスト用に通貨ペアの選択

– 選択した通貨ペアの詳細情報と可能な設定は、ウィンドウの右に表示されます。

通貨ペアのデータ削除（リストの下にある削除ボタンをクリック）

– 削除ボタンをクリックすると、選択したすべての通貨ペアが削除されます。

通貨ペアの追加（リストの下の追加ボタンから）

– グループ設定をした通貨ペアの選択と非選択。例えば、リストにある全ての通貨ペアを選択し、全ての過去データを同時にダウンロードできます。

通貨ペア名の横にあるボックスにチェックを入れ、同時にグループ設定（ダウンロードデータ、レバレッジの変更など）ができます。

通貨ペアプロパティの詳細

シンボルプロパティ (AUDJPY)

スプレッド: 5, ロットサイズ: 100000 AUD, 最小ポイント: 0.01,
買いスワップ: 0.5900, 売りスワップ: -0.6100,
必要証拠金: 1000 AUD, ヘッジ証拠金: 500 AUD

 プロパティを変更

「プロパティを変更」ボタンから通貨ペアのプロパティを変更できます。
「シンボルプロパティ」ダイアログウィンドウには、「一般」タブと「手数料」タブの2つのタブがあります。

シンボルプロパティ

一般 手数料

シンボル名: USDJPY シンボルタイプ: 通貨ペア Group: Majors

コモンオプション

ロット通貨: USD ベース通貨: USD

ロットサイズ: 10000 スプレッド,ポイント: 0

小数点以下の位: 5

プライス,ポイントからの最小幅: 0

証拠金

証拠金通貨: USD

レバレッジ: 1 x 100

☒ レバレッジ情報をマージンの計算に使用

1ロット当たりの証拠金: 1000.00

ヘッジ証拠金: 500.00

OK キャンセル ヘルプ

「一般」タブでは、以下の設定を変更できます。

- ・シンボル名 - シンボル（通貨など銘柄）の名前。
- ・シンボルタイプ - シンボルタイプ（通貨ペアまたは株式）
- ・グループ - シンボルが参照するシンボルリストのグループ
- ・ロット通貨 - ロットの通貨。

- ・ベース通貨 - ベースになる通貨
 - ・ロットサイズ - ロット通貨での 1 ロットのコスト。
 - ・レバレッジ - 1 ロットのロットサイズとマージンの比率。 ブローカーはそれぞれ異なるレバレッジを使用するため、ブローカーが使用しているレバレッジを使用することをお勧めします
 - ・小数点以下の桁数 - 小数点の後の桁数。 例えば。 1.2500 は 4 桁の値、1.25001 は 5 桁の値です
 - ・スプレッド - 売買価格のスプレッドを pips で設定。 スプレッドとは、買値と売値の差を意味します
 - ・価格、ポイントからの最小幅 - 未決注文を出すことができる現在の価格までの最小幅のピップス。 「価格までの距離」は 2 つの選択肢を定義します
- 1) 指値/逆指値注文を出すことができる現在のマーケットプライスからの最小幅。 ここに 20 を設定した場合、現在の価格より 20 ポイント以上離れていないと、指値/逆指値注文が入りません。価格が近すぎるというエラーメッセージが表示されます。
 - 2) SL / TP レベルでの最小幅 ここに 20 を設定した場合、SL / TP レベルを 20 ポイント未満に設定することはできません。
- 注文を出して SL を設定するとき、ストップロス値は「価格までの最小幅」+「スプレッド」の値以上で設定する必要があります。この場合、注文は問題なく実行されます。
- ・証拠金通貨 - 証拠金の通貨です
 - ・1 ロットのマージン - 1 ロットのマージン
 - ・ヘッジマージン - 1 ロットのヘッジポジションに対して計算されるマージン。 マージンの値を手動で入力する場合は、「レバレッジ情報を使用」オプションを無効にする必要があります

「手数料」タブでは、次のプロパティを設定することができます。

シンボルプロパティ

一般 手数料

手数料

1 ロット毎の手数料, USD:

3.00

☒ 注文時と決済時に適用
☐ ポジションの注文時に適用
☐ 決済時に適用

スワップ

買いスワップ,ポイント: 0.0000

売りスワップ,ポイント: 0.0000

OK キャンセル ヘルプ

1 ロット毎のコミッション、米ドル – ポジションの執行および（または）決済時のコミッションを設定します。ここでは、テスト中にコミッションをいつ適用するか（あなたの状況に応じて）オプションを選択することができます：ポジションを執行および決済する時や、オーダーを執行するときの両方、またはオーダーを決済するときだけにコミッションを支払うように設定します。また、ポジションを部分的に決済すると、コミッションは決済したいポジションの中から計算されます。

ポジション決済後のコミッションの金額は、画面下部の「アカウント履歴」タブで確認できます。

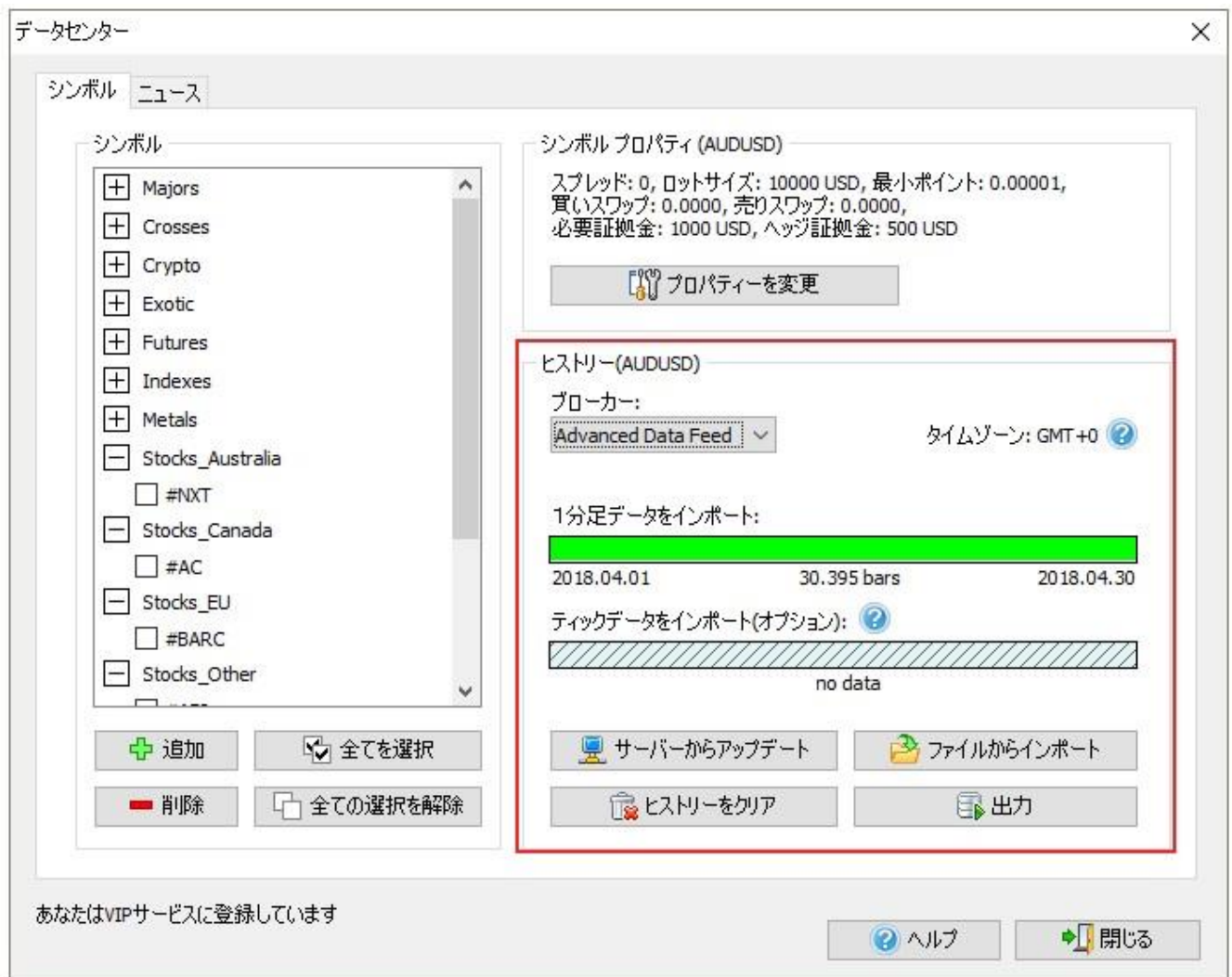
スワップロング – ロングポジションのピップス単位でのスワップ。

ショートのスワップ – ショートポジションのポイントでのスワップ。

必要なオプションを変更したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

■ダウンロードしたデータの情報

下記の項目により、ダウンロードしたデータの情報を確認でき、プロパティの変更ができます。詳細は下記をご覧ください。



1) ブローカーのリスト



過去データを手に入れるブローカー名がリストになっています。

注意：ブローカーのリストは、データサービスの購入状況により変わります。（データサービスについてはこちらを確認ください） [データ利用タイプ](#)）。

ブローカーを選択後、サーバーボタンのアップデートをクリックすることで、サーバーから正確なデータをダウンロードすることができます。

2) タイムシフト

タイムゾーン: GMT+0

このメッセージは過去データのタイムゾーンを表示しています。 デフォルトの設定では、 GMT+0 のタイムゾーンになっています。タイムゾーンは、新しいプロジェクトを作成するときに変更が可能です。

3) タクオリティインジケター:



このウィンドウでは過去データのクオリティを確認できます。

赤い箇所はデータがなく、薄暗い箇所は少しデータが飛んでいる箇所です。

4) タ管理ボタン:



これらのボタンで、下記のアクション

を行います。

“サーバーからアップデート”ボタンは、当社のサーバーから過去データをダウンロードするときに使用します。データのダウンロードについて詳しい情報は[こちらへ](#)。 [here](#).

“ファイルからインポート”ボタンは、他のソースから入手した過去データファイルを取込むときに使用します。 ファイルは、.txt, .csv に対応しています。 データのダウンロードについて詳しい情報は[こちらへ](#)。 [here](#).

“出力”ボタンは、Forex Tester に入っている過去データを、テキストファイルとして出力するときに使用します。例えば、エクセルを使って、分析やストレテジーの開発を行うときに使用します。 Forex Tester はどのタイムフレームでも出力ができます。

この機能について詳しい情報は[こちらへ](#)。

“履歴をクリア”ボタンは、選択した通貨ペアの過去データを削除するときに使用します。 このボタンをクリックすると、1分足、ティックデータが削除されます

5) インフォメーションライン

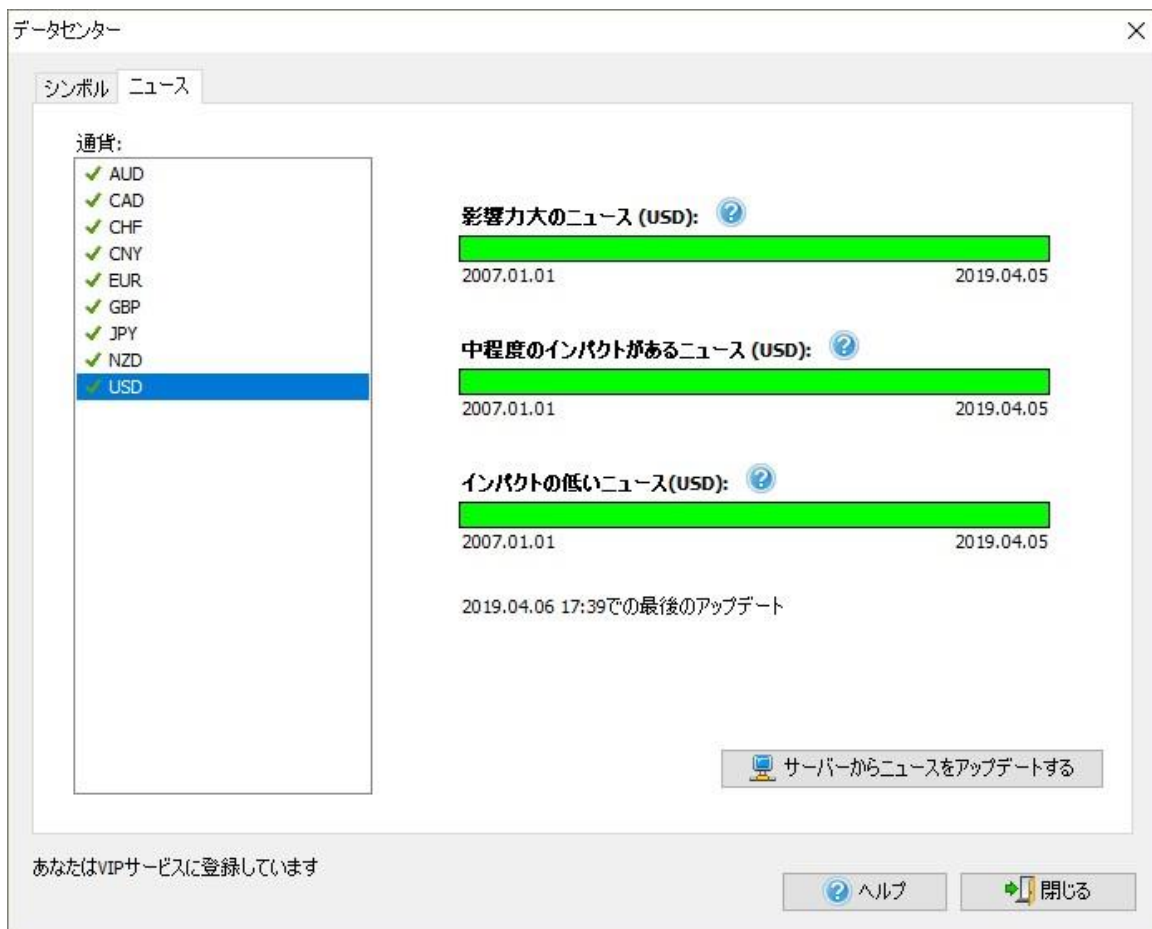
あなたはVIPサービスに登録しています

これは、データウィンドウの左下に出ている情報です。 この情報はデータサーバーへの接続状況を表示しています。 サーバーに接続中であれば、“データサーバーへ接続中”とでます。 このメッセージがでている間は、何もしないことをお勧めします。 また、データサービスの購入状況について表示がされます。 データサービスおよび購入についてはこちらをご覧ください。

<http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>.

6) ニュース

ファンダメンタル分析を Forex Tester4 で行うトレーダーに役立つ機能です。 ニュースカレンダーを利用することができます。



左側には通貨の一覧が表示され、右側には使用できるニュースの範囲が表示されます。購入しているサービスにより、取得できるニュースデータが変わってきます。緑色のバーのニュースデータが取得できます。

重要：各バーには利用可能なニュースの開始日と終了日が表示されます。バーが緑色の場合、その期間のデータはすでにダウンロードされています。バーが灰色の場合 - バーの下に指定された期間のニュースがサーバー上で利用可能です。ニュース情報が最後に更新された日時がバーの下に表示されます。

ベーシック（無料）サービスでは、米ドル通貨のメジャーニュースのみが利用可能です。

他のすべての通貨は、スタンダードまたは VIP サービスの購入で利用可能になります。有料データサービスを購入するには、データセンターの左下にある「他のデータサービスのオプション/アップデート」のリンクをクリックしてください。

「サーバーからニュースをアップデートする」ボタンをクリックすると、ニュースをすぐに更新できます。何らかの理由でニュースを更新できない場合は、情報メッセージが表示されます。

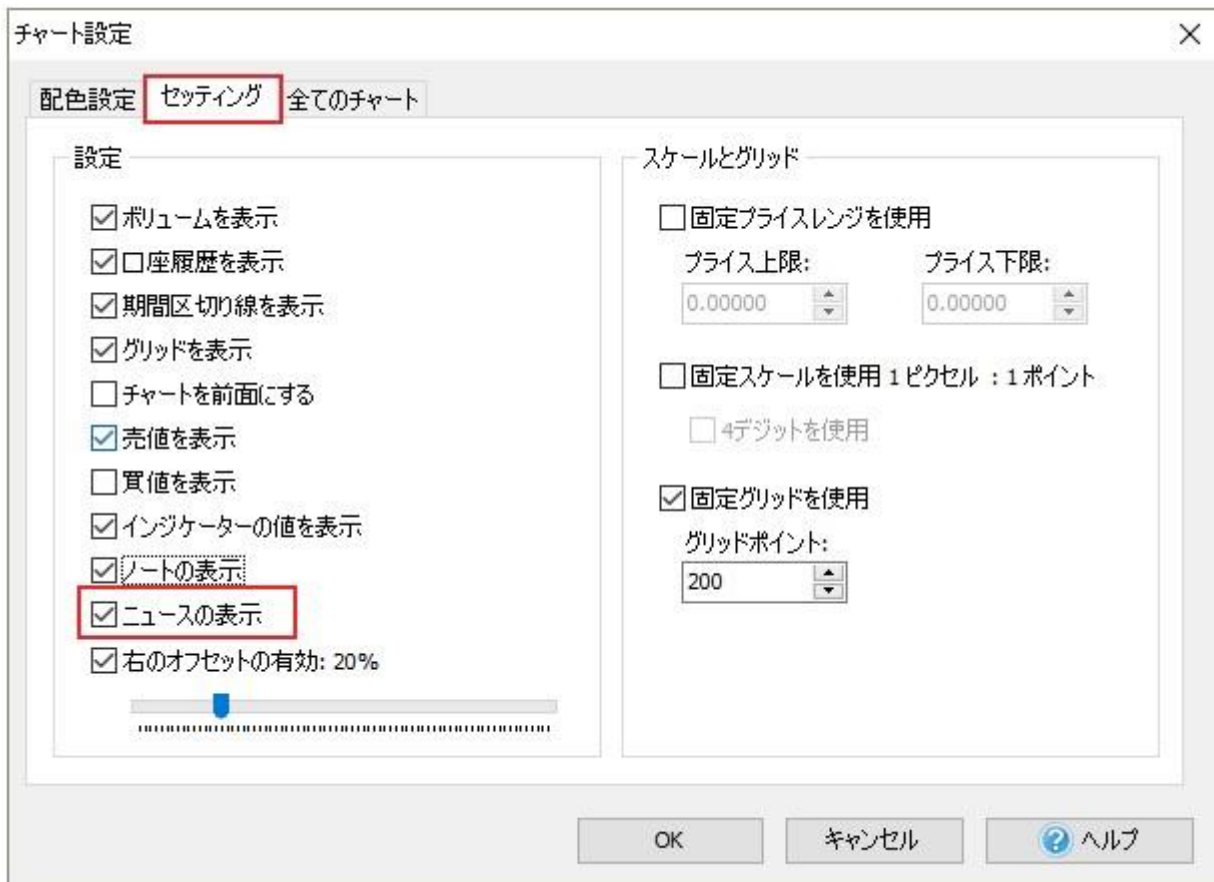
デフォルトでは、ニュース表示は有効になっており、チャートの下部にフラグとして表示されます。フラグの丸の色（赤、黄、緑）は、ニュースの重要性を示しています。



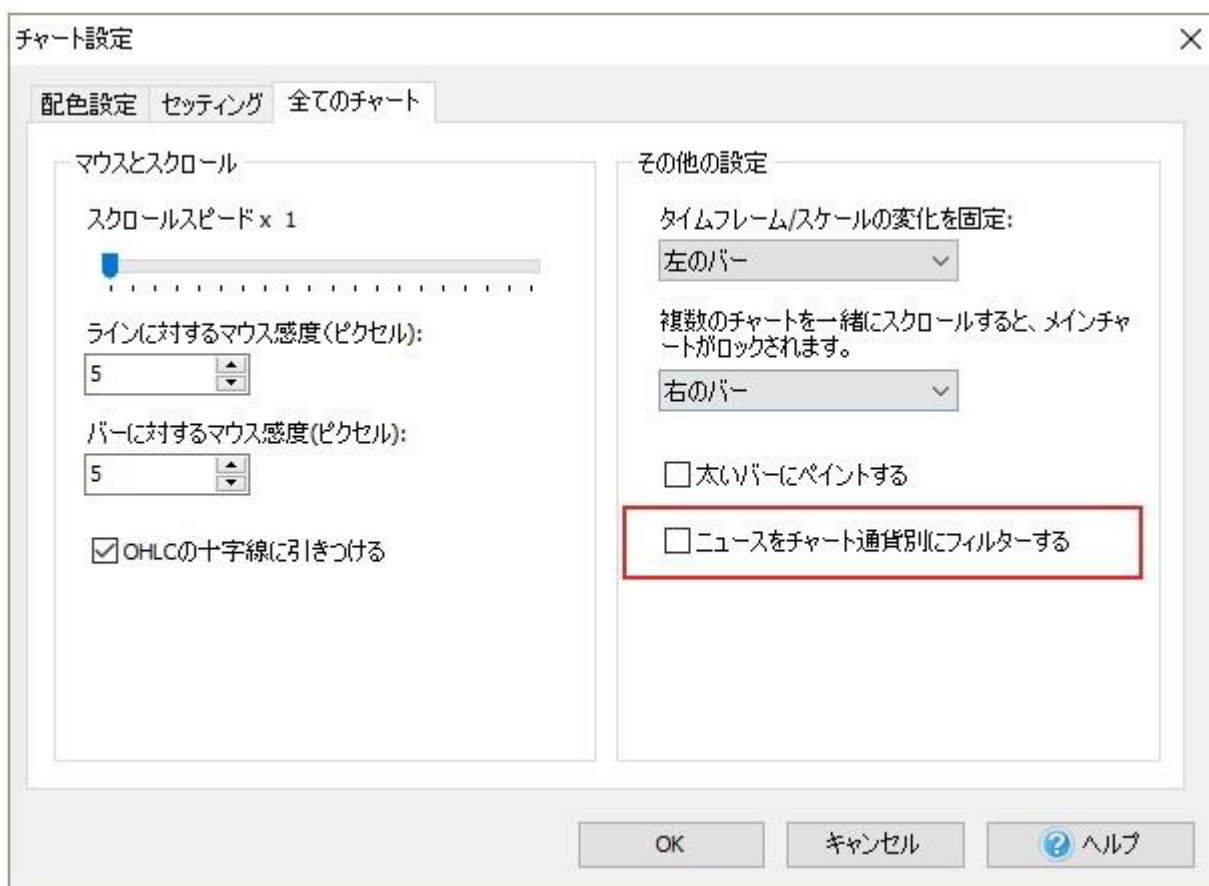
たとえば、赤いフラグは重要性の高いニュースです。このニュースの発表後、ニュースの影響を受けて通貨ペアの急激な動き（下落/上昇）が予想されます。

黄色いフラグは中程度に重要なニュースです。リリース後は価格の急騰や急落が予想されます。

緑のフラグは重要性が低く、プライスの急激な変動は通常ありません。チャートにニュースを表示しないようにするには、マウスの右ボタンをクリックして「ニュースを表示」項目のチェックを外すか、マウスの右クリック⇒チャート設定⇒設定⇒ニュースの表示オプションのチェックを外します。



「チャート設定」ウィンドウ → 「すべてのチャート」タブでは、チャートの通貨によるニュースのフィルタリングを有効にできます。対応するオプションを有効にすると、チャートに含まれる通貨のニュースのみが表示されます。

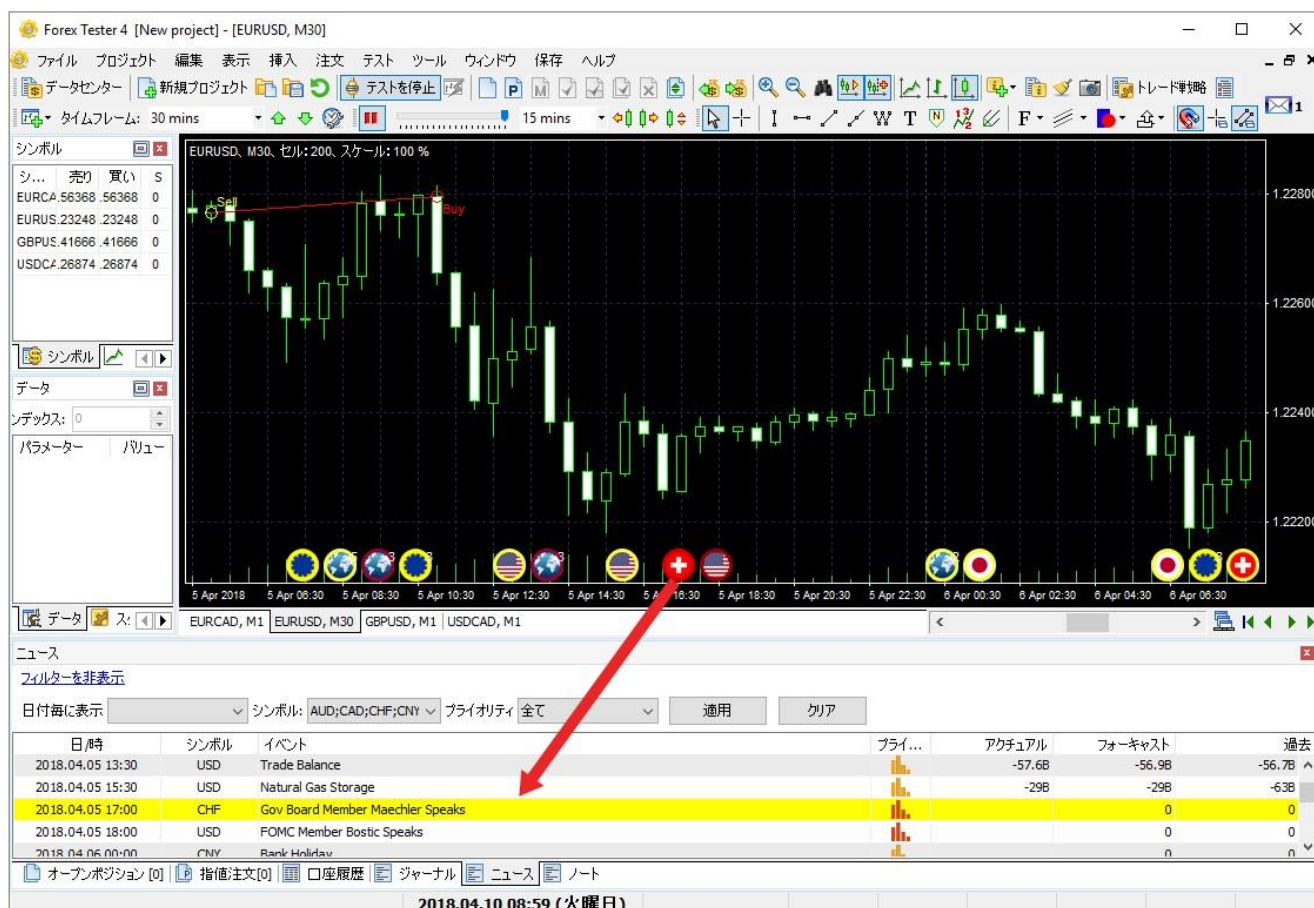


画面下部に「ニュース」タブがあります。デフォルトでは、「ジャーナル」タブの左側にあります。

このタブには以下の項目があります。

- 時間 - ニュース発表の日時シンボル - このニュースが関連するシンボル（通貨、銘柄）
- イベント - ニュースの名前優先度 - ニュースの重要性。
- 速報値 - 実際のニュースの数値の結果前回値
- 前回のニュースの数値の結果
- 予測値 - ニュースの予測値

「ニュース」タブとチャート上のすべてのニュースが同期されています。「ニュース」タブの適切なラインをクリックすると、それが強調表示されチャートがそれぞれの対応するニュースアイコン（フラグ）に移動します。この場合、フラグは白い縦線でマークされます。



チャート上の対応するニュースのフラグにカーソルを合わせると、ニュースに関する情報のポップアップが表示されます。

異なるシンボルに関する複数のニュースが一度に表示される場合、ニュースアイコンは地球マークで 1 つのアイコンにまとめられます。

同時に表示されているニュースが 1 つ以上の場合、アイコン上にその時点のニュースの数を示す数字が表示されます。このアイコンの上にマウスを移動すると、これらのニュースの情報がポップアップウィンドウに表示されます。

トレード戦略でニュース情報を利用し易いように、「ニュース」タブのフィルタを使用できます

ニュース							
フィルターを表示		フィルター適用なし					
日/時	シンボル	イベント	プライ...	アクチュアル	フォーキャスト	過去	
2018.04.05 13:30	USD	Trade Balance		-57.6B	-56.9B	-56.7B	▲
2018.04.05 15:30	USD	Natural Gas Storage		-29B	-29B	-63B	
2018.04.05 17:00	CHF	Gov Board Member Maechler Speaks			0	0	
2018.04.05 18:00	USD	FOMC Member Bostic Speaks			0	0	
2018.04.06 00:00	CNY	Bank Holiday			0	0	
2018.04.06 00:30	JPY	Household Spending y/y		-0.9%	0.3%	1.9%	
2018.04.06 01:00	JPY	Average Cash Expenditure y/y					
オープンポジション [0] 指値注文 [0] 口座履歴 ジャーナル ニュース ノート							
2018.04.10 08:59 (火曜日) 2018.04.05 11:00 P: 0.00000 O: 1.22797 H: 1.22815 L: 1.22632 C: 1.22657 V: 59600800							

「フィルタ表示」 ボタンをクリックするだけです。

ニュース							
フィルターを非表示							
日付毎に表示		シンボル: AUD;CAD;CHF;CNY	プライオリティ: 全て	適用	クリア		
日/時	シンボル	イベント	プライ...	アクチュアル	フォーキャスト	過去	
2018.04.05 13:30	USD	Trade Balance		-57.6B	-56.9B	-56.7B	▲
2018.04.05 15:30	USD	Natural Gas Storage		-29B	-29B	-63B	
2018.04.05 17:00	CHF	Gov Board Member Maechler Speaks			0	0	
2018.04.05 18:00	USD	FOMC Member Bostic Speaks			0	0	
2018.04.06 00:00	CNY	Bank Holiday			0	0	
オープンポジション [0] 指値注文 [0] 口座履歴 ジャーナル ニュース ノート							
2018.04.10 08:59 (火曜日) 2018.04.05 09:30 P: 1.22289 O: 1.22787 H: 1.22835 L: 1.22732 C: 1.22761 V: 61232300							

フィルタ名の近くにあるドロップダウンリストをクリックすると、次の項目を選択できます。

- ・ニュースが表示された日時
- ・プロジェクトに関連している 1 つ以上のシンボル
- ・高、中、低の重要なニュースのみを表示します

「適用」 ボタンをクリックすると、選択したすべてのフィルタがリストとプロジェクト内のニュース表示に適用されます。

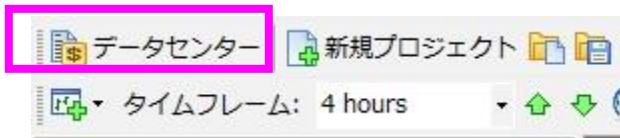
■データのダウンロード/インポート

Forex Tester は当社サーバーから過去データをダウンロードできます。また、テキストファイルから直接過去データを取込むこともできます。当社は 2001 年 1 月 1 日から現在までの過去データを無料で提供しています。過去データは Forex Tester のデータセンターウィンドウからダウンロードできます。また、当社サイトからもダウンロードできます。[\(Data Center\)](#) また、過去のデータをインポートできます。

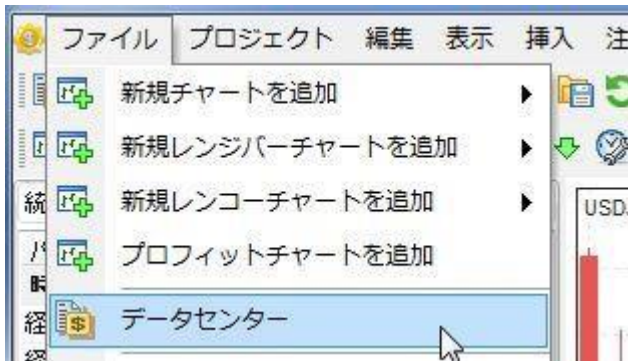
Forex Tester は過去データを自動で他のタイムフレーム用にコンバートします。そのため、1 分足の過去データを取込むことをお勧めします。そうすれば、Forex Tester はどのタイムフレームのチャートでも作ります。

過去データはデータセンターウィンドウからしか取込めません。データセンターにアクセスするには、ツールバーにある「データセンター」ボタンをクリックしてください。

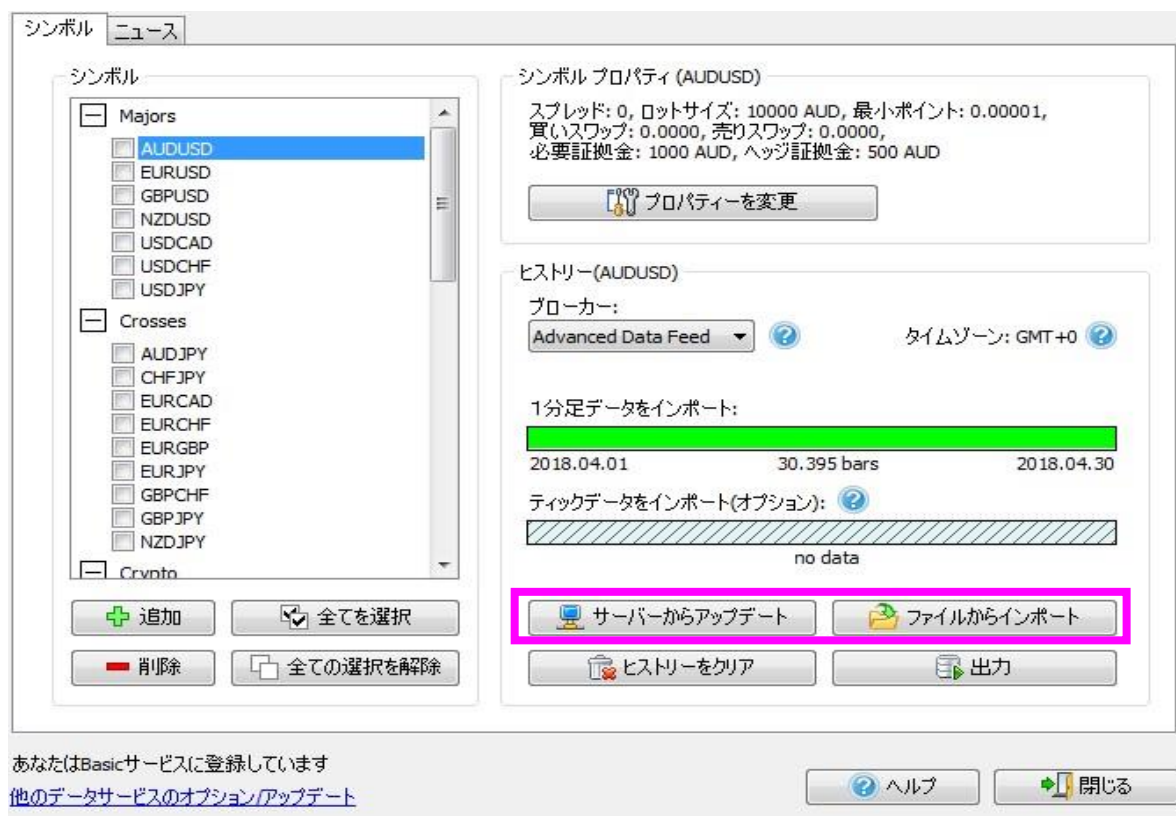
<http://forextester.jp/datacenter>



または、ファイル → データセンターメニューをクリックしてください。



「サーバーからアップデート」ボタンをクリックして当社サーバーから過去データをダウンロードします。また「ファイルからインポート」ボタンを使って、テキストファイルからデータを取込むこともできます。



データサーバーから過去データをダウンロードするには、通貨ペアをリストから選択し、ブローカーを選び、“サーバーからアップデート”ボタンをクリックします。過去データは1回ダウンロードしてください。ダウンロードされたデータは、PC に保存されます。データサービスの登録状況により、リストにでてくるブローカーは変わりますので、ご注意ください。無料のベーシックデータサービスの場合は、Forexite のみから 16 通貨ペア、金、銀のデータがダウンロードできます。

精度の高い過去レートを使いたい場合（有料サービス）： より良い品質の有名なブローカー10 社からデータをダウンロードできます。

ポイントの後の5桁（日本円を含む通貨ペア向けのポイント後3桁）

”スタンダード”データサービスをお申込みください。 [“Standard” data service.](#)

M1 から M30 のタイムフレームでトレードを行う場合、“VIP”データパッケージがあなたのニーズに合っているかと思います。 [“VIP” data package](#)

VIP データサービスでは下記が行えます。

ティックデータの利用

スプレッドを使う

最も正確で品質の高い結果を受け取る各データサービスタイプについての詳細はこちらをご覧ください。 <http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>
“サーバーからアップデート”ボタンをクリックした後、ウィンドウダイアログがでてきます。

サーバーからデータを更新(AUDJPY)

情報

ブローカー 'Forexite' のシンボル 'AUDJPY' に対し、1分足では2001.01.01から2016.08.05までのデータを当社は保有しています。ティックデータはありません。

データレンジ

☒ 最新の過去データをダウンロード(推奨:最後の更新時以降のデータをダウンロード)

☐ 一部の過去データをダウンロード

開始: 2001.01.01 終了: 2016.08.05

☐ 週末は無視する ?

ダウンロードするデータを選択

☐ 1分足、ティックデータをダウンロード

☒ 1分足データのみダウンロード

☐ ティックヒストリーをダウンロード

アップデート キャンセル

このダイアログを使って、ダウンロードしていない過去データを追加できます。(Forex Tester は自動で現在の通貨ペアに入っていないデータを判別します。) または、特定の期間だけ過去データをダウンロードすることもできます。

“情報”欄には、ブローカー、通貨ペア、データ期間、データタイプが表示されます。データサーバーは2タイプ(1分足とティックデータ)の過去データを提供しています。ティックデータはリアルなティックを含み、バックテストのクオリティが高くなります。ティックデータは、VIP サービス購入者のみダウンロード可能です。 [VIP service subscribers.](#)

“データレンジ”欄は、ダウンロードしたい過去データの期間を設定できます。

“最新の過去データをダウンロード”オプションを選択すると、例えば、2015 年 1 月 1 日までダウンロードしていた場合、2015 年 1 月 1 日から最新のデータまでをダウンロードし、元々あったデータと統合します。常時過去データを更新したいときに便利な方法で、いつも過去データを最新の状態にできます。もし、過去データが何もない（もしくは、過去データを削除した）場合は、選択した通貨ペアの全過去データをダウンロードします。

“一部の過去データをダウンロード”オプションを選択した場合は、選択した期間の過去データを取得します。すでに過去データが入っているときは、適切な形でデータを統合します。

“ダウンロードするデータを選択”ボックスの中では、ダウンロードする過去データのタイプを選べます。

1 分足、ティックデータをダウンロード（推奨）

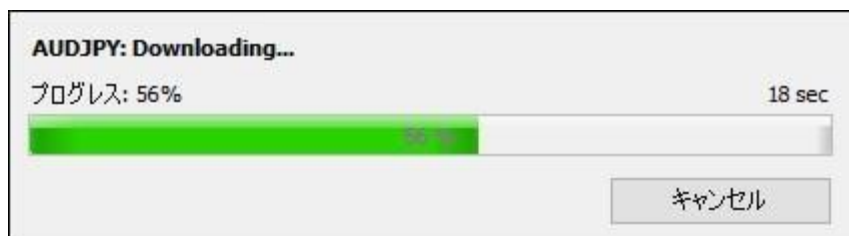
1 分足データだけをダウンロードしたい場合は、このオプションを用いてください。ティックデータが提供されていないとき（データサービスの購入状況による）や過去データを調査したいときに役立ちます。

ティックデータのみダウンロード場合、非常に正確なチャートを復元でき、バックテストの精度も上がります。

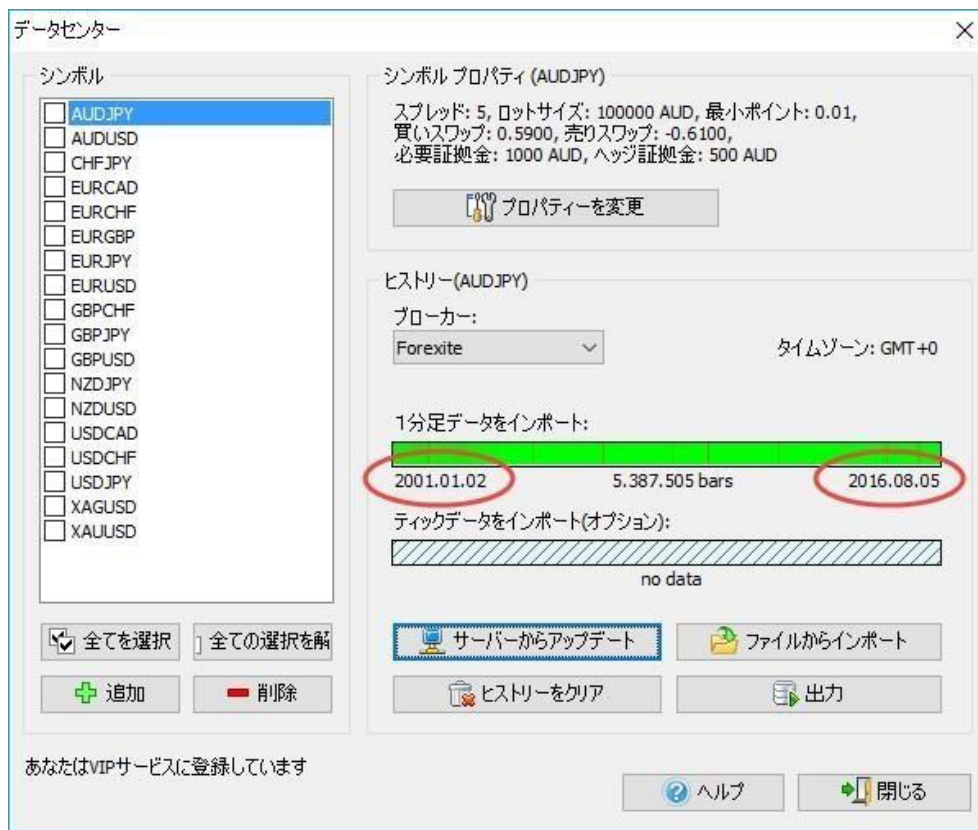
注意: ティックデータは VIP データサービス購入者にのみ提供しています。データサービスについては詳細情報をご覧ください。

<http://www.forextester.jp/HistoryServiceDescription>.

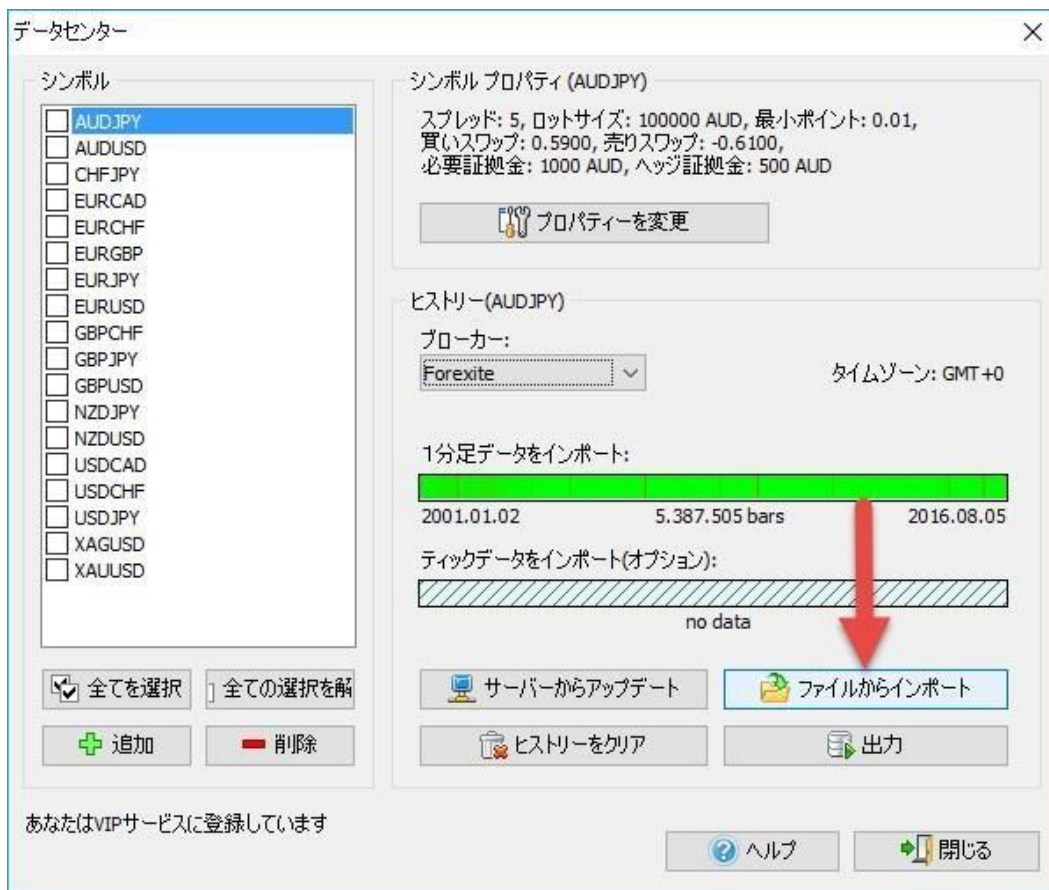
“アップデート”ボタンをクリックし、ダウンロードを開始してください。



注意: 選択した通貨ペアや期間が長い場合、データダウンロードの準備に時間がかかることがあります。データの開始日と終了日は、緑のバーの下に表示されています。

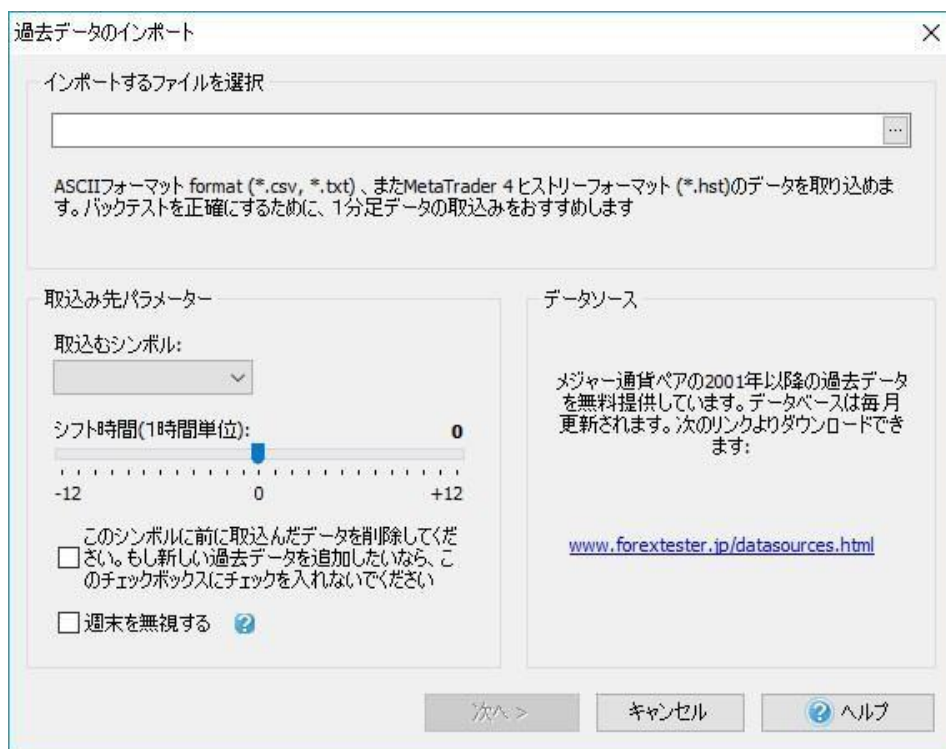


ファイルからデータを取込みたいときは、データセンターの“ファイルからインポート”ボタンをクリックしてください。



“過去データのインポート”ダイアログから、ファイルに入っている過去データを取込むことができます。Forex Tester はテキスト形式のファイルを読み込みます。CSV、1分足、もしくはそれより大きいタイムフレーム（5M, 1H, 1D など）のロウソク足データを入れてください。1分足よりも短いタイムフレームのデータはエラーになり、テストのクオリティーが下がります。

“過去データのインポート”ダイアログを開くと、下記の項目が表示されています。



最初に、“...” ボタンをクリックし、ファイルを選択してください。
当社サイトでもデータファイルを提供しています。

<http://www.forextester.jp/data/datasources>

ファイル選択後、Forex Tester は通貨ペアを自動で判別します。通貨ペア名が違う場合は、ドロップダウンメニューから選択してください。
通貨ペア名のデータがファイルに入っていない場合は、自動判別機能が作動しません。
ドロップダウンメニューから手動で選択してください。

また、シフト時間（1時間単位）の機能を使って、取込む過去データのタイムゾーンを変更することもできます。たとえば、タイムゾーンが違う複数のデータソースを使ったときに、データの時間を揃えるために使います。

オプションとして、“このシンボルに前に取込んだデータを削除してください。もし新しい過去データを追加したいなら、このチェックボックスにチェックを入れないでください”があります。ここにチェックを入れると、以前に保存した過去データを削除してから、新しい過去データを取込みます。

過去データのインポート

インポートするファイルを選択

D:\data\AUDJPY.txt

ASCIIフォーマット format (*.csv, *.txt)、またMetaTrader 4 ヒストリーフォーマット (*.hst)のデータを取り込みます。バックテストを正確にするために、1分足データの取込みをおすすめします

取込み先パラメーター

取込むシンボル:
AUDJPY

シフト時間(1時間単位):
-12 0 +12

このシンボルに前に取込んだデータを削除してください。もし新しい過去データを追加したいなら、このチェックボックスにチェックを入れないでください

☐ 週末を無視する

データソース

メジャー通貨ペアの2001年以降の過去データを無料提供しています。データベースは毎月更新されます。次のリンクよりダウンロードできます:

www.forextester.jp/datasources.html

次へ > キャンセル ヘルプ

すべての設定が終わったら、“次へ”ボタンをクリックしてください。

過去データのインポート

パラメーター

コラム区切り線: Comma ,

データフォーマット: YYYYMMDD

コラム 1: Skip

コラム 2: Date

コラム 3: Time

コラム 4: Open

コラム 5: High

コラム 6: Low

コラム 7: Close

コラム 8: Volume

コラム 9: Skip

コラム 10: Skip

ソースファイル:

```
<TICKER>,<DTYYYYMMDD>,<TIME>,<OPEN>,<HIGH>,<LOW>,<CLOSE>,<VOL>
AUDJPY,20010102,230100,64.30,64.30,64.30,64.30,4
AUDJPY,20010102,230300,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230400,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230500,64.29,64.29,64.29,64.29,4
```

プレビュー結果 (取込み: AUDJPY, タイムシフト: 0 時間):

Date/Time	Open	High	Low	Close	Volume
2001.01.02 23:01	64.30	64.30	64.30	64.30	4
2001.01.02 23:03	64.29	64.29	64.29	64.29	4
2001.01.02 23:04	64.29	64.29	64.29	64.29	4
2001.01.02 23:05	64.29	64.29	64.29	64.29	4
2001.01.02 23:07	64.29	64.29	64.27	64.27	4

No converting errors

< 前へ インポート キャンセル ヘルプ

テキストフォーマットを選択していれば、上記のダイアログです。Forex Tester はすべての項目を自動で判別しますが、手動で変更もできます。

コラム区切り線: テキストファイルの中で、コラムを区切っている記号を設定します。通常はコンマかセミコロンです。

データフォーマット - データ形式 YYYY (YY) - 年, MM - 月, DD - 日
Column1 ... Column10 - データコラム 下記の値を含みます。

Skip	Skip this column
Symbol	Currency name
Date	Date
Time	Time
Open	Open value
High	High value
Low	Low value
Close	Close value
Volume	Volume

ソースファイル - ソースファイルの一部を表示
プレビュー結果 - 取込むデータの結果を表示注意：
カラムの設定が間違っていたり情報が入っていないと、エラーが表示されます。

過去データのインポート

パラメーター

コラム区切り線:
Comma ", "

データフォーマット:
YYYYMMDD

コラム 1

Skip

コラム 2

Time

コラム 3

Date

コラム 4

Close

コラム 5

High

コラム 6

Low

コラム 7

Close

コラム 8

Volume

コラム 9

Skip

コラム 10

Skip

ソースファイル:
<TICKER>,<DTYYYYMMDD>,<TIME>,<OPEN>,<HIGH>,<LOW>,<CLOSE>,<VOL>
AUDJPY,20010102,230100,64.30,64.30,64.30,64.30,4
AUDJPY,20010102,230300,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230400,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230500,64.29,64.29,64.29,64.29,4

プレビュー結果 (取込み: AUDJPY, タイムシフト: 0 時間):
198 converting errors found

Date/Time	Open	High	Low	Close	Volume
???.??.???? ??:??	?.????	64.30	64.30	64.30	4
???.??.???? ??:??	?.????	64.29	64.29	64.29	4
???.??.???? ??:??	?.????	64.29	64.29	64.29	4
???.??.???? ??:??	?.????	64.29	64.29	64.29	4
???.??.???? ??:??	?.????	64.29	64.27	64.27	4

< 前へ

インポート

キャンセル

ヘルプ

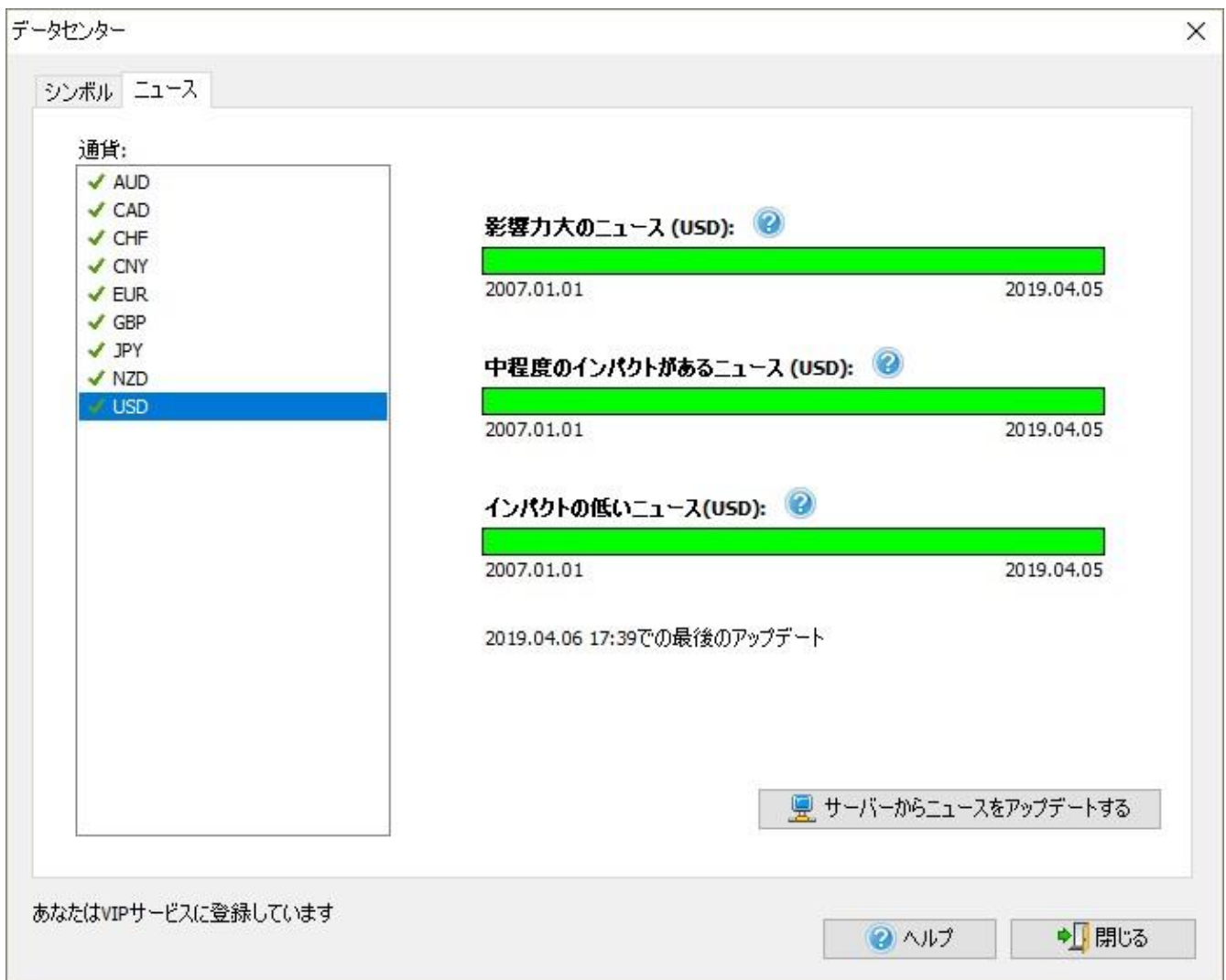
フォーマットを取込むときには、下記のダイアログが出てきます。



過去データを取込むなら、インポートボタンをクリックしてください。
過去データの取込みが終わったときに、下記メッセージが表示されます。



ニュースタブについてこのタブでは利用可能な過去ニュースについての情報を得ることができます。データ購入状況をアップグレードするためのリンクを踏むか、マニュアルでダウンロードしてください。



■新規プロジェクトの作成

テストを始める前に、過去データの準備をお願いします。“新規プロジェクト”ボタンをクリックし、バックテストをしたい通貨ペアやテスト期間の選択、証拠金の設定、などができます。

たとえば、10の通貨ペアのデータをダウンロードし、2つの通貨ペアのみテストをしたいとします。

新規プロジェクトを作成するときに、この2つの通貨ペアを選択し2012年から2016年までの期間でテストを開始する、ということが出来ます。

ティックデータを使ってテストが行えます。（ティックデータはVIPデータサービス購入者へのみ配信しています） [data service](#)).

新規プロジェクトを始めるには“新規プロジェクト”ボタンをクリックするか、メニュー → 新規プロジェクトをクリックします。



“新規プロジェクトを作成”ウィンドウがでます。ここで、プロジェクトの名前を入力し、証拠金（USD）を設定します。

設定後、“次へ”ボタンをクリックします。次の画面で下記の設定を行います。

新規プロジェクトを作成

シンボル選択

- ☒ AUDJPY
- ☐ AUDUSD
- ☐ CHFJPY
- ☐ EURCAD
- ☐ EURCHF
- ☐ EURGBP
- ☐ EURJPY
- ☐ EURUSD
- ☐ GBPCHE
- ☐ GBPJPY
- ☐ GBPUUSD
- ☐ NZDJPY
- ☐ NZDUSD
- ☐ USDCAD
- ☐ USDCHF
- ☐ USDJPY

テスト期間

開始時間: 終了時間:

テストクオリティ

☒ OHLCポイントでティックを変換

☐ ボリュームを使ってランダムにティックを変換

☐ 取込まれたティックデータを使用(1分足を作るティックデータが取込まれている場合、ティックが使用されます。ティックがなければ、上記の選択した方法でティックが生成されます)

☐ 変動スプレッドを使用

全てを選択 全ての選択を解

< 前へ 次へ > キャンセル ? ヘルプ

シンボル選択のリストから、テストをしたい通貨ペアを選択。（「全てを選択」ボタンですべての通貨ペアが選択されます。） 1つ以上の通貨ペアを同時にテストできます。テスト開始期間の“開始時間”と“終了時間”には、テストをしたい期間の日付を入れてください。

“テストクオリティ”は、テストに使用するデータのクオリティを設定します。

あなたが私たちのサーバーからティックヒストリカルデータをダウンロード済の場合は “分足データを使用”または、“分足データとティックデータを使用”を選択してください（ティックデータは VIP データサービスで利用可能です。 このオプションのテストの精度は最も良いです。

「詳細設定」ボタンをクリックして詳細設定ウィンドウを開きます。

×

新規プロジェクトを作成

シンボル選択

☐ DJI
☐ EURCAD
☐ EURCHF
☐ EURGBP
☐ EURHKD
☐ EURJPY
☐ EURUSD
☐ GBPCHF
☒ GBPJPY
☐ GBPUSD
☐ NG
☐ NZDJPY
☐ NZDUSD
☐ USDCAD
☐ USDCHF
☒ USDJPY
☐ XAGUSD
☐ XAUUSD

☒ 全てを選択

☐ 全ての選択を解除

テスト期間

開始時間:

2018.04.01

▼

終了時間:

2018.04.30

▼

テストクオリティ

☒ 1分データを使用する

☐ 1分とティックデータを使用する

高度な設定

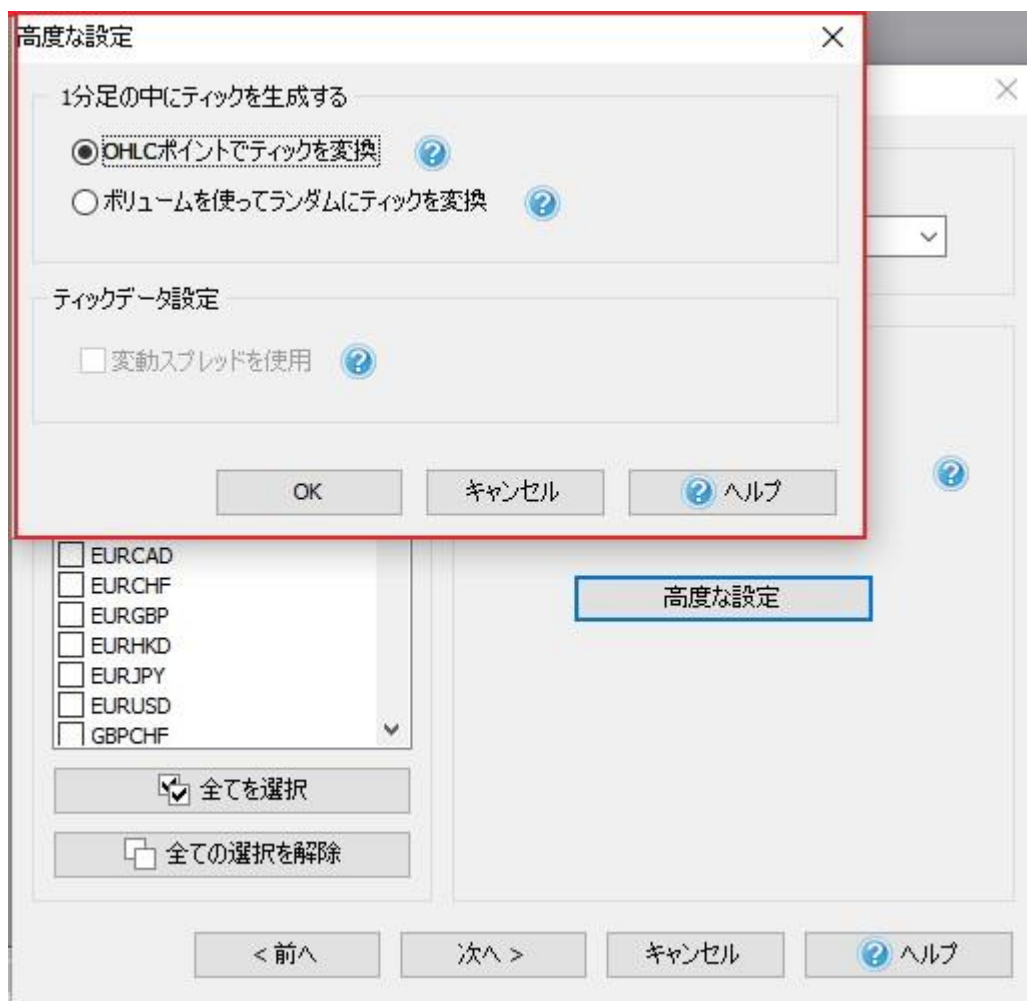
?

< 前へ

次へ >

キャンセル

ヘルプ



2つの方法があります。

“OHLC ポイントでティックを変換” - このオプションを選択すると、各ロウソク足は1から4つのティックを含みます。始値/高値/安値:/終値

“ボリュームを使ってランダムにティックを変換” - 1分足の中に入っているティック数は、そのロウソク足のボリュームと同じになります。ティックは1分足の中にランダムに設置されます。最初のオプションを使うことを推奨します。なぜなら、その方法が早く、また、良いテストクオリティを提供するからです。

「分足とティックデータを使用する」オプションを有効にした場合、「詳細設定」ウィンドウで「変動スプレッドを使用」オプションが使用可能になります。この機能は、すべてのデイトレーダー（タイムフレーム M1、M5、M15、M30、H1）にとって正確なテスト結果を得る為に最も重要です。

設定をしたら、“次へ”ボタンをクリックしてください。

タイムゾーンは選択した全ての通貨ペアに対して適用されます。過去データのデフォルトの設定は、GMT+0 です。

ドロップダウンメニューの“セッション終了時間”を使うと、必要なセッションの終了時間に応じてバーの表示を変更することができます。

プログラムには、4 つのセッションクローズタイム（シドニークローズ、東京クローズ、ロンドンクローズおよびニューヨーククローズ）とカスタム時間があります。

ドロップダウンメニュー項目の 1 つを選択すると、タイムゾーンスライダが自動的に対応する GMT に移動します。

デフォルトでは、新しいプロジェクトを作成するときに、サマータイムを適用しないデータが使用されます。必要に応じて、ドロップダウンリストからそれぞれのタイムゾーンに一致する DST を適用できます

“データの最初からテストを開始”を選んだ場合は、前のウィンドウで“開始時間”に入れた日付からテストを開始します。

“テスト開始日を決める”オプションを使ってテスト開始日を変更できます。

この場合、好きな日付からテストを開始できます。（“開始日時”へ日付を入れるか、目盛りで選択します）開始日を決めるだけで、全てのデータはチャートに表示されます。移動平均線などの、昔のデータを使うインジケーターやラインを使う場合や、昔のデータを使った分析をする場合に役立つ機能です。

新規プロジェクトを作成

タイムゾーン

タイムゾーン: GMT+0

-12 0 +12

セッション・クローズタイム

カスタム

デライトセービングタイム(DST)

DSTなし

テスト開始時間

☒ データの最初からテストを開始

☐ スタート開始日を決定(事前にヒストリーをロードしてください)

開始日時: 2018.04.01

その他

☒ 作成後、テスト開始

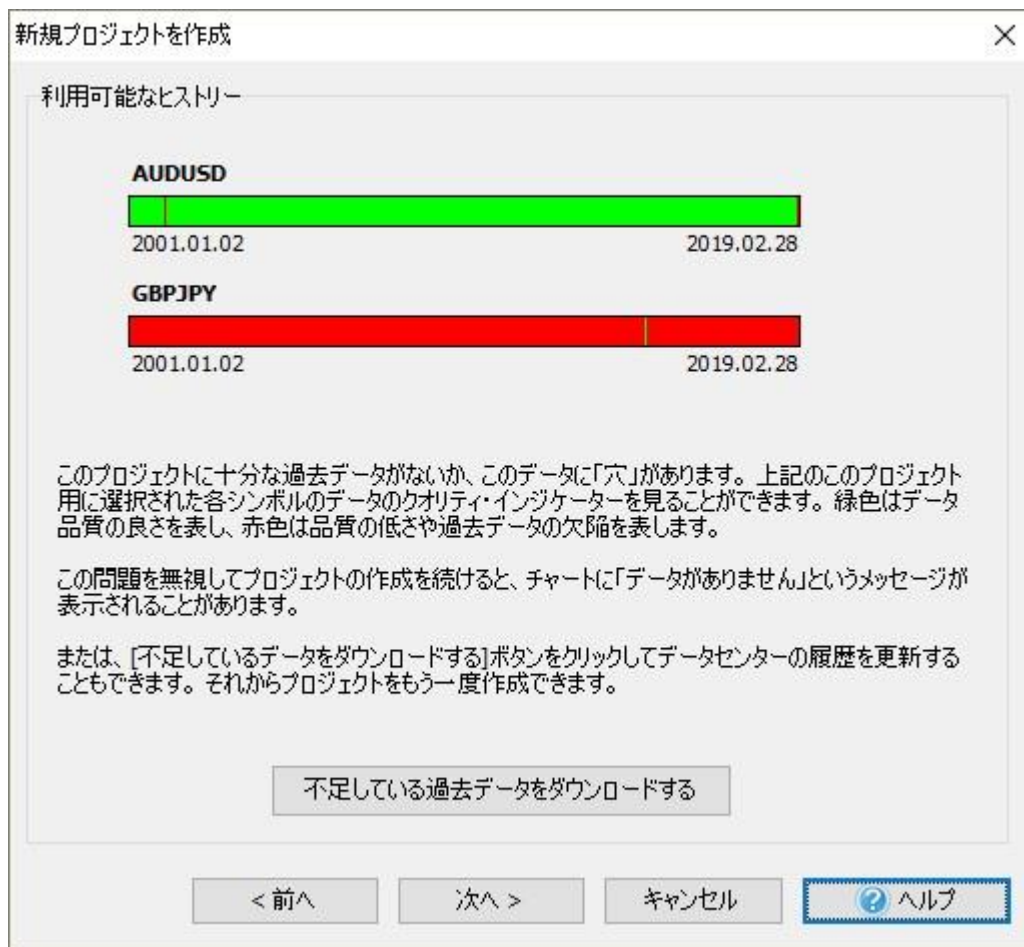
☐ 前進限定モード

< 前へ 作成 キャンセル ヘルプ

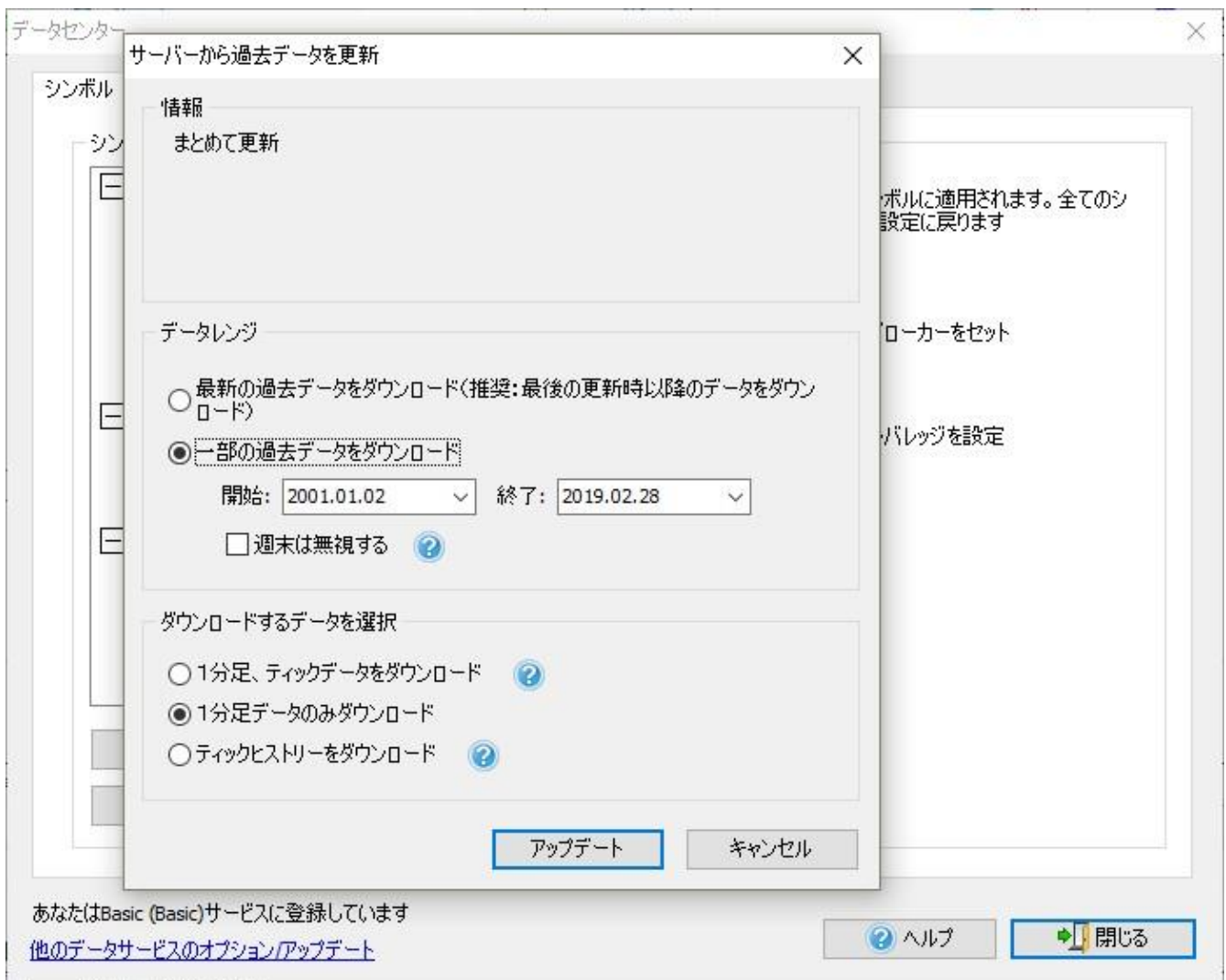
プロジェクトが作成された直後にテストを開始したい場合は、「作成後にテストを開始する」オプションを有効にします。前進限定モードオプションは、実際の状況にできるだけ近いモードを有効にするため、逆戻りしてテストすることはできません。

設定が終わったら“作成”ボタンをクリックし、データの準備をします。

複数の通貨ペア用のプロジェクトを作成し、そのうちの 1 つにデータがない場合は、次のウィンドウが表示されます。



このステップでは、プロジェクトに同じデータが存在しない期間を確認することができます - 赤で表示されています。この場合は、” 不足データをダウンロード” ボタンをクリックして、この通貨ペアのデータをダウンロードしてください。そして、再度プロジェクトを作成してください。



このステップをスキップしたい場合は、「次へ」ボタンをクリックするだけです。テストの開始後、データが不足しているシンボルのチャートに「データなし」というメッセージが表示されます。

テストは自動的に始まります。

「作成後にテストを開始する」オプションを有効にしなかった場合は、チャートが動きません。「テストを開始する」ボタンをクリックしてチャートを動かします。



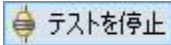
既存のプロジェクトに新しいヒストリカルデータを追加する必要がある場合は、「プロジェクト」 -> 「新しいヒストリカルデータのダウンロードと更新」メニューを選択し、ダウンロードしたデータを分析してください。購読サービスに応じて弊社のサーバーから取得しているため、データセンターを介してこのデータをアップロードしてプロジェクトを再作成する必要はありません。



■テストの開始方法過去

データを取込み、新規プロジェクトを作って準備をしたら、ストラテジーのテストを開始できます。テストを開始するには、“テスト開始”ボタン をクリックしてください。



ぐにテストが始まり、チャートが動き出します。テストが開始したら、“テスト開始”ボタンは“テストを停止”ボタンに変わります。 

注文を入れることができますので、ストラテジーのテストを開始してください。（次のチュートリアルで注文の入れ方について解説しています。） チャートが動くスピードを変更

できますし、一時停止し、“バー1つ分進む”ボタンでロウソク足を進めることもできます。



1) 一時停止ボタン - チャートを一時停止します。チャートの分析などをするときに使います。一時停止したら、上記の 4, 5, 6 が使えるようになります。キーボードのキーへ“一時停止”機能を割り振ることもできます。

2) プライスの動くスピード - 一時停止ボタンの横にあるバーを変更することで、チャートが動くスピードを変えられます。

3) ティックパッケージサイズ - ここで、チャートへプライスを更新する頻度を決めます。

もし Everytick を選ぶと、ティックごとにチャートは動きます。15分を選ぶと、15分ごとにチャートが動きます。チャートが動くスピードに影響がでます。

4) バー1つ分戻るボタン - このボタンは、一時停止しているときにのみ、使用できます。

現在のタイムフレームで見ているロウソク足1本分、チャートをバックします。1時間のチャートを見ていれば、1時間足1本分戻ります。もし、トレードが決済されているなら、バックしたときにポジションが戻ります。また、キーボードのバックスペースボタンも同じ動作をします。

5) バー1つ分進むボタン - このボタンも一時停止しているときにのみ、使用できます。現在のタイムフレームでバー1つ分進めます。現在使っているタイムフレームが1時間足なら、1時間のロウソク足1本進みます。開いているチャート全てに適用されます。キーボードのスペースボタンも同じ動作をします。

6) 1 ティックごとに進むボタン - このボタンも一時停止しているときにのみ、使用できます。(3)で指定したティックパッケージサイズ分でチャートを1つ進めます。キーボードの F11 キーも同じ動作をします。

メモ：ホットキーの変更は、ツール --> オプションメニュー、ホットキータブから行ってください。

ヴィジュアル的にチャートをみて、注文を入れられます。Forex Tester は C++や

Borland Delphi で書かれた自動売買ストラテジーのテストも行えます。API とストレテジーやインジケーターの書き方のサンプルは、¥Examples¥フォルダーを参照ください。A API ヘルプは、ヘルプ → インジケーター API/ストラテジー API を参照ください。自動売買ストラテジーは、ファストテストオプションか、ストレテジーオプティマイザーツールを使ってください。当社フォーラムもチェックしてください。

[プログラミングレッスン](#)

[Forex Tester API](#)

■注文の入れ方

テスト開始後、注文を入れられるようになります。2つの注文タイプがあります。成行注文（現在のマーケットプライスですぐに売買する）と指値/逆指値注文（プライスを指定し、そのプライスにチャートがタッチしたら執行される注文）です。

注文の執行、修正、削除はこのツールバーで行います。



- 1) 新規成行注文を入れる - 成行注文ダイアログを開きます。（キーボードの F2 ボタンでも開きます。）
- 2) 指値/逆指値注文を入れる - 指値/逆指値注文ダイアログを開きます。（または F3 キー）
- 3) 注文の修正（F4 キー） - “オープンポジション”タブ、もしくは、“指値注文”タブから、注文を選択してください。注文が入っているポジションの利確と損切を設定できます。指値/逆指値注文の場合、エントリープライス、利確、損切を設定できます。また、注文を決済するときにも、このウィンドウから行えます。
- 4) 選択したポジションの決済 - ポジションを決済します。（F5 キー）最初に、“オープンポジション”タブから注文を選択してください。
- 5) ポジションの一部を決済 - ポジションの一部のロット数だけ決済します。（Ctrl+F5 キー）。最初に、“オープンポジション”タブから注文を選択してください。
- 6) 全てのポジションと注文を決済（Ctrl+C） - “オープンポジション”タブ、もしくは

、“指値注文”タブにある、エントリーしている全てのポジションを決済し、指値/逆指値注文を削除します。

7) 指値/逆指値注文を削除 - 指値/逆指値注文を削除します。 最初に、“指値注文” タブから注文を選択してください。

下記のボタンは、メニューバーの注文にもあります。

注文		
	新規成行き注文	F2
	新規指値/逆指値注文	F3
	注文を修正	F4
	指値/逆指値注文を削除	F6
	証拠金を追加	
	出金	
	全てのポジションと注文を決済	Ctrl+C

成行注文ダイアログ. このダイアログから新規に成行注文を入れられます。スポイトボタンを使って、チャートから直接プライスを設定します。 また、損切、利確のプライスを直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。 “sell”、“buy”ボタンは、自動計算するときの計算モードの選択になります。売りか、買いか。

「リスク」と「ロット」のラジオボタンを使用して、手動またはリスク管理に基づくロットの計算方法を選択できます。リスクベースのロット計算を選択した場合は、ストップロス値を入力する必要があります。

成行き注文

一般

トレイルストップ

シンボル:

EURUSD

ロット:

0.77

☒ リスク計算 %:

1.00

?

行う予定です

☒ 売り

☐ 買い

損切:

1.23427

✎

×

1.23427

110

利確:

0.00000

✎

×

1.23217

100

コメント:

売り / 買い

1.23317 / 1.23347

SELL

BUY

ヘルプ

トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。

指値/逆指値注文

一般

トレイルストップ

シンボル:

USDJPY

タイプ:

Sell Limit

ロット:

0.2

☐ リスク計算 %:

0.01

?

プライス:

106.95949

✎

損切:

106.95969

✎

×

106.95969

20

利確:

106.95929

✎

×

106.95929

20

コメント:

注文を執行

キャンセル

ヘルプ

新規指値/逆指値注文ダイアログ - このダイアログでは新しい指値/逆指値注文を入れることができます。 スポイトボタンを使ってチャートからプライスを選択します。また、損切、利確のプライスを直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。（この設定により、注文内容が変わる場合があります。）

「リスク」と「ロット」のラジオボタンを使用して、手動またはリスク管理に基づくロットの計算方法を選択できます。リスクベースのロット計算を選択した場合は、ストップロス値を入力する必要があります。

トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。

指値/逆指値注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: USDJPY

タイプ: Sell Limit

ロット: 0.2 ☐ リスク計算 %: 0.01 ?

プライス: 106.95949

損切: 106.95969 106.95969 20

利確: 106.95929 106.95929 20

コメント:

注文を執行 キャンセル ? ヘルプ

チャート上で右クリックをして、ポップアップメニューから注文を入れることもできます。

	損切 107.05508 で売り	
	逆指値買い 107.05508	
	指値売り 107.05508	
	設定した損切/利確で買い	Ctrl+B
	設定した損切/利確で売り	Ctrl+S
	インジケータを追加	▶
	インジケータリスト	
	タイムフレーム	▶
	テンプレート	▶
☒	ボリュームを表示	
☒	グリッドを表示	
☒	期間分岐線を表示	
☒	口座履歴を表示	
☒	ノートを表示	
☒	ノートの表示	
	描画リスト	
	最後の描画を削除	Ctrl+Del
	全ての描画を削除	Ctrl+A
	チャート設定	

チャート上で右クリックをしたプライス位置から、注文を入れられます。 81.11 のプライスがメニューに入っていることが分かります。 この例では3つの選択肢があります。

事前に設定した損切り 81.11 で買い、このプライスで指値買い、または、このプライスで逆指値売り 他に2つの注文オプションがあります – 事前に設定したパラメーターで売り、買い注文ホットキー(Ctrl+B and Ctrl+S)を使えば、事前に設定したパラメーター（損切、利確、トレイルストップ、ロットなど）で簡単に注文を行えます。 パラメーターは、ツール → オプション → 注文の初期設定 から追加できます。

オプション

注文の初期設定 ホットキー タイムフレーム サウンド 更新 その他

買い注文の初期設定 (Ctrl + B)

キー	ロット	損切り	利確	トレイルストップ
1	2.00	0	90	none
2	4.00	0	60	none
3	4.00	0	60	none
4	8.00	0	30	none

追加
削除
編集

売り注文の初期設定 (Ctrl + S)

キー	ロット	損切り	利確	トレイルストップ
1	1.00	0	120	none
2	2.00	0	90	none
3	4.00	0	60	none
4	8.00	0	30	none

追加
削除
編集

OK キャンセル ヘルプ

もし1つの注文しかリストにない場合は、Ctrl+B/Ctrl+S を押し、注文をすぐにセットできます。もしくは、どの注文を入れるのか、聞かれることでしょう。

Select sell order to execute

キー	ロット	損切り	利確	トレイルストップ
1	0.10	40	40	none
2	0.30	25	60	none
3	1.00	0	0	none

To place an order you can press numeric key associated with the order, or double click on it with the mouse, or select it and press 'OK' button. You can edit list of orders in Main menu -> Tools -> Options.

OK キャンセル ヘルプ

■注文の変更

1 つまたは複数の注文を出した後（成行き注文または未約定注文）、注文の変更ができます。成行き注文の場合は、損切、利確の位置を変更できます。指値/逆指値の未約定注文の場合は、エントリープライスも変更できます。

また、両方の注文タイプのトレーリングストップパラメータを変更できます。注文を 1 つだけ行った場合は、ツールバーの「注文の変更」ボタンをクリックするか、キーボードの「F4」ボタンを押すと注文を変更できます。いくつかの注文を出した場合は、最初に未決済ポジションまたは未約定注文のリストから注文を選択する必要があります。

注文を変更するには最初に、“オープンポジション”、または“指値注文”タブから、注文を選択してください。

オープンポジション [1]											
チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間 △	オープン...	損切り	利確	マーケット...	コメント	スワップ	ポイント
4	audjpy	sell	0.10	2005.02.09 11:01	81.03	81.10	80.94	81.08		0.00	-5
残高: 9779.21 有効証拠金: 9773.83 Margin: 64.66 余剰証拠金: 9709.17 証拠金レベル: 15115.73%											-5.39
オープンポジション [1] 指値注文 [0] 口座履歴 ジャーナル											

そして、ツールバーにある“選択した注文を修正”ボタンをクリックしてください。（またはキーボードの F4 キーを押してください）



もしくは、注文の上で右クリックをし、ドロップメニューの“注文を修正”をクリックしてください。

注文		
	新規成行き注文	F2
	新規指値/逆指値注文	F3
	注文を修正	F4
	指値/逆指値注文を削除	F6
	証拠金を追加	
	出金	
	全てのポジションと注文を決済	Ctrl+C

または、注文をダブルクリックしてください。この場合、注文を入れた時間までチャートが戻ります。注文が入ったところで垂直線引かれ、“注文を修正”ダイアログが表示されます。このダイアログはエントリーしている注文用で、損切や利確の変更を行います。（変更できないパラメーターはグレイになっています。）“ポジションを決済”ボタンをクリックすれば、決済されます。

注文を修正 #5

一般

トレイルストップ

シンボル: AUDJPY

タイプ: sell stop

ロット: 0.20

80.86

81.15

81.06

20

80.74

80.66

20

コメント:

注文を修正

注文を削除

キャンセル

ヘルプ

このダイアログは指値/逆指値用で、各パラメーターの変更や注文を取り消すことができます。

注文を修正 #4

一般

トレイルストップ

シンボル: AUDJPY

タイプ: sell

ロット: 0.10

81.03

81.10

81.23

20

80.94

80.83

20

コメント:

注文を修正

ポジションを決済

キャンセル

ヘルプ

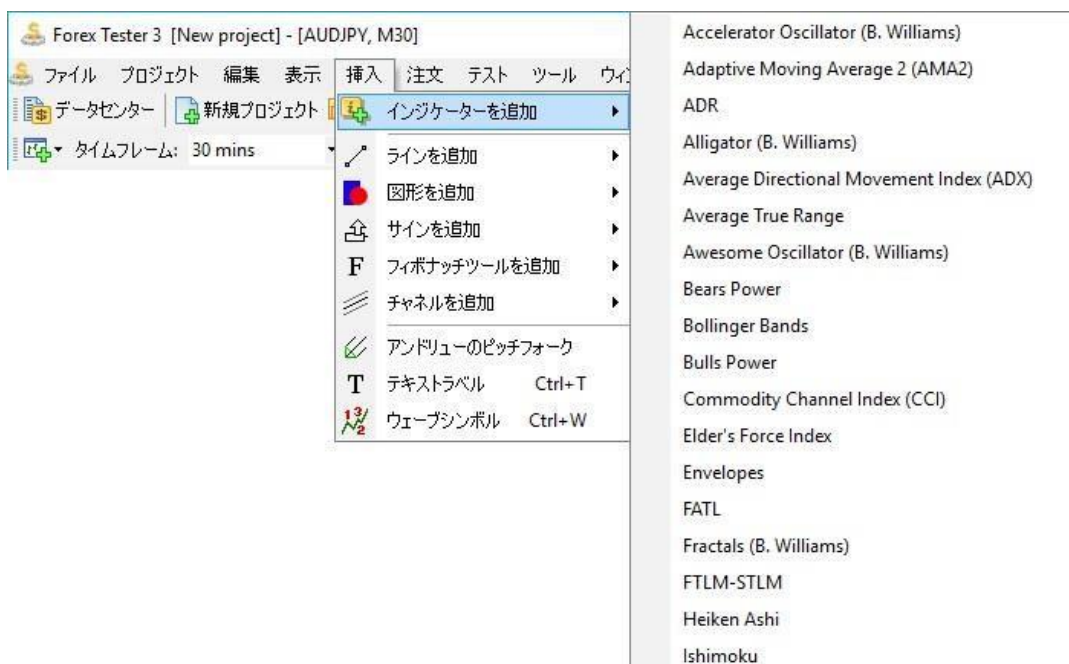
ツールバーにあるボタン、ホットキー、ドロップダウンメニューからも、注文を決済したり削除したりできます。

さらに、オープンポジションの損切や利確、指値/逆指値注文のエントリープライスの変更は、チャート上にあるラインをドラッグして変更ができます。

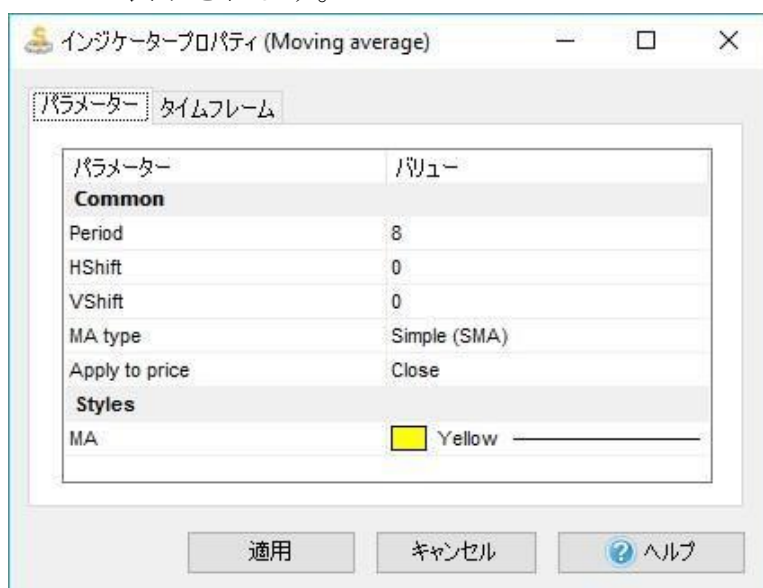


■表示中のテクニカル指標

ツールバーにあるこのボタン  を使ってチャートへインジケータやオシレーターを追加できます。または、メニューバーの挿入 → インジケータを追加 からも行えます。



また、チャートの上で右クリックをして、“インジケータを追加”を選択して追加することもできます。各インジケータを選択後、インジケータのプロパティを設定するダイアログが表示されます。



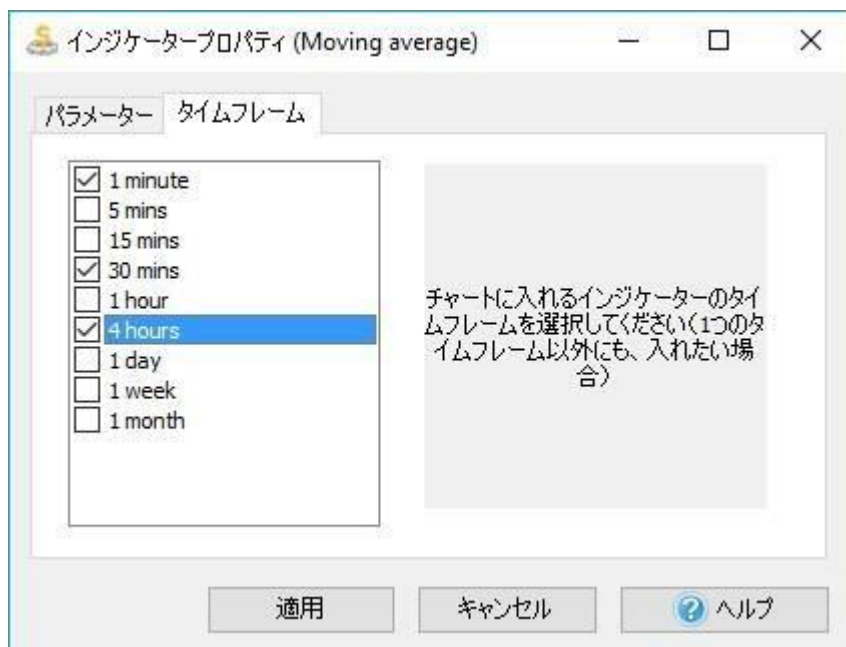
インジケータのパラメータを変更するには、項目欄をダブルクリックするか、左クリックで選択後、“Enter”キーを押してください。設定項目により、ドロップダウンメニューから選択したり、数値を選択する場合があります。

Common	
Period	3
HShift	0
VShift	0
MA type	Simple (SMA)
Apply to price	Close
Styles	
MA	Yellow

Common	
Period	8
HShift	0
VShift	0
MA type	Simple (SMA)
Apply to price	Simple (SMA)
Styles	
MA	Exponential (EMA) Weighted (WMA) Smoothed (SSMA)

変更をキャンセルするには、キーボードの“Esc”キーを押してください。変更を行うなら、“Enter”キー、または“Tab”キーを押すか、マウスの左クリックをしてください。

各インジケーターは表示されているタイムフレームとリンクするようになっています。たとえば、1時間足にインジケーターを入れたなら、他の時間足でそのインジケーターは表示されません。（5分足、1分足など）これはソフトウェアの最適化のために行っています。このようにしないと、テストのスピードが遅くなってしまいます。そのため、テストに必要な時間足だけにインジケーターを表示することをおすすめします。“タイムフレーム”タブから、インジケーターを入れる時間足を選択できます。



インジケーターを編集するときは、インジケーターのライン上で右クリックをしてください。次の画面が表示されます。

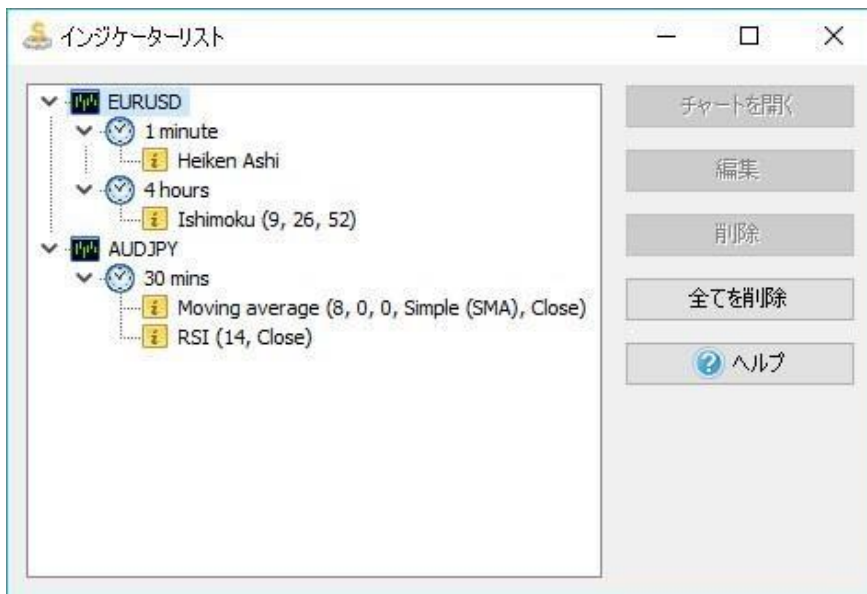


インジケーターのプロパティを編集（“インジケーターを編集”ボタン）するか、チャートから削除（“インジケーターを削除”ボタン）するか、選択できます。

オシレーターウィンドウには、2つ以上のインジケーターを同時に入れることもできます。オシレーターウィンドウの上で右クリックをし、“インジケーターをウィンドウに追加”から追加をしてください。オシレーターウィンドウを削除した場合、そのウィンドウに入っている全てのインジケーターが削除されます。



また、ツールバーの“インジケーターリスト”ボタンから、チャートに入っているすべてのインジケーターが確認できます。



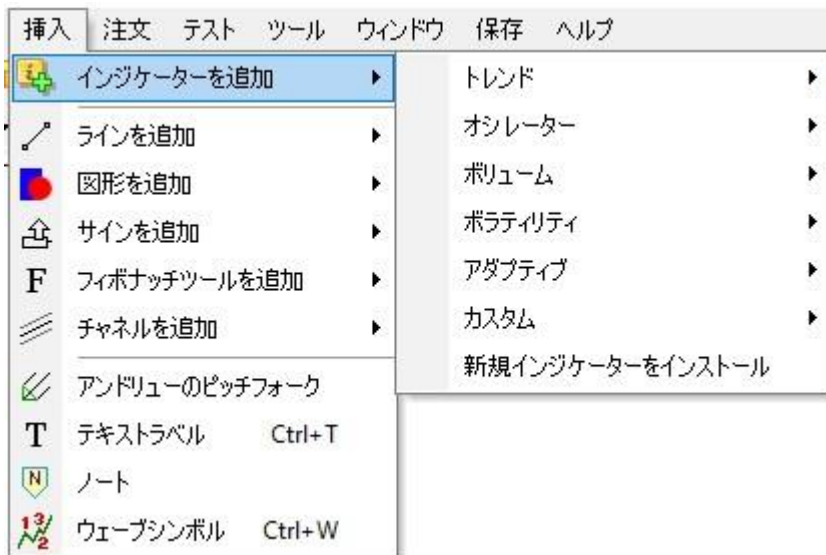
ここで、インジケータの編集、インジケータの削除、すべてのインジケータをまとめて削除ができます。

基本的なインジケータは Forex Tester に入っています。もし Forex Tester に入っていないインジケータを使いたい場合は、インジケータを自分で作ったり、プログラマーへ頼むこともできます。

.dll 形式のカスタムインジケータは、ファイル→インストール→インジケータのインストールメニューでインストールできます。

インポートした後、インジケータを挿入→インジケータ追加→カスタムメニューで見ることができます。

変換中にエラーが発生した場合、プログラムは私たちのプログラマーがストラテジー/インジケータ/スクリプトファイルを手動変換することを、電子メールで提案します。



インジケータは機能に従って 7 つのグループに分けられます：

1. トレンドインジケータ
2. オシレーター
3. ボリュームインジケータ
4. ボラティリティインジケータ
5. アダプティブインジケータ
6. カスタムインジケータ独自のインジケータを追加した場合、カスタムインジケータサブメニューに表示されます。

1.1 Trend indicators トレンドインジケータ：

Adaptive Moving Average 2 (AMA2)

Alligator

Bollinger Bands

BBandWidthRatio

Bollinger Bands

DeMarker

DonchianChannel+Midline

Envelopes

HeikinAshi

HMA Colored

Ichimoku

Keltner Channel

Linear Regression Channel

MA Crossover Signals
MA Colored
Moving Average
Moving Average+Levels
Parabolic SAR
Price Channel
Pivot Points
ZigZag

1.2. Oscillators オシレーター

Accelerator Oscillator
Aroon
Average Directional Movement Index
Awesome Oscillator
Bears Power
Bulls Power MACD
MACD new
Momentum
Polarized Fractal Efficiency (PFE)
Rate of Change (ROC)
Price Daily Range
Relative Strength Index
Solar Wind
Trade dynamic index (TDI)
Williams' Percent Range
Ultimate Oscillator

1.3. Volume Indicators ボリュームインジケーター :

MarketProfile(old)
Market Facilitation Index
Money Flow Index
On Balance Volume
Volume

1.4. Volatility ボラティリティインジケーター

ADR
Average True Range

1.5. Adaptive アダプティブインジケータ

FATL (Fast Adaptive Trend Line)

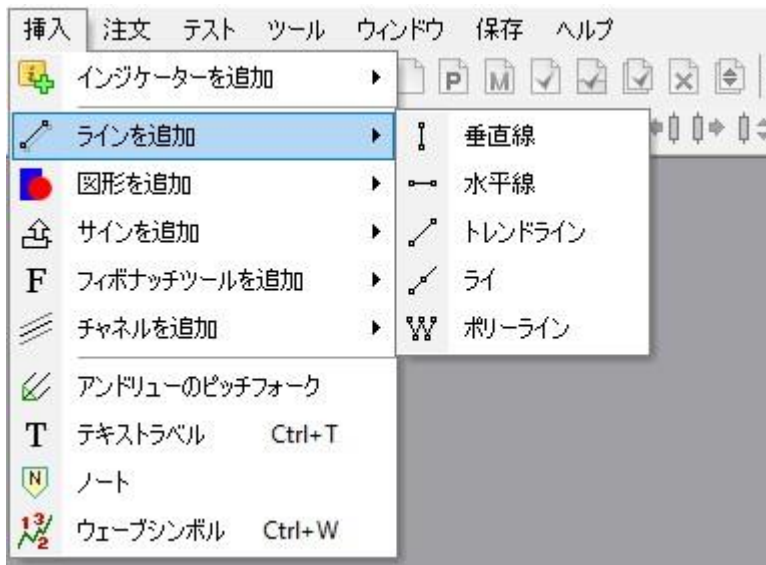
1.6. Custom カスタムインジケーター

ATR_MA
Bollinger Bands %b
Commodity Channel Index (CCI)
Elder`s Force Index
Engulfing Bar
Fractals (B. Williams)
FTLM-STLM
Gann HiLo
I-Sessions
Inside Bar
Ishimoku
PCCI
Range bars
Range Expansions Index
Stochastic
Time box

■罫線描画ツールの使用方法

Forex Tester は多くのチャートツールを揃えています。ポインター（矢印ポインター、十字ポインター） ライン（垂直線、水平線、トレンドライン、レイ、ポリライン）
図形（長方形、円、三角形）
サイン（親指のアップとダウン、上矢印、下矢印、ストップサイン、チェックサイン、左右のプライ斯拉ベル）
フィボナッチツール（フィボナッチリトレースメント、フィボナッチタイムゾーン、フィボナッチファン、フィボナッチアーク、フィボナッチエクステンション） チャネル（フィボチャネル、線形回帰チャネル） アンドリューのピッチフォーク テキストラベル
ウェーブシンボル

”挿入”メニューのリストにすべて入っています。



また、ツールバーにも各描画ツールのボタンが配置されています。



各アイコンの解説をします。

 - このアイコンは "十字線" モードを有効にします。 十字線は、チャート上の位置を指定および測定するために使用する移動可能な線です。 十字カーソルモードでマウスの左ボタンを押したままいずれかのエリアにドラッグすると、次の情報が得られます。

十字線の始点と終点との間のローソク足の数ピップスとパーセンテージの価格の変化
十字線の始点と終点の間隔 (日/時/分)

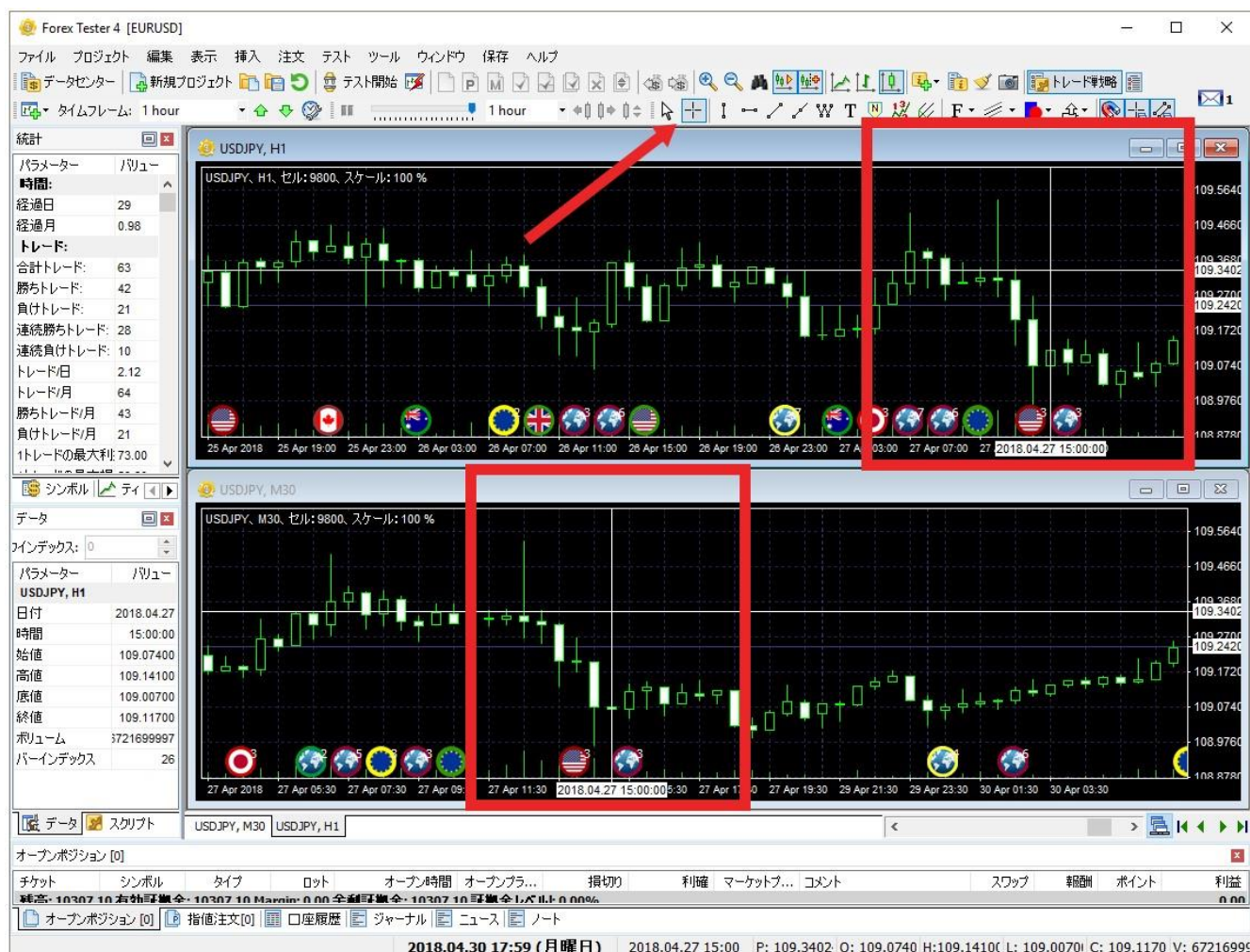




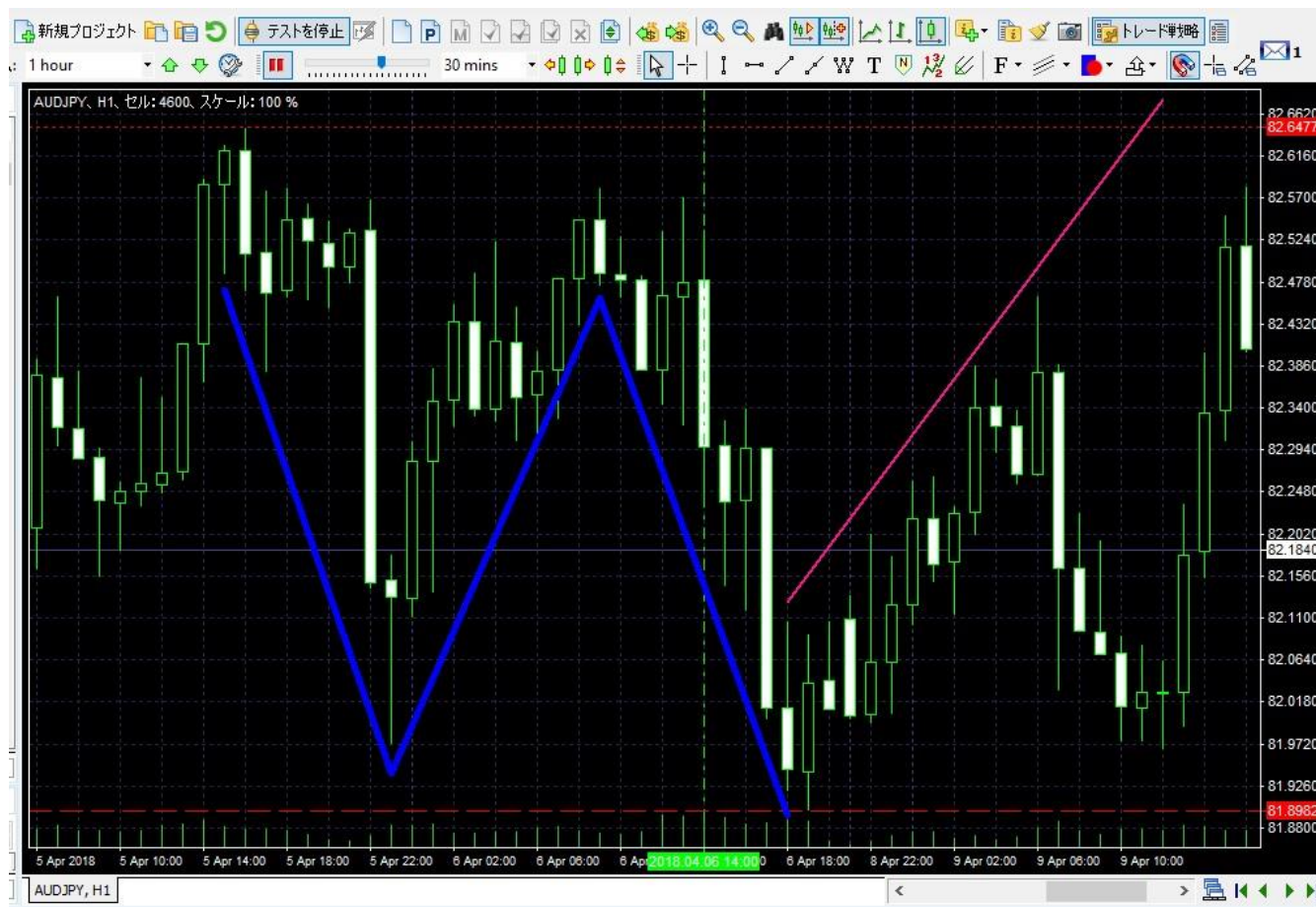
このアイコンでマグネットモードのオンとオフを切り替えます。マグネットモードがオンだと、マウスのポインターがチャートのロウソク足の始値/高値/安値/終値に張り付きます。マグネットの敏感度はチャートオプションで設定できます。(チャート上で右クリックして、“チャート設定”をクリック)



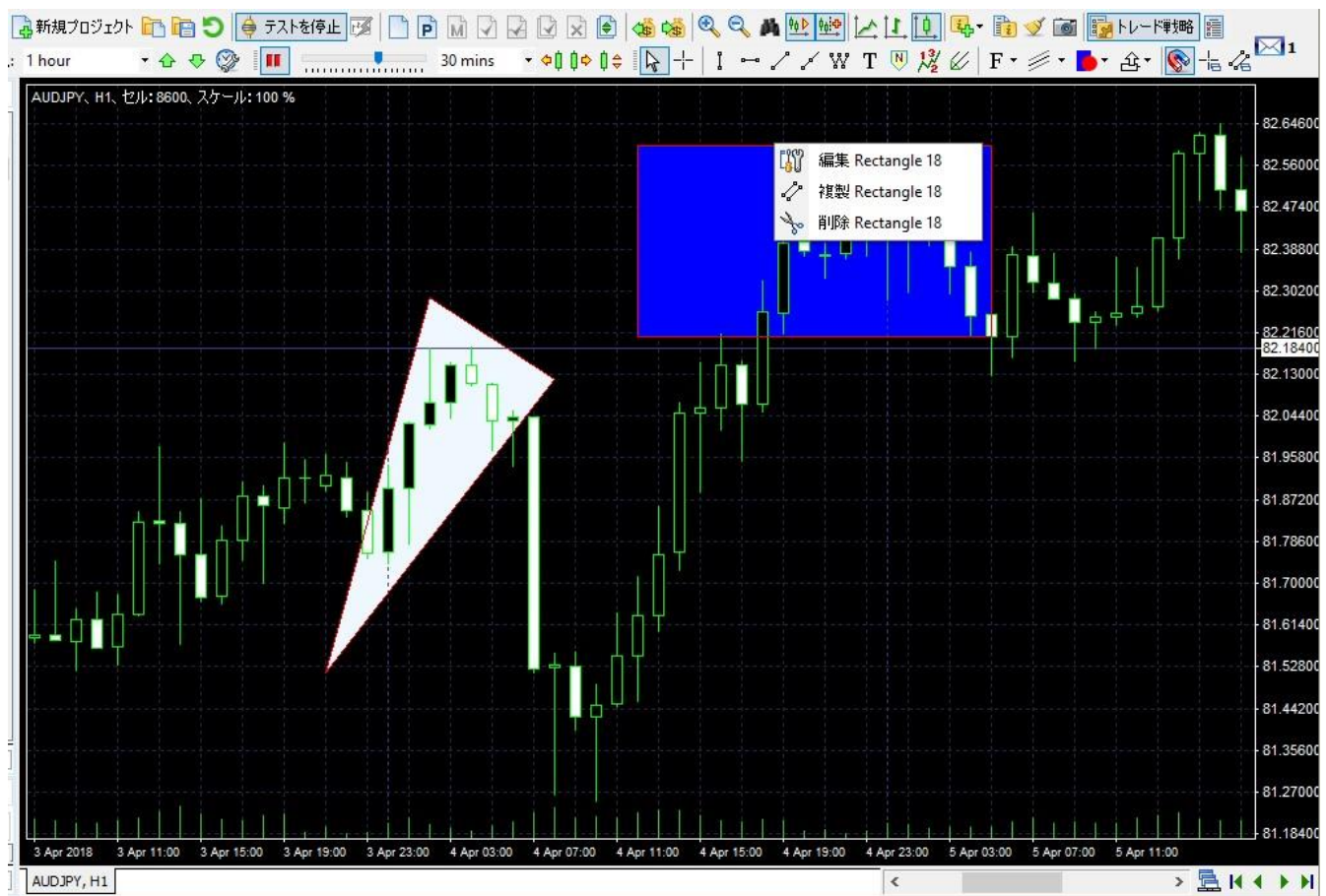
このボタンをクリックすると、すべてのチャートで十字線を同期できます。このモードが有効になっていると、すべてのチャート上に十字型マウスポインタが表示されます。グローバル十字線カーソルを有効/無効にするには、ツールバーのボタンをクリックします。それから十字線カーソルを通常通りに使用してください



ラインを引くのはとても簡単です。引きたいラインボタンをクリックし、開始ポイントで左クリックをし、マウスを移動させ、次のポイントで左クリックをしてください。（垂直線、水平線を引く場合は、左クリック1回だけです）描画をやめたいときは、右クリックをしてください。描画作業を停止します。ポリーラインやアンドリュウのピッチフォークのように2点以上をクリックしなくてはならない場合もあります。



各ツールには独自のプロパティがあります。編集したいときは、描画した図形上で右クリックをして“編集”を選んでください。ツールの複製もできますし、削除も行えます。



ツールを選択したいときは、ダブルクリックをしてください。 図形上に白い丸がでますので、そこをクリックしながら変形させたり、移動させたりします。 この状態でキーボードの Delete ボタンを押せば、選択されているすべての図形が削除されます。 選択をやめたいときは、再度、図形上でダブルクリックをしてください。

描画ツールを使うときに便利なホットキーを紹介します。

Ctrl + G - チャート上のすべての描画を選択する

Ctrl + D - チャート上のすべての描画を非選択状態にする

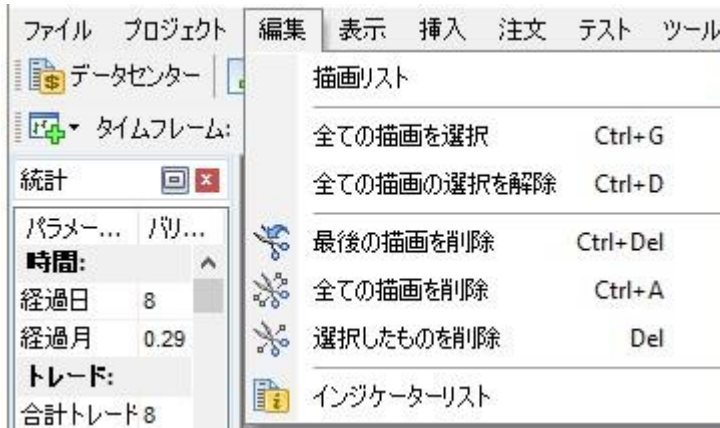
Ctrl + Del - 最後に追加された図形を削除する

Ctrl + A - すべての図形をチャートから削除する

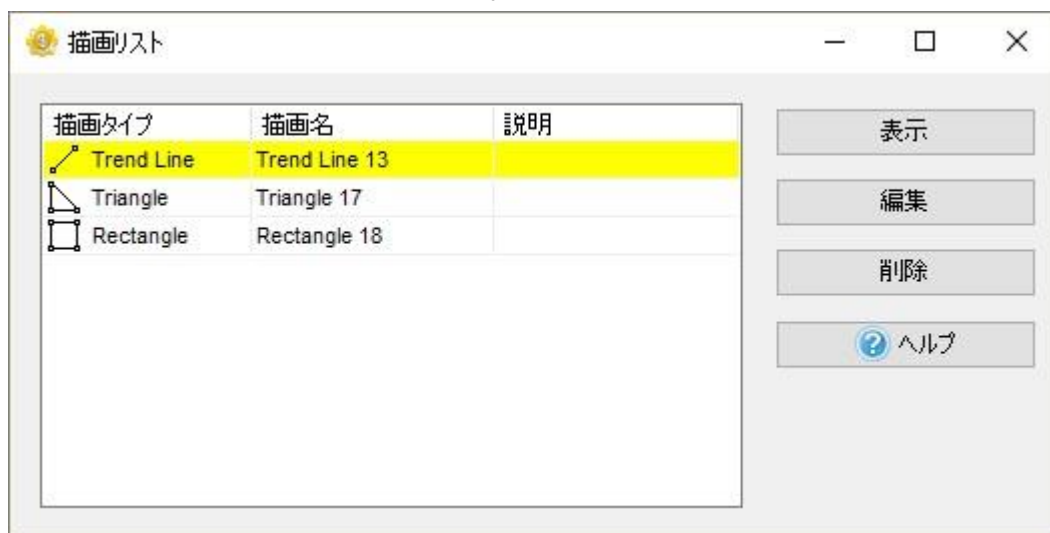
Delete - 選択した図形を削除する

ホットキーは、ツール --> オプションメニューから変更できます。

編集メニューからショートカットが確認できます。このメニューから、描画のリストを開けます。リストには、今使っているチャートに入れた図形が表示され、変更や削除ができます。



描画リストダイアログは下記です。



1 つの通貨ペアのすべてのチャートと時間枠でグラフィカルツールを同期させるには、「ペイント」ツールバーのボタンを使用します。このモードが有効になっていると、チャートの 1 つに作成されたすべての新しいグラフィカルオブジェクトは、同じ通貨ペアのすべてのチャートに表示されます。

たとえば、1 つのチャートにトレンドラインを追加すると、それがすべてのチャートに表示されます。

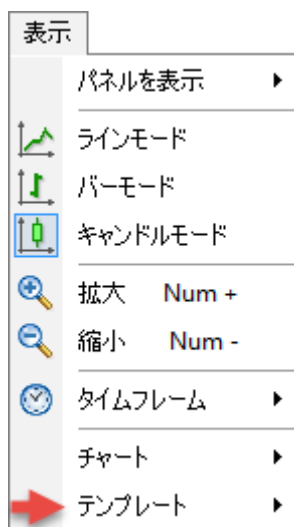
同様に、（同じ通貨ペアの）異なるチャート上に作成されたグラフィカルツールは同期されています。それを削除すると、関連する他のツールも残りのチャートから削除されます。

■テンプレートとデスクトップの使用

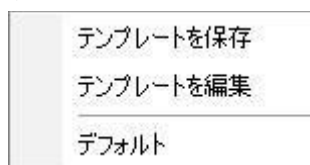
テンプレートは、チャートに入っている全ての設定を保存し、再利用する機能です。インジケーター、描画ツール、色設定などをテンプレートとして保存できます。

テンプレートがあると、チャートの設定が簡単になり、テストを行いやすくなります。チャート上で全ての設定をした後に、テンプレートとして保存できます。テンプレートを保存方法は下記です。

“表示”をクリックします



テンプレート --> テンプレートを保存、もしくはチャート上で右クリックをして、テンプレート → テンプレートを保存をクリックします。



テンプレート名を記入し、保存したいオプションにチェックを入れます。

-保存オプション

-配色を保存：現在のチャートのメイン配色と追加の配色を保存します。

描画ツールを保存：チャートに描いたラインや形などを保存します。

-インジケーターを保存：チャートへ入れたインジケーターを保存します。



→ チャート、バー、グリッドなどの色を保存します。（色設定の保存だけで、インジケータはチャートに表示されません）



→ 現在のチャートに入っているすべてのインジケータを保存します。

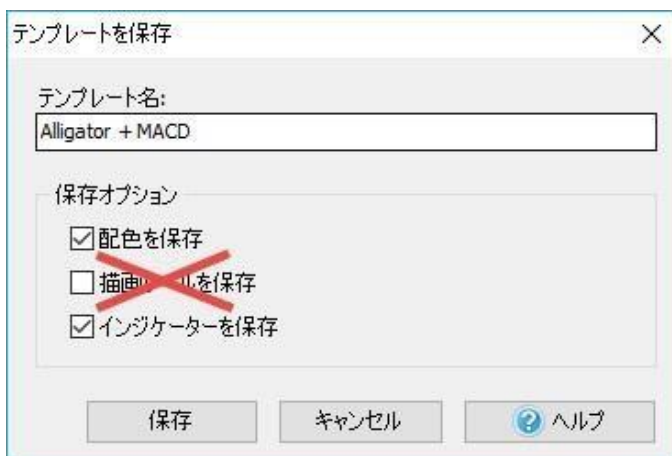


→ 配色以外に、ライン、フィボナッチツール、図形、チャネル、テキストラベルなどの描画されたものを全て保存します。

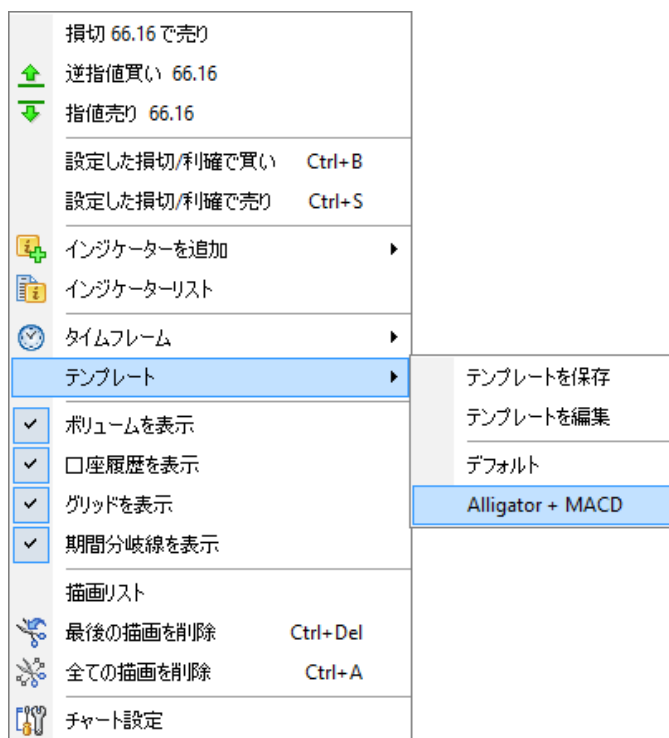
注意：（上記のように） unnecessary 保存内容にチェックをはずすことができますし、初期設定のままにすることもできます。



もし他の通貨ペアでもテンプレートを使いたいのなら、“描画ツールを保存”からチェックをはずすことをお勧めします。通かペアが違くと保存した図形などが正しく表示されません。

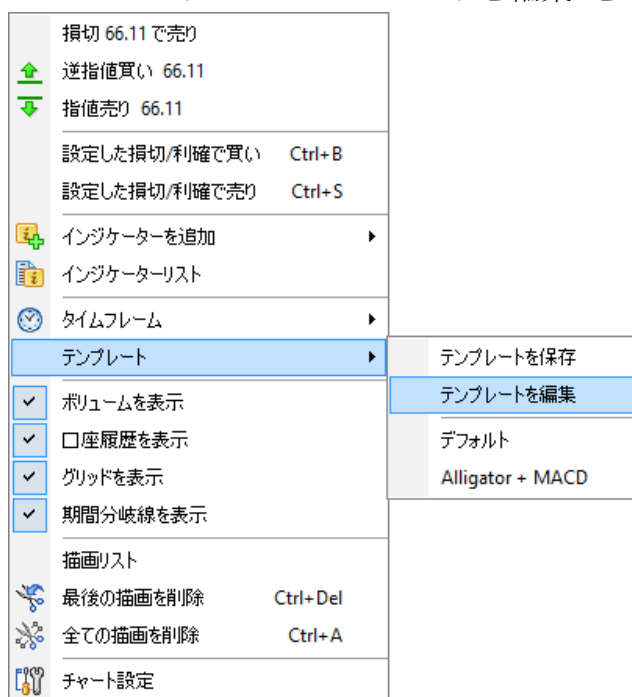


注意：インジケータは選択した時間足にのみ保存されます。例えば、15分足、1時間足、4時間足のテンプレートを作ったとします。このテンプレートをチャートに入れた場合は、同じ時間足のチャートでしか、インジケータは表示されません。
テンプレートをチャートへ適用するには、チャート上で右クリックをし、テンプレート → 「テンプレートを適用」をクリックします。

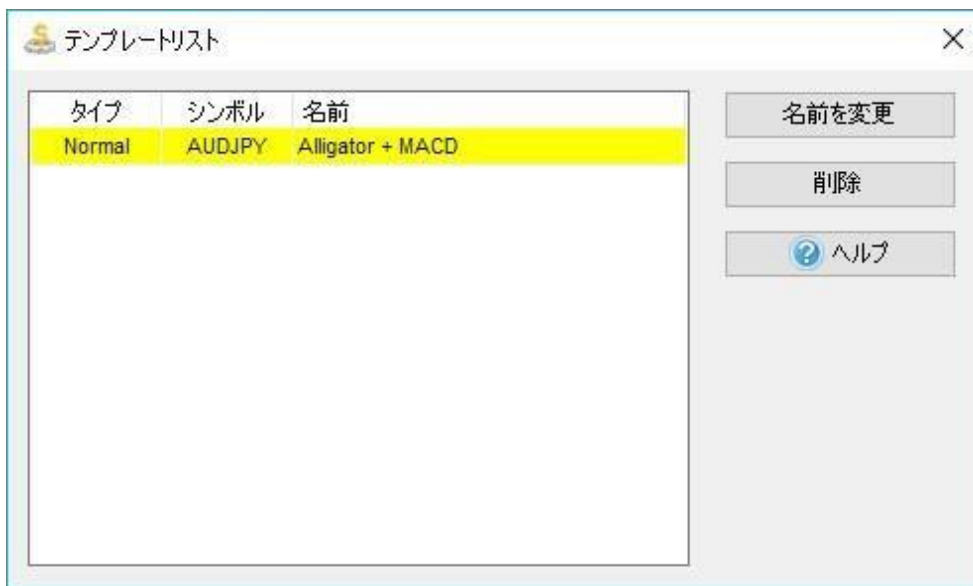


注意：テンプレートの内容に沿い、チャートに変更が加えられます。テンプレートで設定したタイムシフトも復元されます。そのため、テンプレートは、特定の時間足に入れた時間足やインジケーターなど、完全な状態でチャートへ復元されます。

テンプレートの名前の変更や削除方法は下記になります。
 チャート上で右クリックをします。
 "テンプレート --> テンプレートを編集"をクリックします。



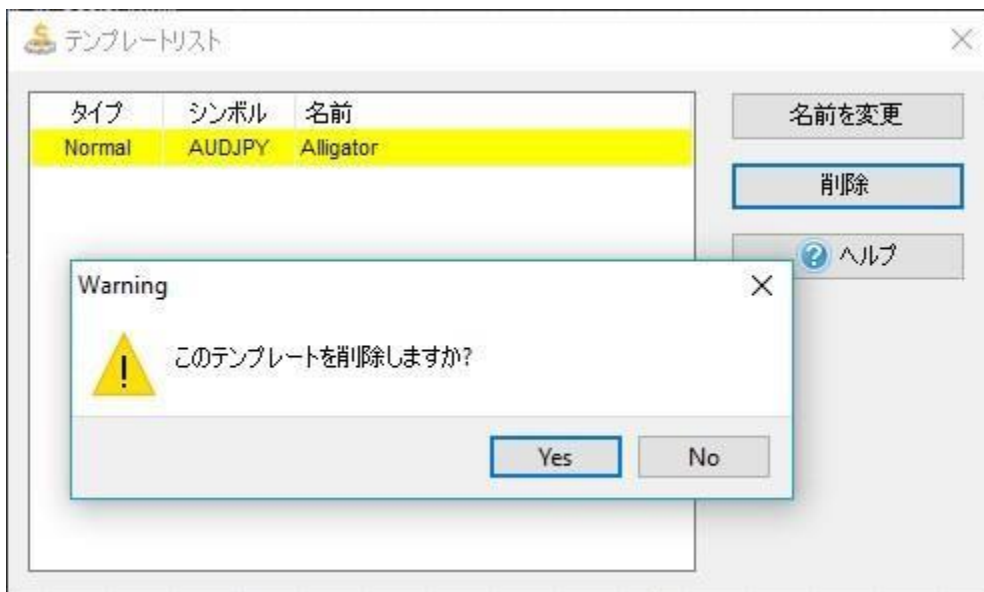
テンプレートのリストが表示されます。リストからテンプレートを選択します。



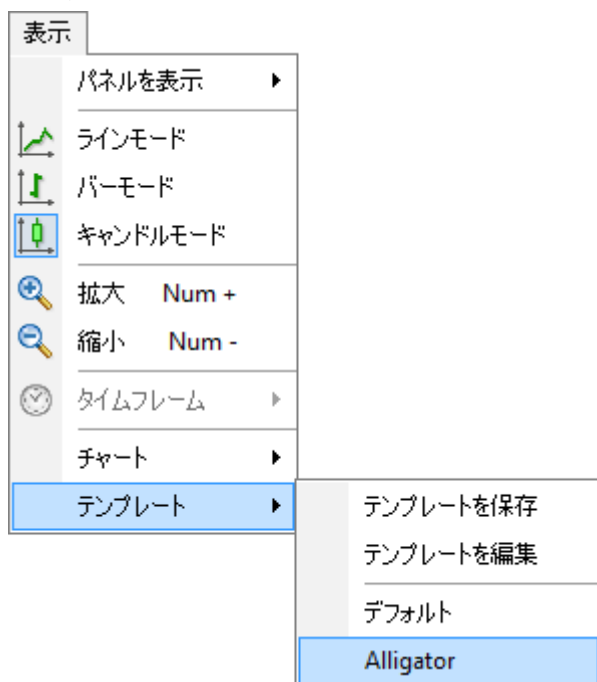
“名前を変更”ボタンをクリックし、変更を行います。



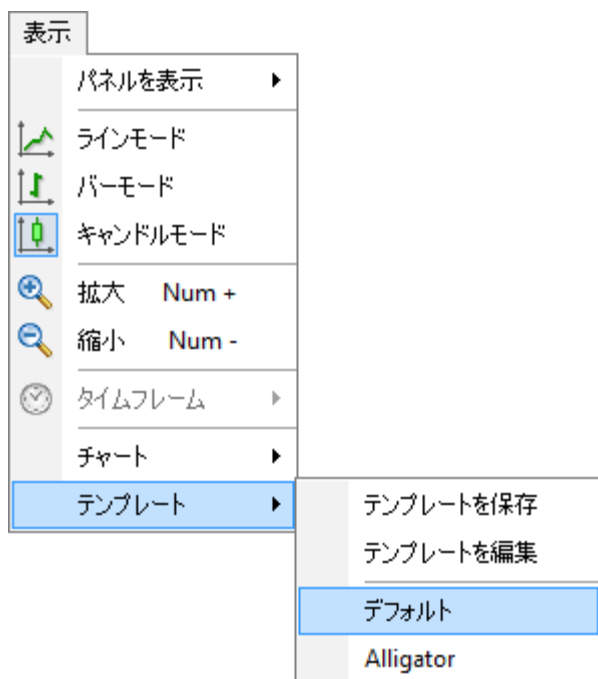
テンプレートを削除したいときには、“削除”をクリックします。



また、表示 → テンプレートのメニューからもテンプレートをチェックできます。



テンプレート → デフォルトをクリックすると、デフォルト設定のチャートが表示されます。

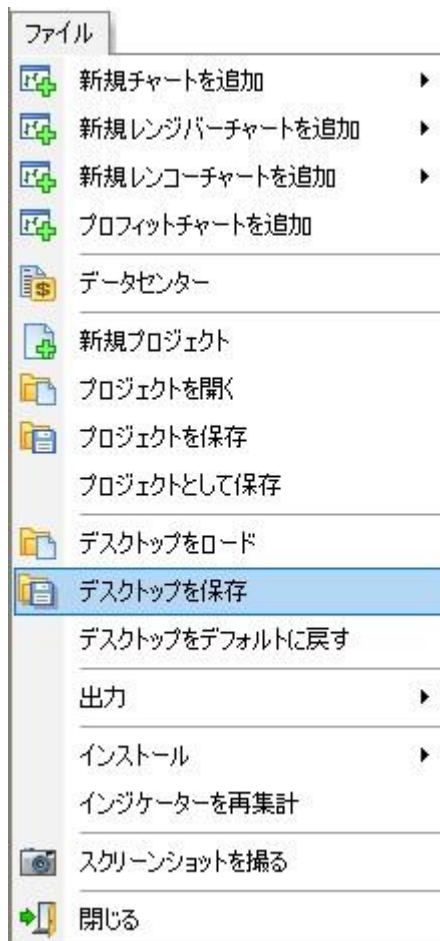


テンプレートを他の PC へ移行させたいときは、PC の中の Forex Tester3 フォルダー
Forex Tester 3 (C:\¥ForexTester3 folder) へ行き、Templates フォルダーを選択し、コ
ピーを行い、保存してください。このフォルダにテンプレートのファイルが入っていま
す。

Forex Tester プログラムは、チャート、インディケータ、およびグラフィックツールを単
一のファイルとして保存してから、このファイルを再度ロードして必要な設定をすべて復
元することを可能にします。

たとえば、プログラムに 4 つのチャートを追加し、これらのチャートにインジケータと
グラフィカルツールを追加してから、それらをデスクトップとしてローカルディスクに保
存することができます。

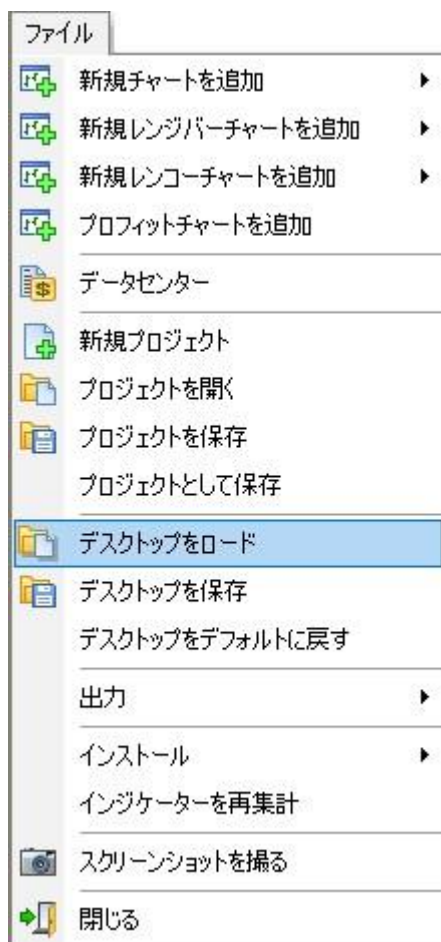
あなたのデスクトップ設定はファイル - > デスクトップ保存メニューで保存することがで
きます。



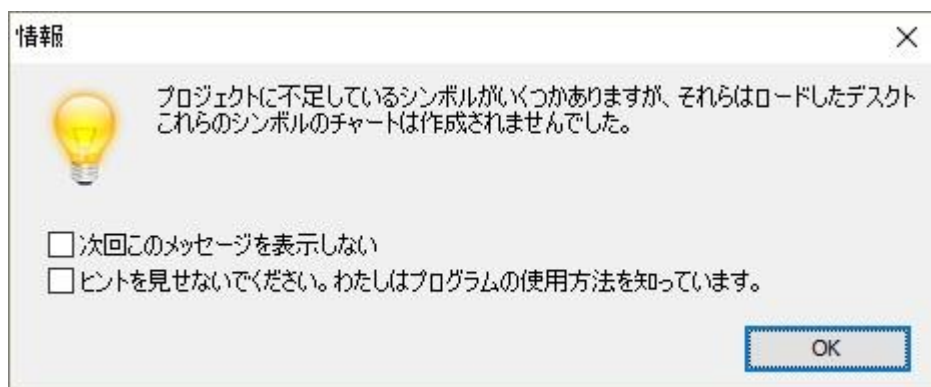
その後、保存したデスクトップの名前を入力して、デスクトップを保存するフォルダを選択する必要があります。

デスクトップファイルの拡張子は .dsk です。

あなたは File-> Load Desktop メニューを通して保存されたデスクトップをロードすることができます。



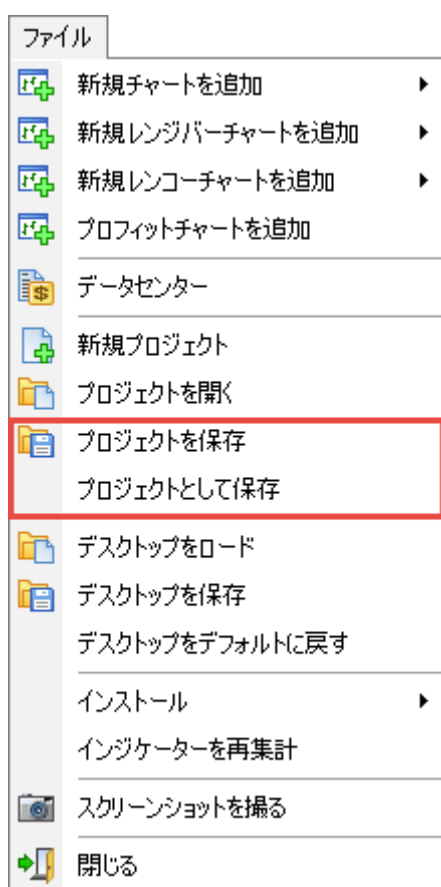
デスクトップは最初に保存された通貨ペアにのみ適用されます。 デスクトップを特定の通貨ペアで保存してから、プロジェクトの作成時に新しい通貨ペアを選択した場合 - そのデスクトップは適用されません。プログラムはメッセージでそのことについてあなたに警告するでしょう、しかし、あなたは「このメッセージを次から表示しない」のボックスをチェックすることでオフにすることができます。



デフォルトのデスクトップに戻す、を選択するとデフォルトのデスクトップがロードされます。これによりあなたのチャートが削除されるので、表示 -> テンプレート -> テンプレートを保存メニュー でチャートにグラフィックをテンプレートとして保存することをお勧めします

■プロジェクト

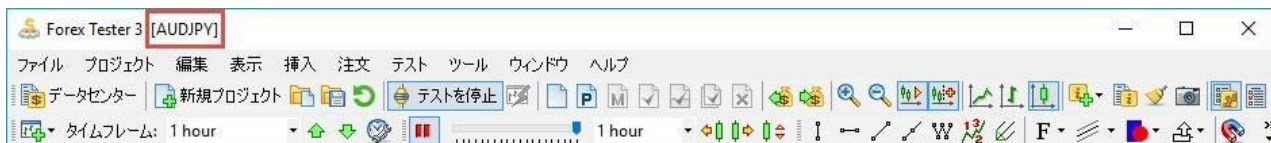
プロジェクトは、バックテストの全ての状態を保存するファイルです。プロジェクトは、注文内容、表示したチャート、チャートへ入れたインジケータを保存します。プロジェクトを開くと、保存したときのままの状態を再構築します。現在のテスト状態を保存するには、ファイル --> プロジェクトを保存、またはプロジェクトとして保存を選択してください。



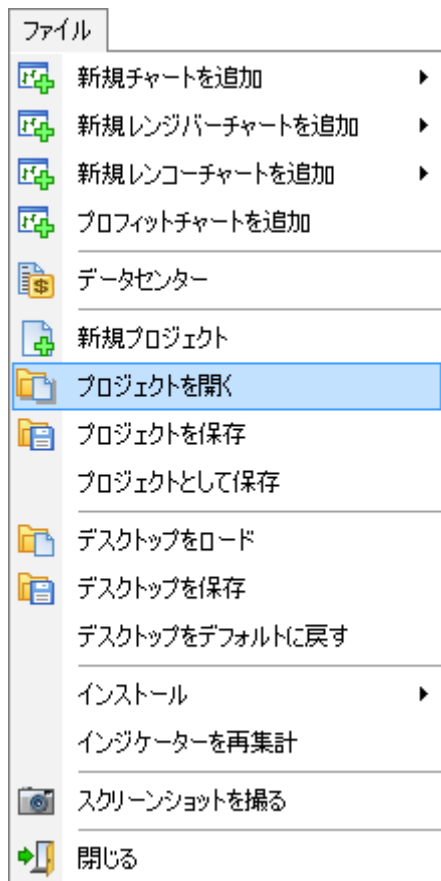
プロジェクト名を入れて保存してください。



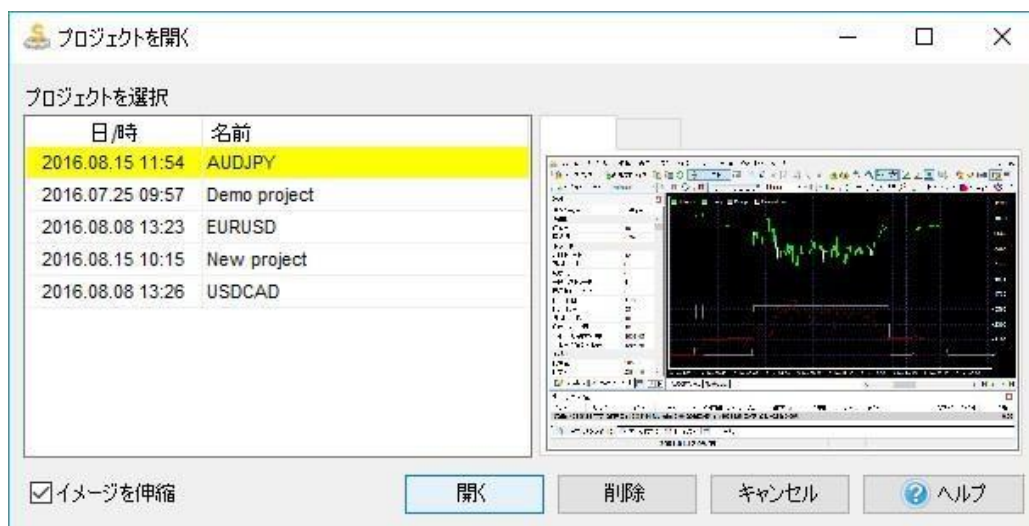
プロジェクト名が Forex Tester の一番左上に括弧がついて表示されます。



プロジェクトを開く場合は、ファイル → プロジェクトを開く をクリックしてください。



保存されたプロジェクト名が、ウィンドウの中でリストになっています。 プロジェクトを選択し、“開く”をクリックしてください。

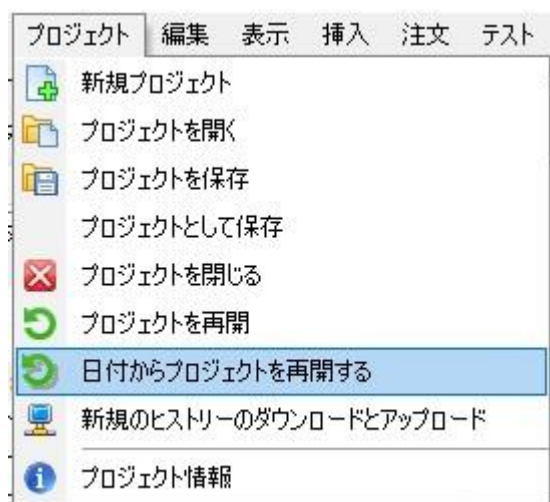


バックテスト中に、他のプロジェクト名として保存することができます。トレード戦略をバックテスト中に変えてたいので、現在までの状態を保存したいときなどに役立ちます。ツールバーにあるボタンも使ってください。

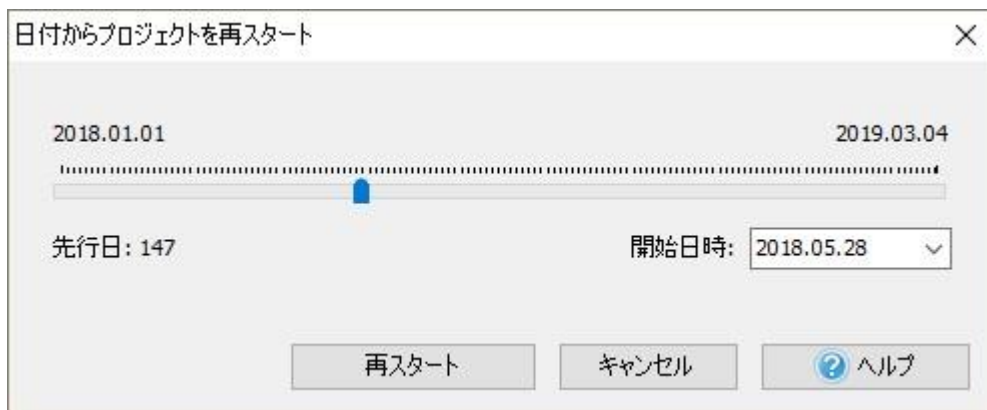


プロジェクトを開く と プロジェクトを保存する プロジェクトを使うと時間の節約になります。バックテスト状態を保存し、いつでも好きなときに戻ってきて、保存した時点からトレードを再開できます。 とても便利な機能で、トレードを止めたいところや気になる箇所ですべて保存ができます。

現在のプロジェクトは、テストの最初から、または任意の日時から開始できます。これを行うには、「日付からプロジェクトを再起動」 ボタンをクリックしてください。



開いたダイアログウィンドウで、プロジェクトの再開に必要な日時を入力するか、プロジェクトを最初から開始するためにデフォルト値のままにしてください。

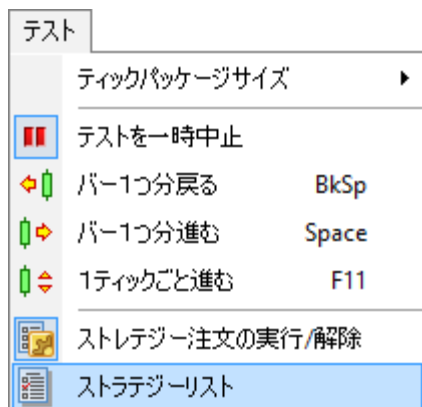


この操作により、現在のトレード内容とアカウント履歴がすべて削除されます。
テストが再開されたら、「テストを開始」ボタンをクリックしてください。

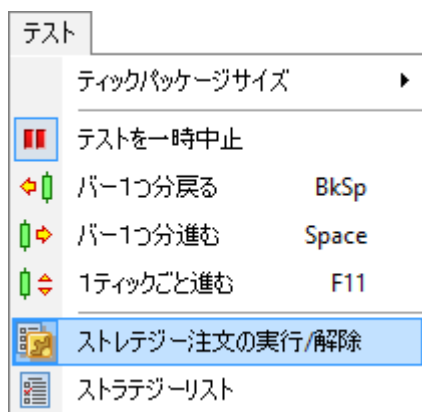
■エキスパートアドバイザー

エキスパートアドバイザーは、トレード戦略をベースに、自動で売買を行うプログラムです。

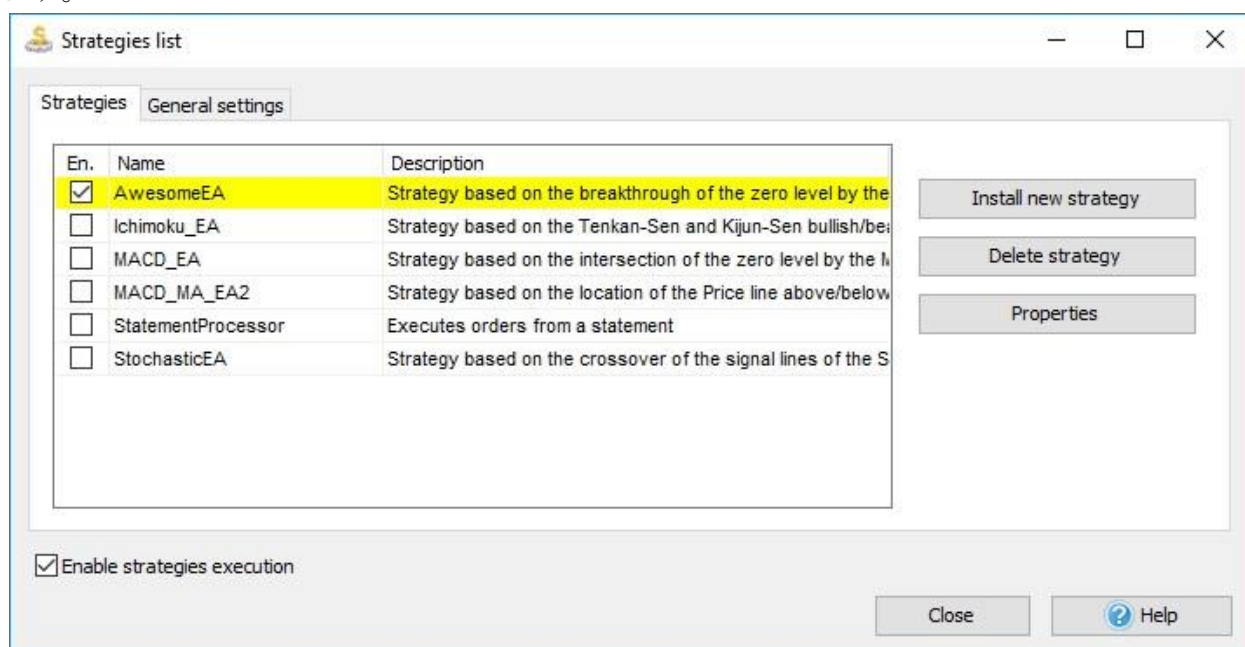
Forex Tester の中に入っている EA のバックテストを行うには、“テスト → ストラテジーリスト”をクリックします。 または、ツールバーのストラテジーリストボタンをクリックします。



ストラテジーの実行がオンになっていることを確認ください。ツールバーにある“ストラテジー注文の実行/解除”ボタンをオンにしてください。 もしくは、メニューバーから“テスト → ストラテジー注文の実行/解除”にて、オンになっているのを確認してください。

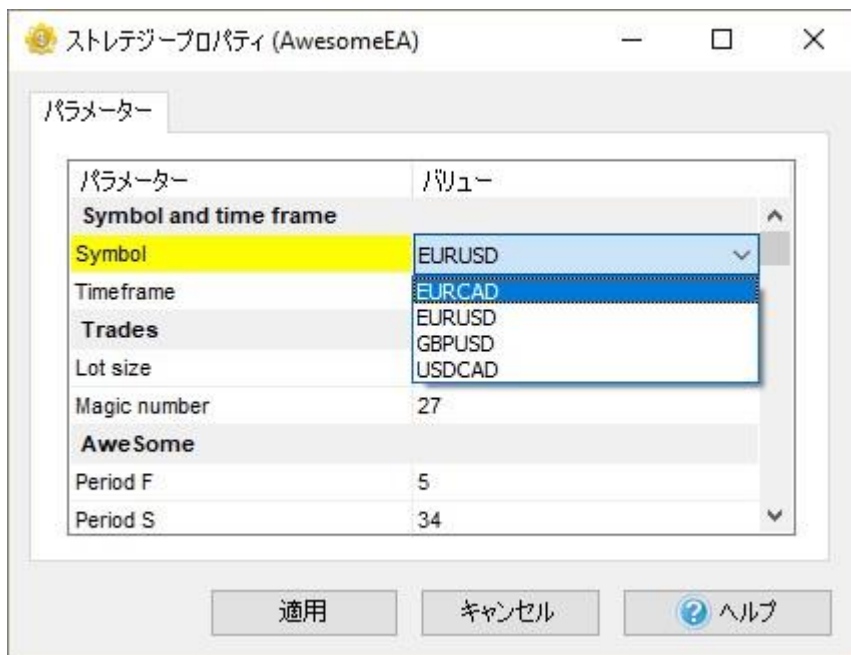


参考として、“Awesome Expert Adviser”のEAを動かす方法を紹介します。
 ツールバーの“ストラテジーリスト”ボタンをクリックし、“AwesomeEA”にチェックを入れます。

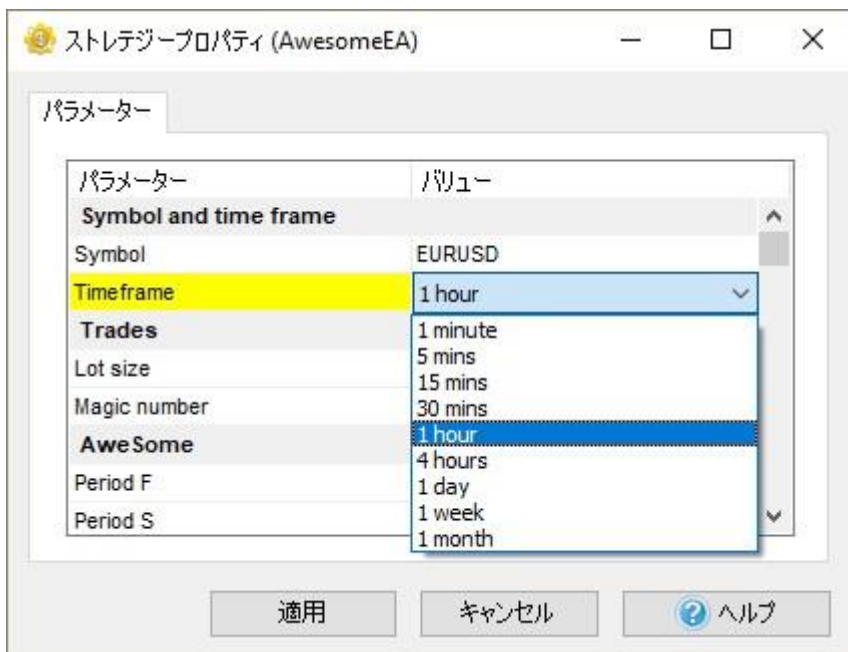


ストラテジー名の上でダブルクリックをします。

シンボルをダブルクリックして、通貨ペアをドロップダウンメニューから選びます。テストをしたい通貨ペア名がない場合は、“データセンター”からテストをしたい通貨ペアのデータを取得してください。



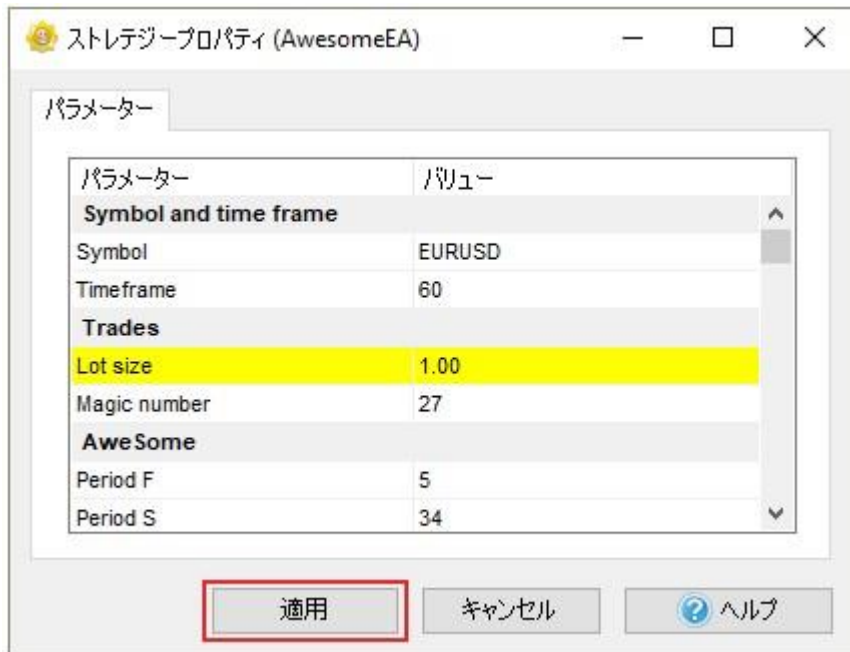
テストをしたい時間足を選択してください。



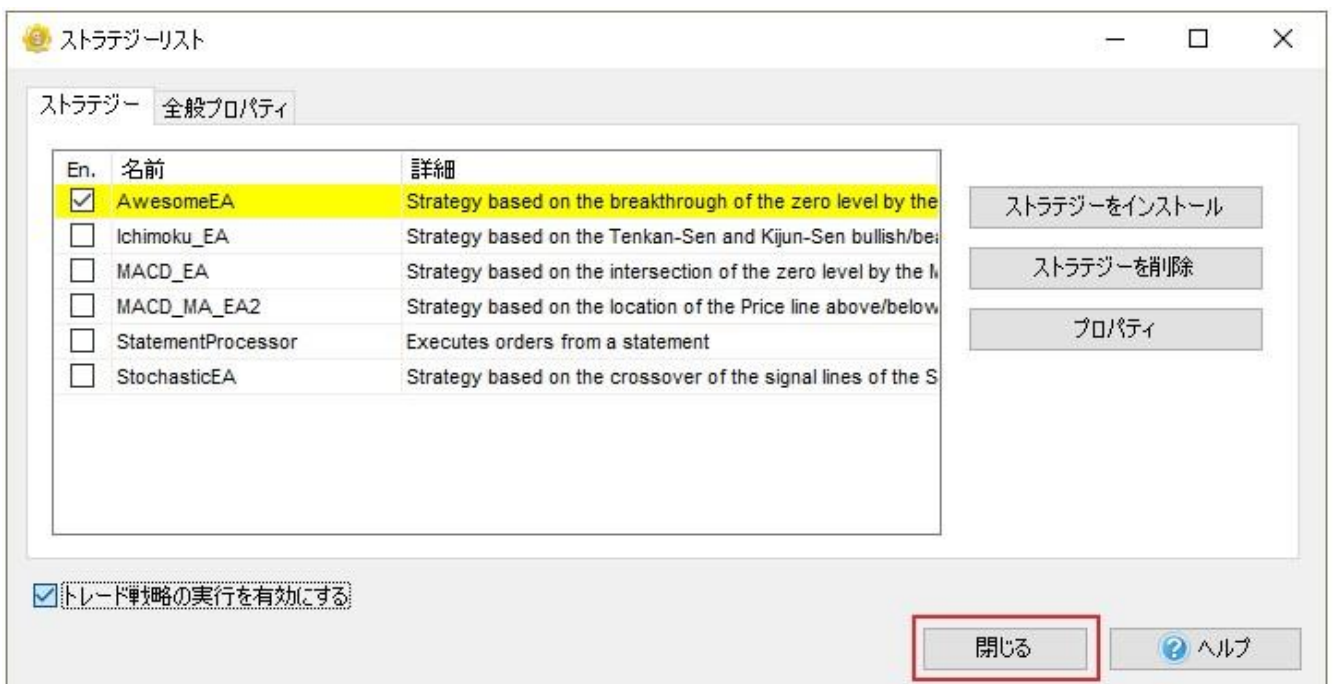
ロットを決めます。

Period F (Fast)と Period S (Slow)の期間を選択します移動平均線の種類と使用するプライスを選択します

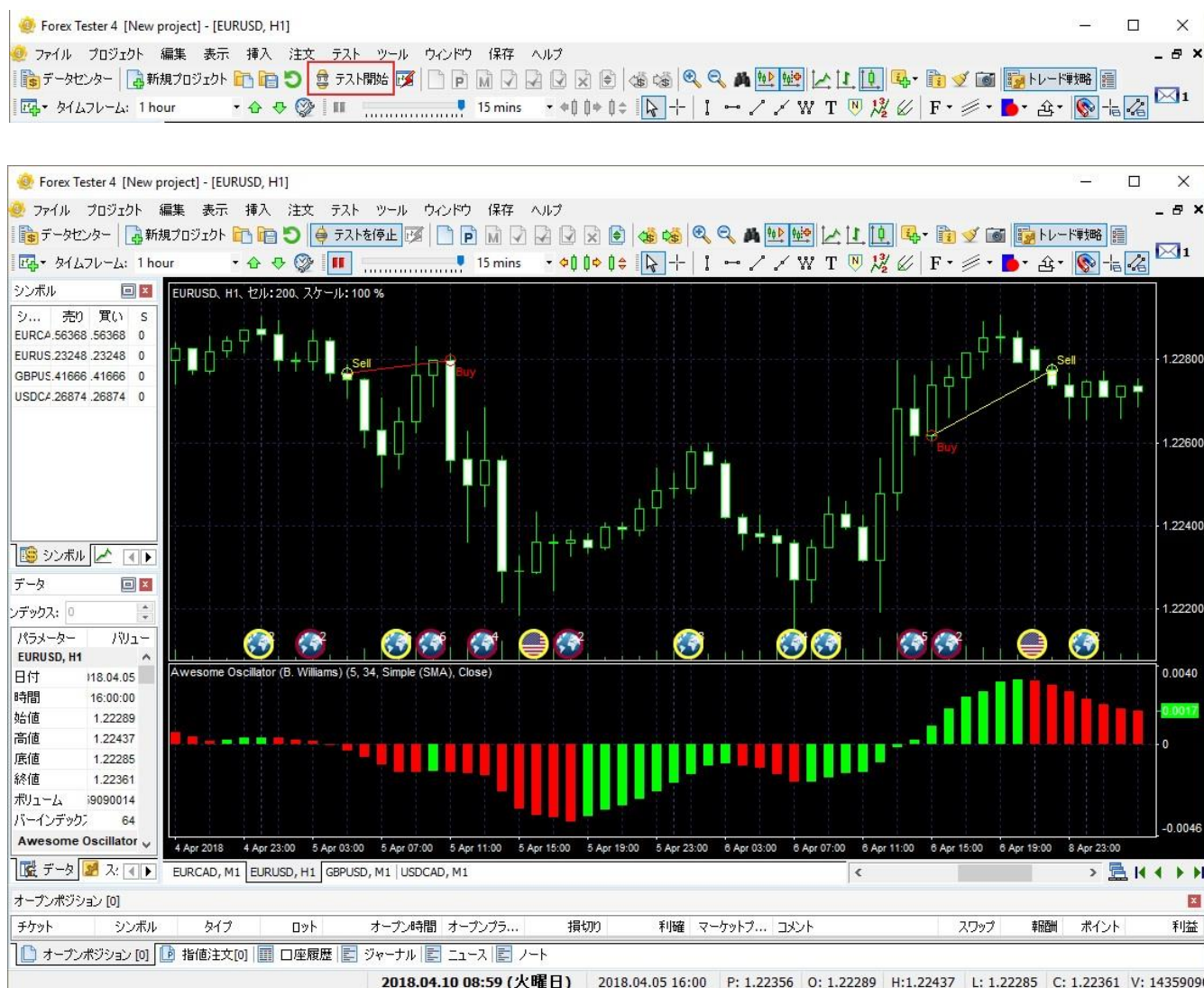
”適用”をクリックします。



”閉じる”をクリックします。



”テスト開始”ボタンをクリックします。



フォーラムの検索を使って、欲しいインジケーターを探すこともできます。欲しいインジケーターがフォーラムで公開されていることもあります。

EA ファイル (.d11)を追加したい場合は、“ファイル → インストール → 新規ストラテジーをインストール”からファイルを取込んでください。



■統計と口座履歴ス

トラデジ結果の統計情報は、テスト中、テスト後に表示されます。“統計”ウィンドウには重要な項目が表示されます。

合計トレード回数、勝ちトレード回数、負けトレード回数
 勝ちトレードの最大利益、負けトレードの最大損失 利益合計

1ヶ月当たりの利益 勝ちトレード
 と負けトレードの平均 最大ドロー
 ダウン その他いろいろ

統計	
パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	10
経過月	0.34
トレード:	
合計トレード	12
勝ちトレード	6
負けトレード	6
連続勝ちトレード	5
連続負けトレード	3
トレード/日	1.15
トレード/月	35
勝ちトレード/月	18
負けトレード/月	18
1トレードの最大利益	1637.05
1トレードの最大損失	1206.25
収益:	
総利益	385.51
利益計	2351.10
損失計	1965.59
利益/月	1126.47
平均利益	391.85
平均損失	327.60
最大ドローダウン	4650.57
プロフィットファクター	1.20
利率, %	3.86
その他統計:	
最大ロット	7.00
レストレーションファクター	0.08
リライアビリティファクター	0.24
勝率, %	50
負け率, %	50

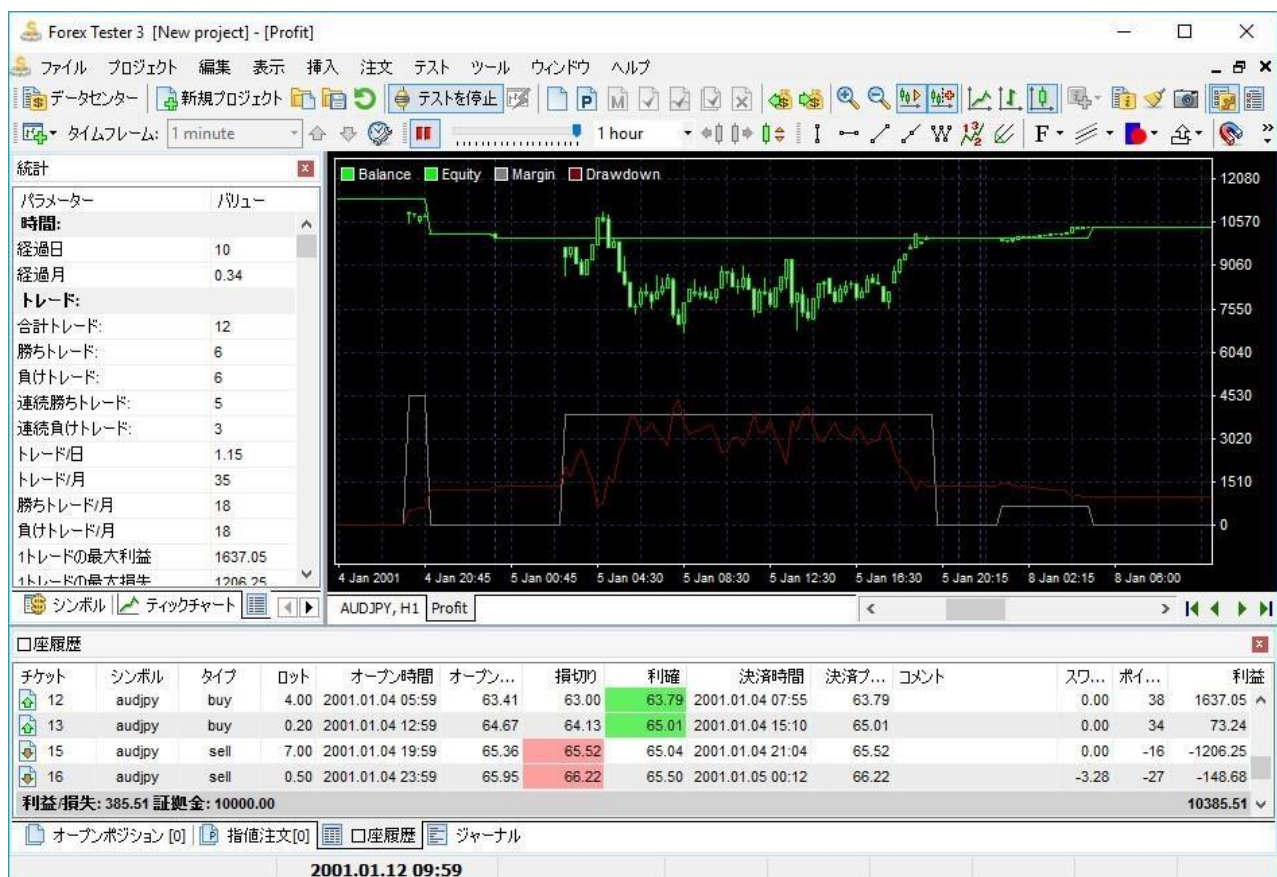
プロフィットチャートは独立したチャートで3つのラインとロウソク足で構成されています。

バランスラインは緑の線で、口座資金の変化を表示します。

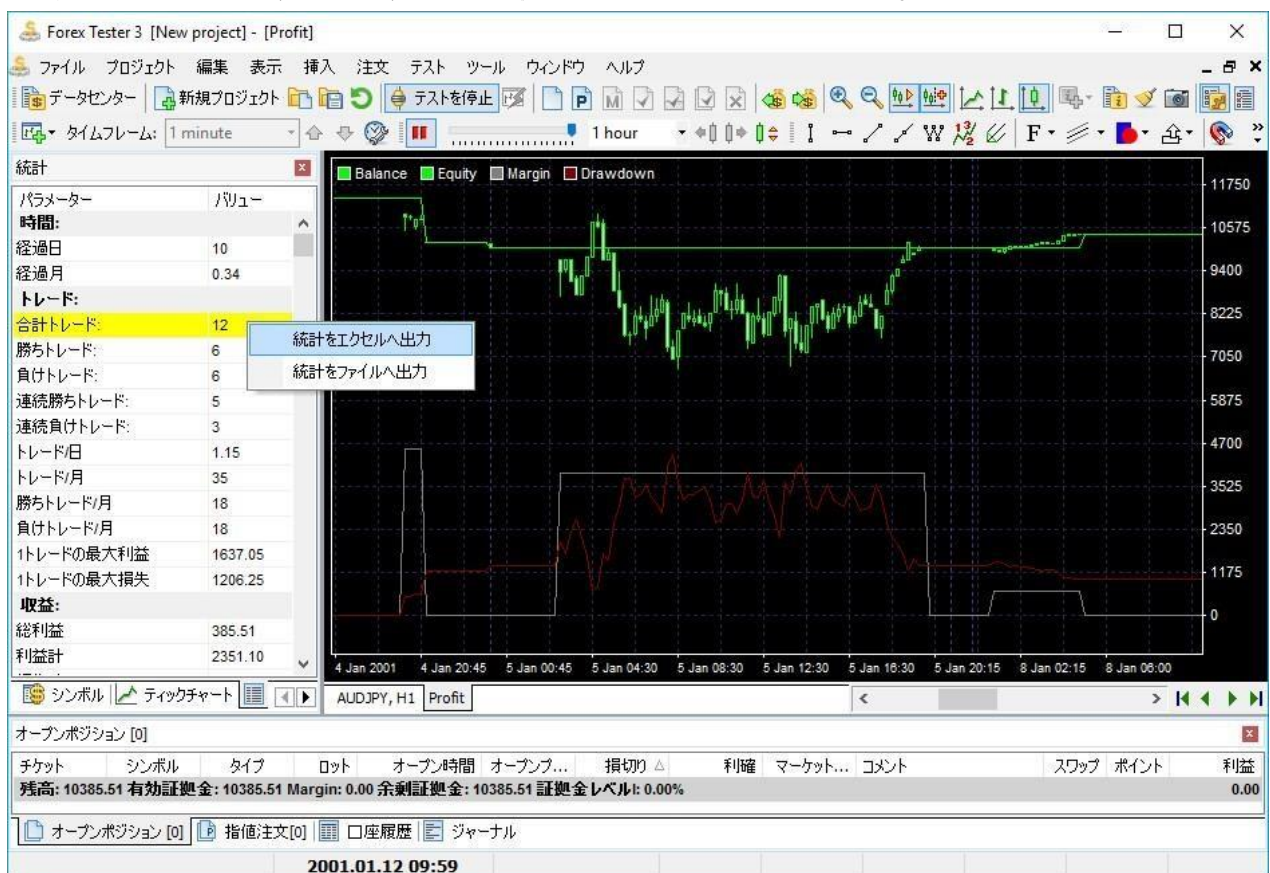
マージンラインはグレイです。

ドローダウンラインは赤色です。

資産チャートは、資産がどのように変化したか、ヴィジュアルでわかるようにロウソク足で表示されます。



バランスと資産の違いですが、バランスラインはトレードが決済されたときに変更されますが、資産ラインは含み損/含み益の状態も反映して描かれます。



“統計”ウィンドウを右クリックすれば、統計情報をエクセルか txt ファイルへ出力できます。

統計ウィンドウを消したいときは、“表示 → パネルを表示 → 統計”をオフにしてください。

「損益」の行の「アカウント履歴」タブで、損益をピップスで確認できます。

フィルターを非表示

日付毎に表示: 全ての日付 | シンボル: EURUSD | タイプ: 全て | 利益タイプ: 全て | 適用 | クリア

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済ブラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益
15	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 06:00	1.22433	0.00000	0.00000	2018.01.17 18:01	1.22511		0.00	-0.05	-78	-0.83
16	eurusd	buy	0.01	2018.01.17 18:01	1.22511	0.00000	0.00000	2018.01.17 21:00	1.22123		0.00	-0.05	-388	-3.93
17	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 21:00	1.22123	0.00000	0.00000	2018.01.18 10:00	1.22171		0.00	-0.05	-48	-0.53
利益/損失: 13.25 (1411 points) デモジョット: 10000.00 出金 0.00													210	10013.25

[オープンポジション \[1\]](#)
[指値注文 \[0\]](#)
[口座履歴](#)
[ジャーナル](#)
[ノート](#)
[ニュース](#)

2018.01.19 12:29 (金曜日)

トレード分析をより便利にするために、さまざまなフィルタを使用できます。“フィルタを表示”リンクをクリックしてください。

口座履歴

フィルターを表示

フィルター適用なし

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済ブラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益
3	audjpy	sell	0.01	2018.04.06 01:00	82.28100	0.00000	0.00000	2018.04.06 04:00	82.33900		0.00	0.00	-5800	-0.06 ^
4	audjpy	buy	0.01	2018.04.06 07:00	82.38100	0.00000	0.00000	2018.04.06 13:00	82.46100		0.00	0.00	8000	0.09
5	audjpy	sell	0.01	2018.04.06 16:00	82.23900	0.00000	0.00000	2018.04.08 23:00	82.06100		0.00	0.00	17800	0.19
6	audjpy	buy	0.01	2018.04.09 07:00	82.37900	0.00000	0.00000	2018.04.09 08:00	82.16500		0.00	0.00	-21400	-0.23
利益/損失: 0.20 (18300 points) デモジョット: 10000.00 出金 0.00													10000.20	

オープンポジション [1]

指値注文 [0]

口座履歴

ジャーナル

ニュース

ノート

2018.04.09 10:59 (月曜日)

以下のいずれかの項目でフィルタを適用できます。

1. 日付フィルター - 発注、決済、発注と決済、発注または決済の日付で注文を表示します。
2. シンボル - 選択したシンボル（銘柄）だけを表示します
3. タイプ - 買いまたは売りまたはすべての注文を表示
4. 利益 - すべて、または勝ち/負けトレードの注文を表示次に、「適用」をクリックして値をフィルタ処理するか、「クリア」をクリックしてフィルタをリセットします。

フィルターを非表示

日付毎に表示: 全ての日付 | シンボル: EURUSD | タイプ: 全て | 利益タイプ: 全て | 適用 | クリア

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済ブラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益
15	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 06:00	1.22433	0.00000	0.00000	2018.01.17 18:01	1.22511		0.00	-0.05	-78	-0.83
16	eurusd	buy	0.01	2018.01.17 18:01	1.22511	0.00000	0.00000	2018.01.17 21:00	1.22123		0.00	-0.05	-388	-3.93
17	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 21:00	1.22123	0.00000	0.00000	2018.01.18 10:00	1.22171		0.00	-0.05	-48	-0.53
利益/損失: 13.25 (1411 points) デモジョット: 10000.00 出金 0.00													210	10013.25

[オープンポジション \[1\]](#)
[指値注文 \[0\]](#)
[口座履歴](#)
[ジャーナル](#)
[ノート](#)
[ニュース](#)

2018.01.19 12:29 (金曜日)

取引履歴を Excel にエクスポートするには、画面下部のタブのアカウント履歴をクリックし、任意の行を右クリックして、“履歴をファイルにエクスポート”オプションを選択します。